

平成 15 年 度

まちづくりに あなたのご意見を

平成15年市民意向調査報告書



帯広市 企画部 企画課

はじめに

帯広市は、昭和34年にはじめて総合計画を策定して以来、総合計画をまちづくりの基本指針として、総合的・計画的に施策の推進に取り組み、北海道の拠点都市として発展してきました。

しかし、近年、経済のグローバル化や少子・高齢社会の到来、地球環境問題、さらには三位一体の改革や市町村合併の推進など、地方自治体を取り巻く課題・環境が大きく変わってきております。

こうした時代の変化に対応して、第五期総合計画の都市像である「新世紀を拓く田園都市おびひろ」を実現していくには、まちづくりの主役となる市民の皆さんとの協働が何よりも重要になってきていると考えております。

今回の調査は、第五期帯広市総合計画の後期5カ年の推進計画策定に向けて、市民の皆さんの生活全般にわたるニーズや満足度、施策の重要度、帯広市の将来像などについて、広く市民の意向を把握することにより、今後の本市のまちづくりに資することを目的として実施いたしました。

調査の結果は、後期5カ年の推進計画の策定はもとより、市政の運営全般にわたって有効に活用させていただきます。

また、この調査の集計や報告書の作成にあたりまして、本市をテーマとして社会調査を続けられておられます「東洋大学社会学部 大坪省三教授」には、大変お忙しい中、熱心なご指導・ご助言をいただきましたことに心からお礼を申し上げます。

この調査にご多用の中ご協力いただき、多くの貴重なご意見・ご提言をお寄せいただいた市民の皆様にご心からお礼を申し上げますとともに、引き続き本市発展のために、ご協力をお願いいたします。

平成15年10月

帯広市長 砂川敏文

- 調査概要

1 調査の目的

この調査は、第五期帯広市総合計画の後期5ヵ年の推進計画策定に向けて、市民の生活全般にわたるニーズや満足度、帯広市の将来などについて、広く市民の意向を把握することにより、今後の本市のまちづくりに資することを目的として実施しました。

2 調査の内容

調査の内容は、全体で大きく以下の6項目にわけて実施した。また、設問数は14問である。

- | | |
|------------------------------|--------|
| (1) 帯広市の住みごちについて | (問5) |
| (2) 定住意識について | (問6～9) |
| (3) まちづくりに関する項目別の満足度合い、重要度合い | (問10) |
| (4) これからの帯広市の役割 | (問11) |
| (5) 今後取り組むべき項目 | (問13) |
| (6) 帯広市の将来の在り方 | (問14) |

3 調査の方法

- | | |
|------------|-----------|
| (1) 調査対象地域 | 帯広市(全市) |
| (2) 調査対象者 | 満20歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 3,000人 |
| (4) 標本抽出方法 | 無作為抽出 |

(帯広市の行政区域を7地区に分類。全市男女比率、全市年齢別比率を適用)

- | | |
|-----------|---------------------------|
| (5) 調査の方法 | 質問用紙による郵便発送・返送方法 |
| (6) 調査時期 | 平成15年5月(5月9日発送、5月31日締め切り) |

4 回収結果

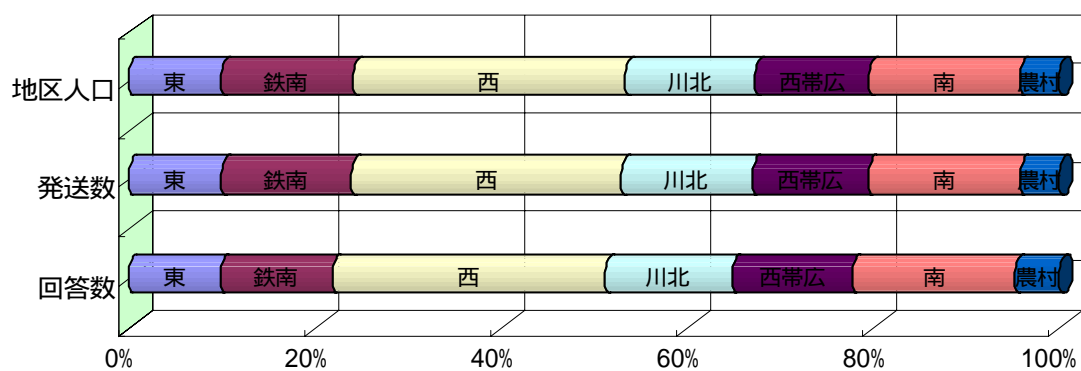
- | | | |
|--------------|---------------|-------------------------|
| (1) 回収数(率) | 927件(31.4%) | 前回(H7)
1,417件(47.7%) |
| (2) 有効発送数(率) | 2,954件(98.5%) | 2,971件(99.0%) |
| (3) 調査不能数(率) | 46件(1.5%) | 29件(1.0%) |

調査不能理由：転居先不明による。

(4) 地区別人口・発送・回答数(率)

地区	(回答者数 927)		(有効発送数 2,954)		(H15.3末 20歳以上)	
	回答数	比率	発送数	比率	地区人口	比率
東	92	9.9%	295	10.0%	13,707	10.0%
鉄南	111	12.0%	413	14.0%	19,515	14.2%
西	272	29.3%	857	29.0%	40,121	29.2%
川北	126	13.6%	413	14.0%	19,094	13.9%
西帯広	120	12.9%	369	12.5%	16,889	12.3%
南	162	17.5%	483	16.4%	22,288	16.2%
農村	44	4.7%	124	4.2%	5,739	4.2%
計	927	100%	2,954	100%	137,353	100%

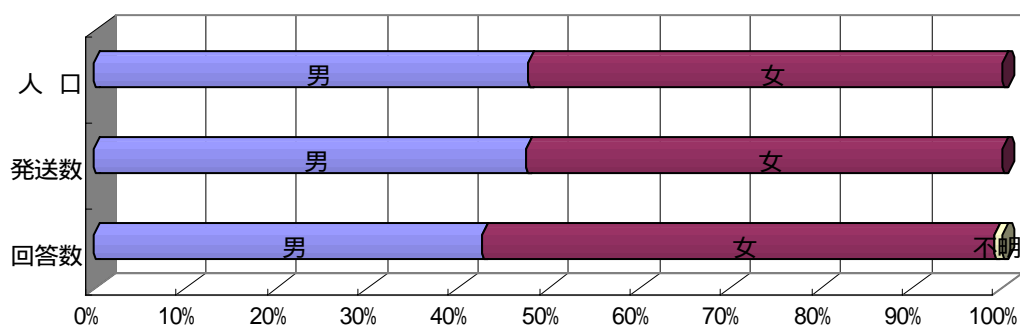
地区別人口・発送・回答の割合



(5) 男女別人口・発送・回答数(率)

性別	(回答者数 927)		(有効発送数 2,954)		(H15.3末 20歳以上)	
	回答数	比率	発送数	比率	人口	比率
男	396	42.7%	1,404	47.5%	65,549	47.7%
女	524	56.5%	1,550	52.5%	71,804	52.3%
不明	7	0.8%				
計	927	100.0%	2,954	100.0%	137,353	100.0%

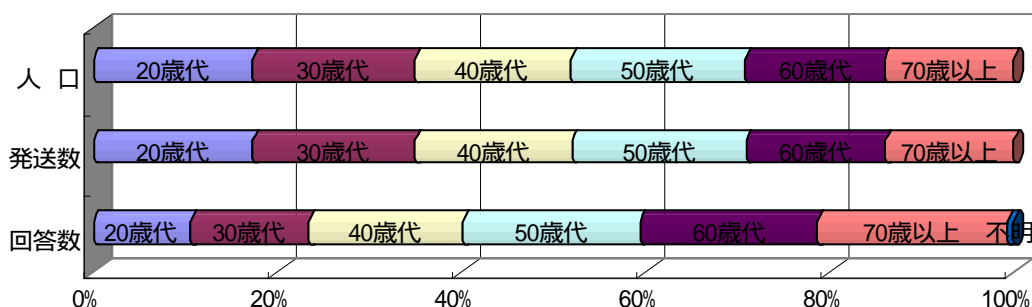
男女別人口・発送・回答の割合



(6) 年代別人口・発送・回答数(率)

年齢別	(回答者数 927)		(有効発送数 2,954)		(H15.3末 20歳以上)	
	回答数	比率	発送数	比率	人口	比率
20歳代	98	10.6%	519	17.3%	23,720	17.3%
30歳代	119	12.8%	530	17.7%	24,249	17.7%
40歳代	155	16.7%	513	17.1%	23,462	17.1%
50歳代	179	19.3%	568	18.9%	26,029	19.0%
60歳代	179	19.3%	451	15.0%	20,645	15.0%
70歳以上	192	20.7%	419	14.0%	19,248	14.0%
不明	5	0.5%				
計	927	100.0%	3,000	100.0%	137,353	100.0%

年代別人口・発送・回答の割合



(7) 地区別の回答者数・回収率

地区	発送数	回答数	回収率
東	295	92	31.2%
鉄南	413	111	26.9%
西	857	272	31.7%
川北	413	126	30.5%
西帯広	369	120	32.5%
南	483	162	33.5%
農村	124	44	35.5%
総計	2,954	927	31.4%

(8) 男女別の回答者数・回収率

性別	発送数	回答数	回収率
男	1,404	396	28.2%
女	1,550	524	33.8%
不明		7	
総計	2,954	927	31.4%

(9) 年齢別の回答者数・回収率

年齢別	発送数	回答数	回収率
20 歳代	507	98	19.3%
30 歳代	521	119	22.8%
40 歳代	501	155	30.9%
50 歳代	561	179	31.9%
60 歳代	446	179	40.1%
70 歳以上	418	192	45.9%
不明		5	
総計	2,954	927	31.4%

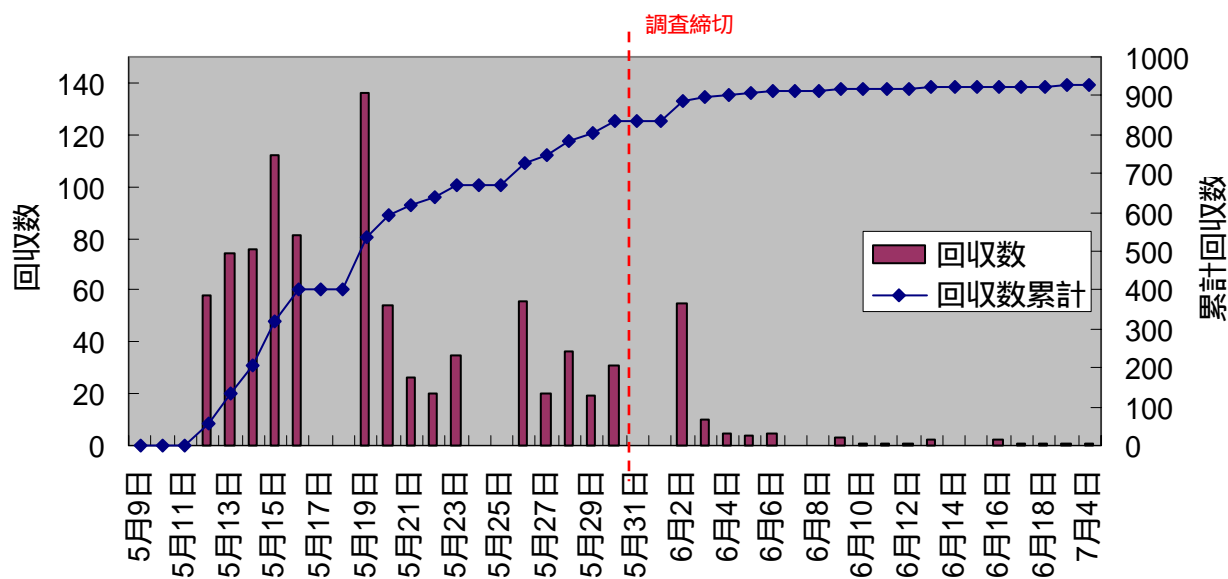
(10) 回答の状況

調査は、20歳以上の市民を対象に、行政区域を7地区に分類して、全市男女比率、全市年齢別比率を適用し、無作為に抽出した3,000人に、調査の質問用紙を郵便発送し、郵便で返送する方法で、平成15年5月9日に発送している。

調査回答の状況は、下図のとおりとなっている。

調査回答の締め切り日（5月31日）以降、7月4日まで回答がある。

市民意向調査回答の状況



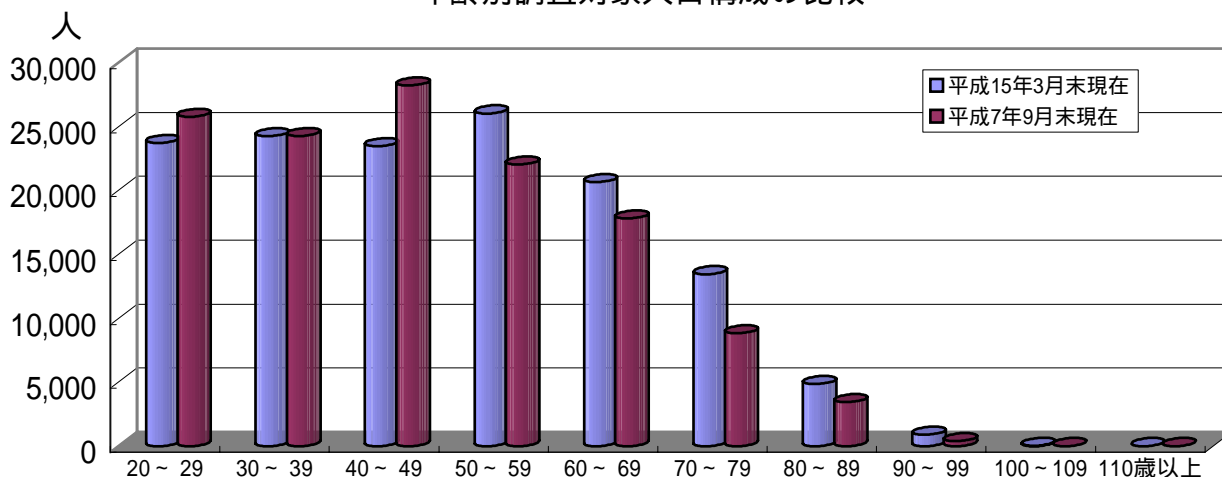
5 年齢別人口構成（前回との比較）

調査対象とした20歳以上の市民の人口構成は、次のとおりである。前回調査時と比較して、50歳以上の対象者が増加している。

50歳以上の人口は、13,422人の増加、20歳以上50歳未満は、6,827人の減少となっている。

年齢	平成15年3月末現在	平成7年9月末現在	平成15年 - 平成7年
20～29	23,720	25,775	-2,055
30～39	24,249	24,268	-19
40～49	23,462	28,215	-4,753
50～59	26,029	22,023	4,006
60～69	20,645	17,804	2,841
70～79	13,456	8,825	4,631
80～89	4,868	3,448	1,420
90～99	898	396	502
100～109	26	4	22
110歳以上	0	0	0
合計	137,353	130,758	6,595

年齢別調査対象人口構成の比較



6 社会背景（前回との比較）

今回調査時（平成15年5月）の状況：

昨年、帯広市長選挙が実施され、調査の前(4月)に帯広市議会議員選挙が実施されている。長引く不況による雇用問題、少子高齢化対策、医療費3割負担、市町村合併問題、新図書館建設、市立病院問題、などが新聞などで取り上げられていた。

前回調査時（平成7年9月）の状況：

調査前年、帯広市長選挙、調査年4月帯広市議会議員選挙が実施されている。平成5年1月釧路沖地震、7月北海道南西沖地震、平成6年10月北海道東方沖地震につづき、この年の1月に阪神淡路大震災があり、意向調査の結果にも防災に対する重要度が高く現れていた。

7 標本誤差

調査対象者数と回答者数より、回答の割合（50～90％）ごとに標本誤差を算出する。
信頼度95％（危険率5％）の標本誤差は、次式により計算される。

$$\text{標本誤差(1.96)} = 1.96 \times \sqrt{\left(1 - \frac{n}{N}\right) \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団の数（調査対象者数）
n = 標本数（回答者数）
p = 標本調査結果の比率（回答の割合）

（例）あなたは、帯広が好きですか？との問に回答者の50％が好きだと答えていた場合。

N = 20歳以上の調査対象者数 = 137,353人

n = 調査の回答者数 = 927人

p = 回答の割合(好きだ) = 50% = 0.5

$$\text{標本誤差(1.96)} = 1.96 \times \sqrt{\left(1 - \frac{927}{137,353}\right) \frac{0.5(1-0.5)}{927}}$$

$$= 0.032 = 3.2\%$$

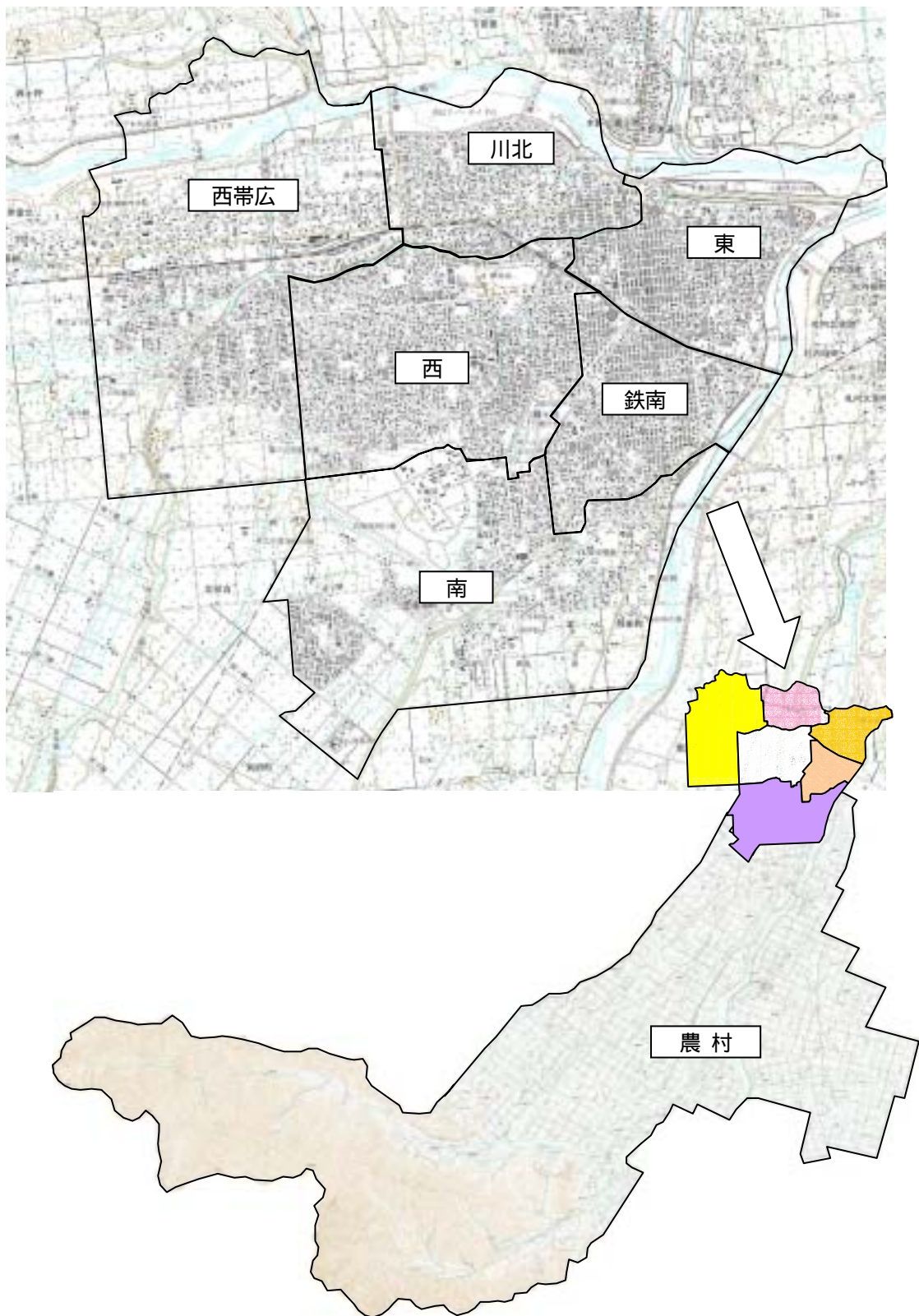
50％の市民が「帯広が好きだ」との回答の誤差は、±3.2％となるので、
「帯広が好きだ」という市民は、46.8～53.2％の範囲ということになる。

各区分毎の標本誤差は、下表のとおり。標本数の少ない「20歳代」「東地区」「農村地区」の誤差が大きくなっていることに注意しておきたい。

区分	調査対象 N(母集団)	回答者 n(標本数)	標本誤差(信頼度95%)				
			p標本調査結果の比率(%) (設問に対する回答の割合%)				
全体 合計	20歳以上人口 137,353	回答数(人) 927	50%	60%	70%	80%	90%
性別	20歳以上人口	回答数(人)	50%	60%	70%	80%	90%
男性	65,549	396	4.9%	4.8%	4.5%	3.9%	2.9%
女性	71,804	524	4.3%	4.2%	3.9%	3.4%	2.6%
年齢	20歳以上人口	回答数(人)	50%	60%	70%	80%	90%
20～29	23,720	98	9.9%	9.7%	9.1%	7.9%	5.9%
30～39	24,249	119	9.0%	8.8%	8.2%	7.2%	5.4%
40～49	23,462	155	7.8%	7.7%	7.2%	6.3%	4.7%
50～59	26,029	179	7.3%	7.2%	6.7%	5.8%	4.4%
60～69	20,645	179	7.3%	7.1%	6.7%	5.8%	4.4%
70歳以上	19,248	192	7.0%	6.9%	6.4%	5.6%	4.2%
地区	20歳以上人口	回答数(人)	50%	60%	70%	80%	90%
東	13,707	92	10.2%	10.0%	9.3%	8.1%	6.1%
鉄南	19,515	111	9.3%	9.1%	8.5%	7.4%	5.6%
西	40,121	272	5.9%	5.8%	5.4%	4.7%	3.6%
川北	19,094	126	8.7%	8.5%	8.0%	7.0%	5.2%
西帯広	16,889	120	8.9%	8.7%	8.2%	7.1%	5.3%
南	22,288	162	7.7%	7.5%	7.0%	6.1%	4.6%
農村	5,739	44	14.7%	14.4%	13.5%	11.8%	8.8%

8 地区区分図

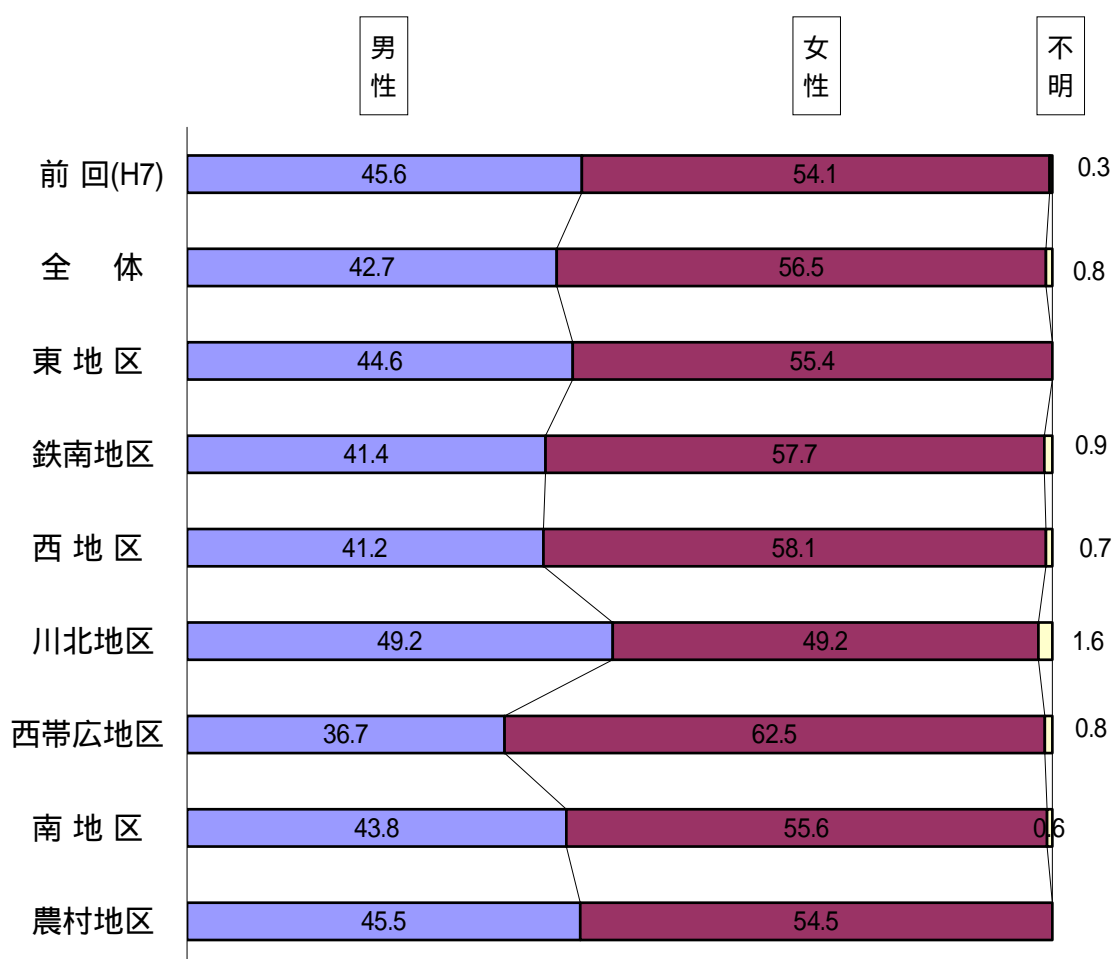
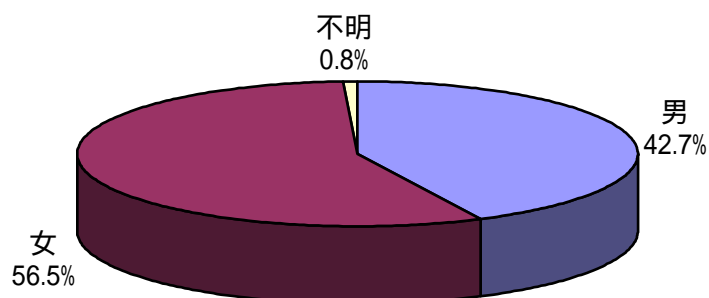
市の行政区域を7地区に分類、7つの住区は、下図のとおりである。



- 調査結果概要

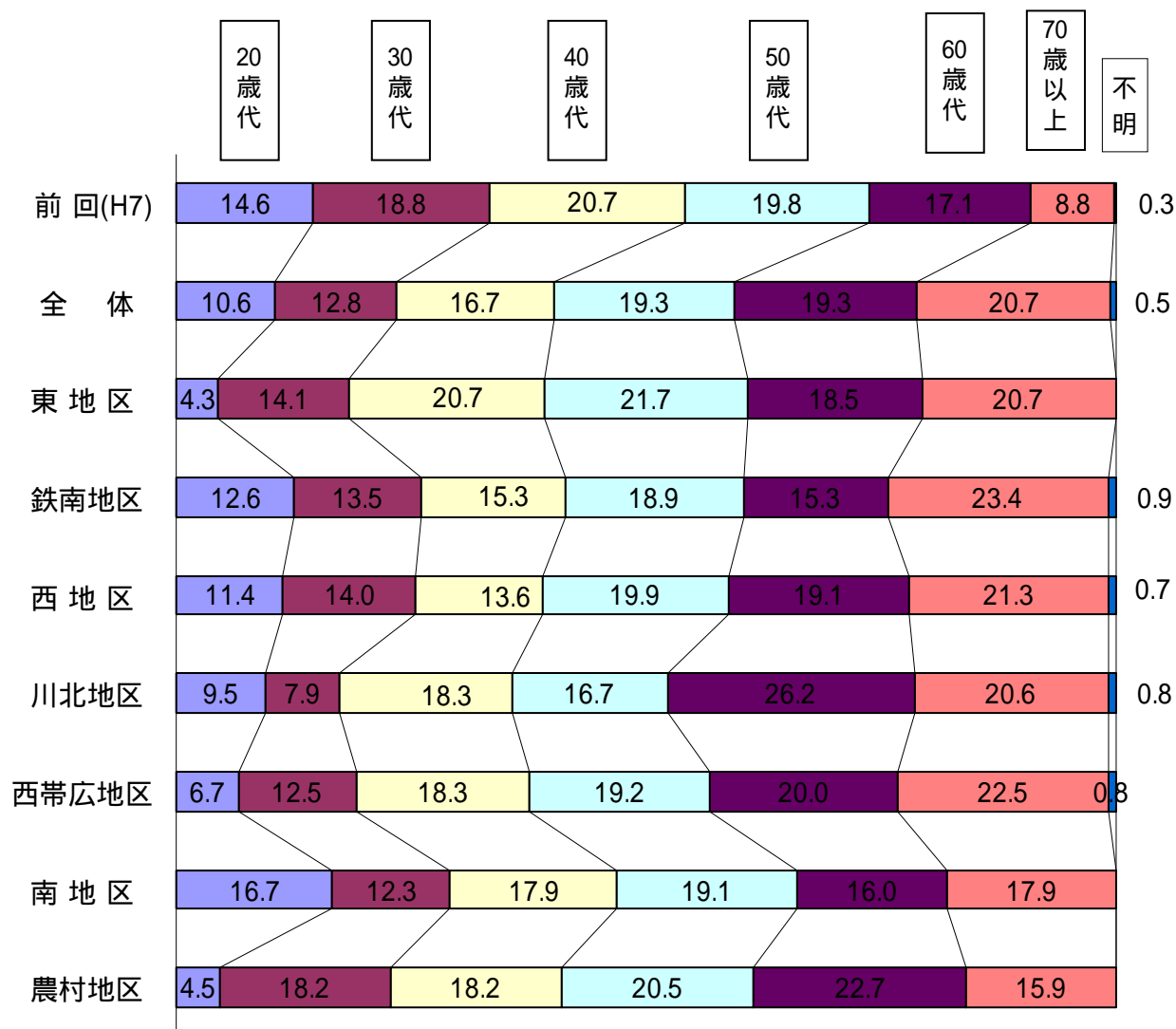
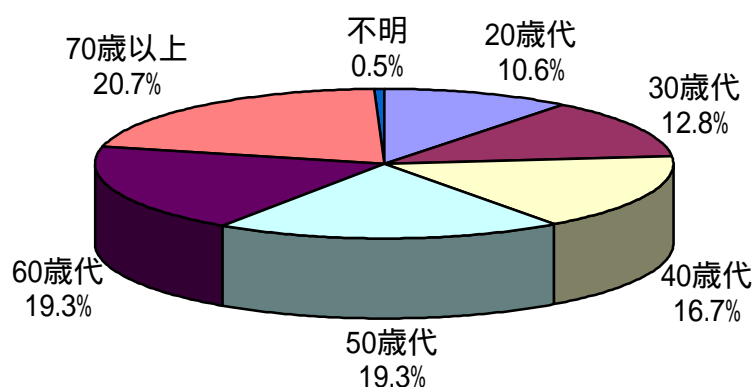
【調査結果概要 1】

問1 あなたの性別は？



回答者数は927人で、男396人(42.7%)、女524人(56.5%)と女性の方が男性を上回っている。不明(無回答)(0.8%)となっている。
 地区別においても、川北地区を除いて女性の回答者が男性を上回っている。
 前回(H7)より男性は2.9ポイント少なく、女性は2.4ポイント多くなっている。

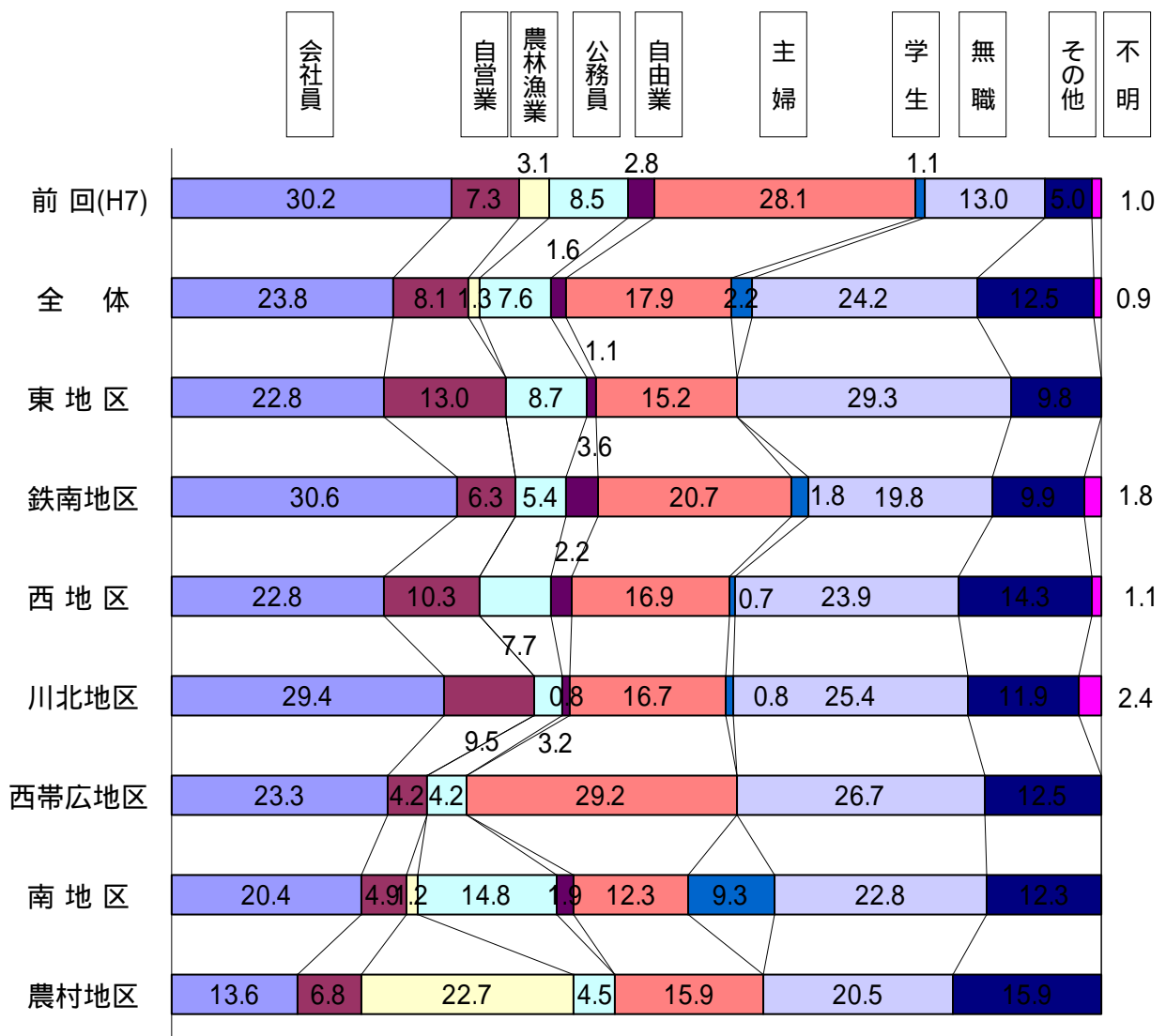
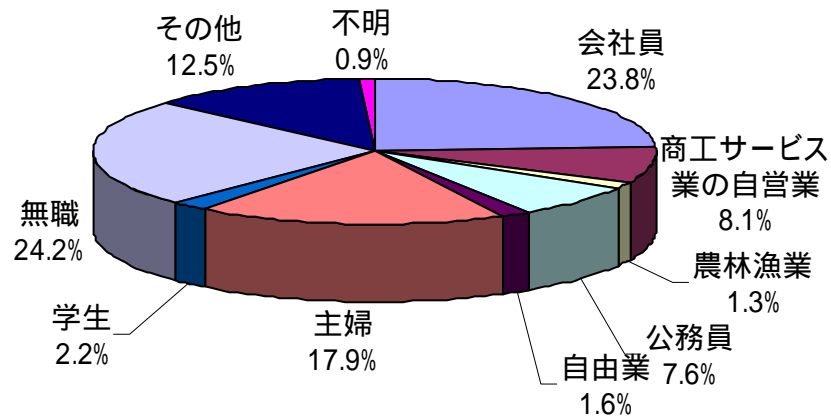
問2 あなたの年齢は？



各年齢層からまんべんなく回答されているが、全体では70歳以上が多く、60歳代・50歳代と続いている。地区別にみても、50歳代・60歳代・70歳以上の回答が多い。南地区では、20歳代の回答が多い。

前回(H7)より50歳代までの比率が減り、60歳代以上の比率が多くなっている。

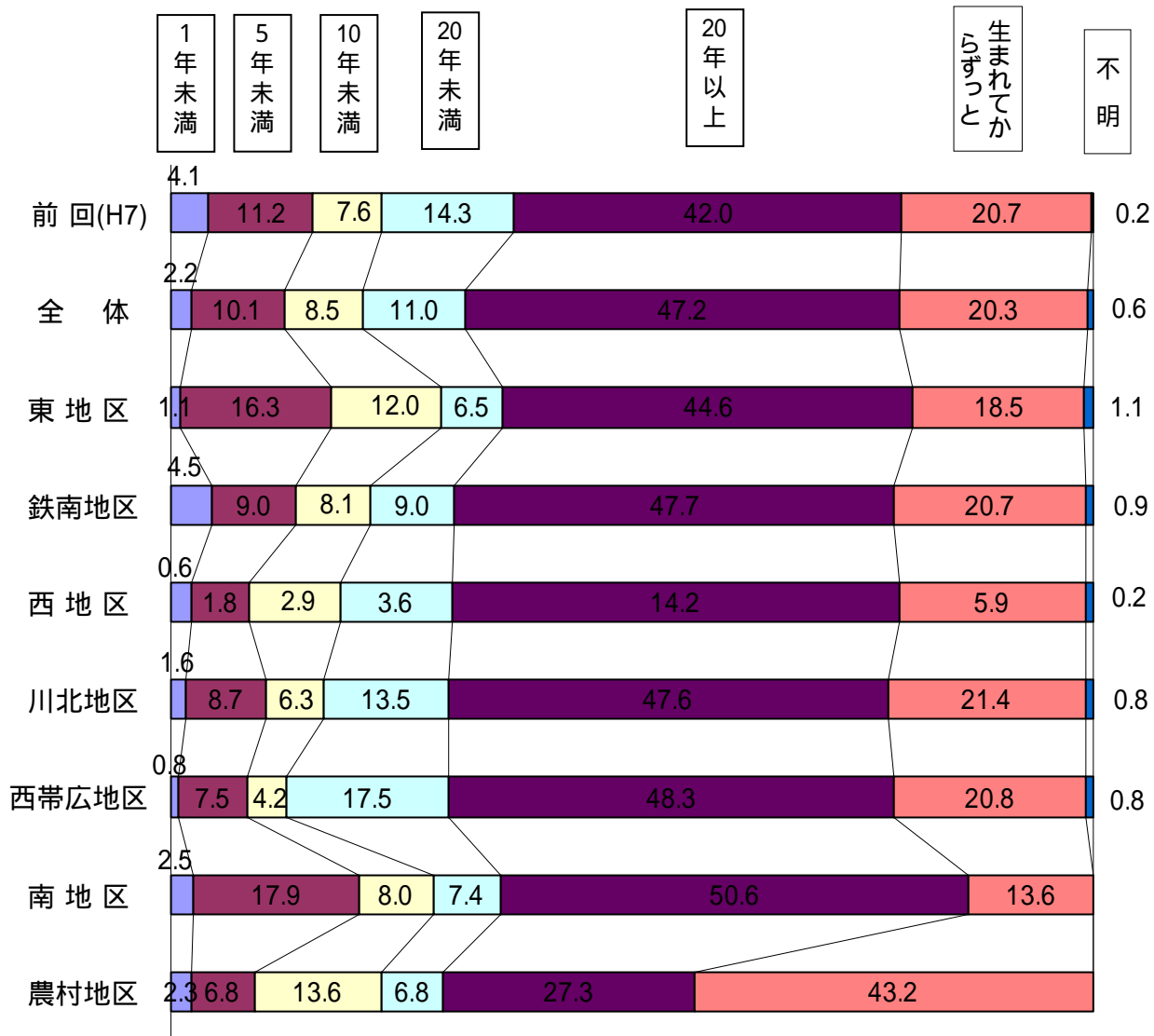
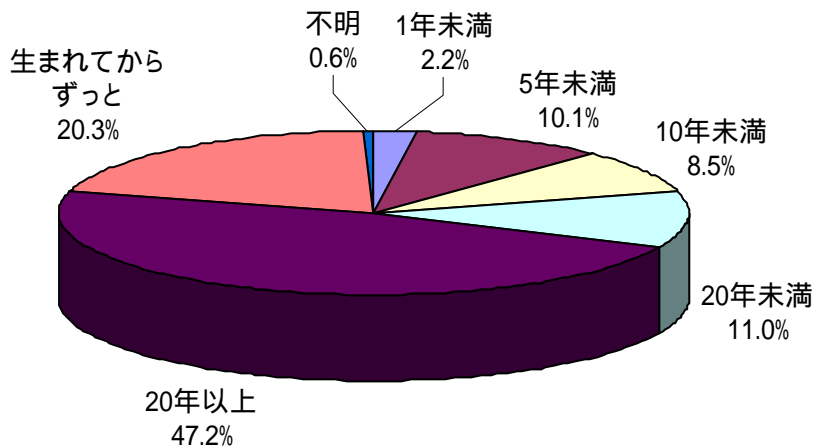
問3 あなたの職業は？



回答者の職業は「会社員」23.8%、「主婦」17.9%である。全体では、70歳以上の回答が多いため、「無職」24.2%と多くなっている。地区別においては、農村地区で「農・林・漁業」が22.7%と多い。

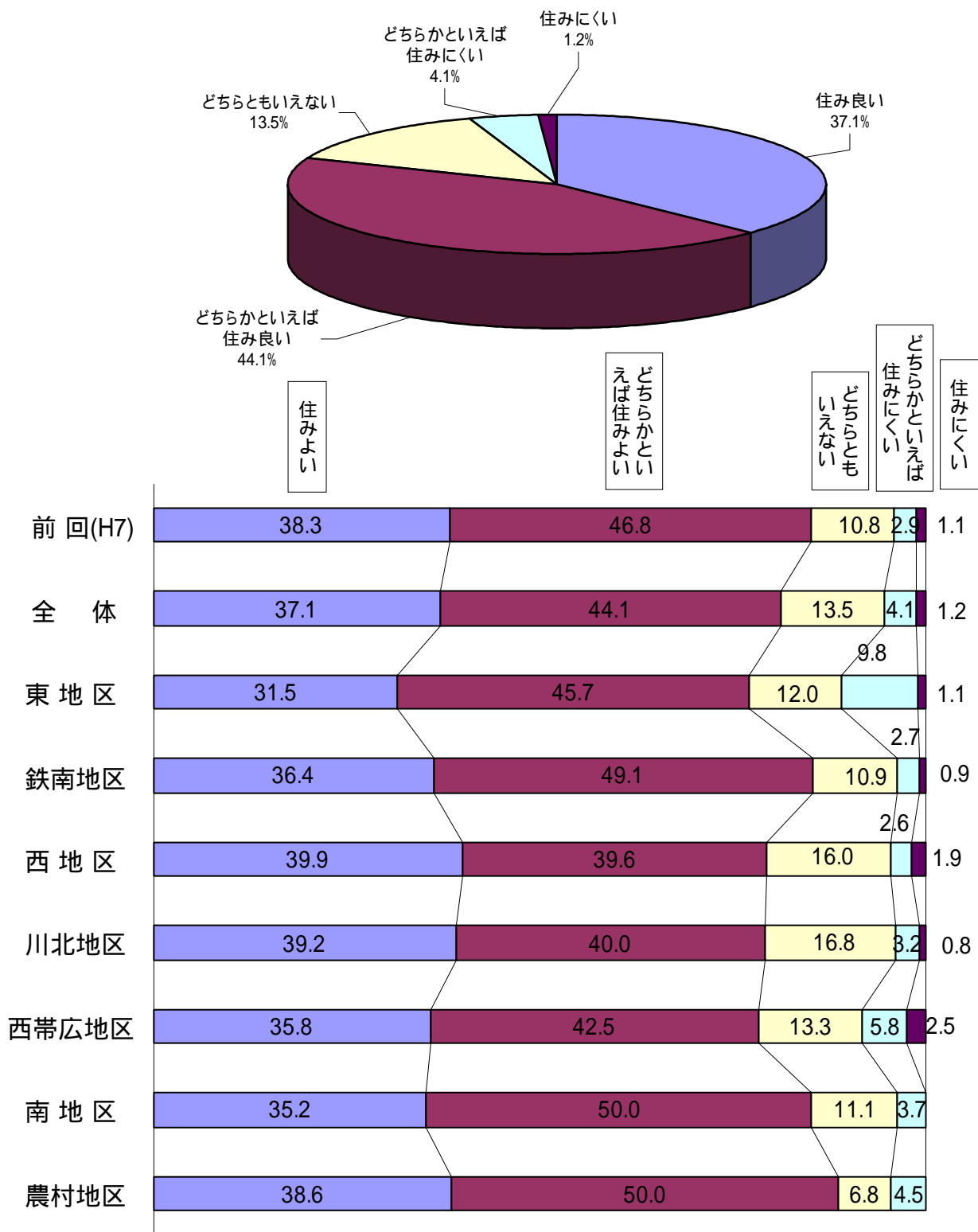
前回(H7)より会社員、主婦の比率が減り、無職の比率が多くなっている。

問4 あなたの居住年数は？



回答者の居住年数は「20年以上」47.2%、「生まれてからずっと」20.3%と全体の7割近くとなっている。地区別においては、農村地区で「生まれてからずっと」43.2%と多い。東地区・南地区では、「10年未満」「5年未満」の回答が多い。前回(H7)より「20年以上」の比率が多くなっている。

問5 帯広市の住みごころは？



回答者数は921人で、「住み良い」342人(37.1%)、「どちらかといえば住み良い」406人(44.1%)で合わせて81.2%となっている。
 地区別においては、農村地区が88.6%と高くなっている。
 「住み良い」・「どちらかといえば住み良い」合わせた回答は、前回(H7)85.1%より3.9ポイント少なくなっている。

(住みごちについて)

問5 住みごちは?

回答者数 = 921人

区 分	回答数	比率%	住み良い比率%
1 住み良い	342	37.1	81.2
2 どちらかといえば住み良い	406	44.1	
3 どちらともいえない	124	13.5	住みにくい比率%
4 どちらかといえば住みにくい	38	4.1	5.3
5 住みにくい	11	1.2	

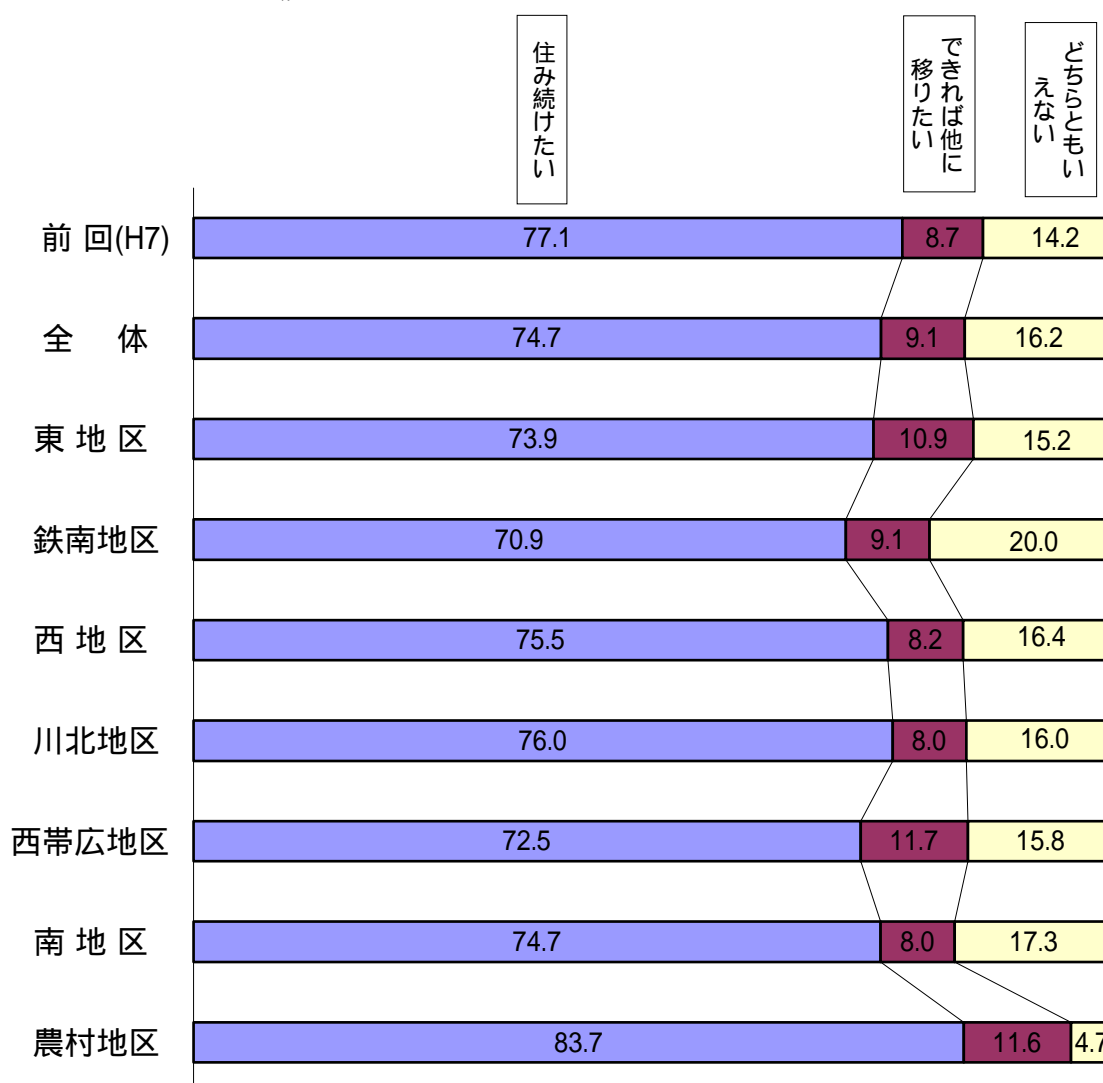
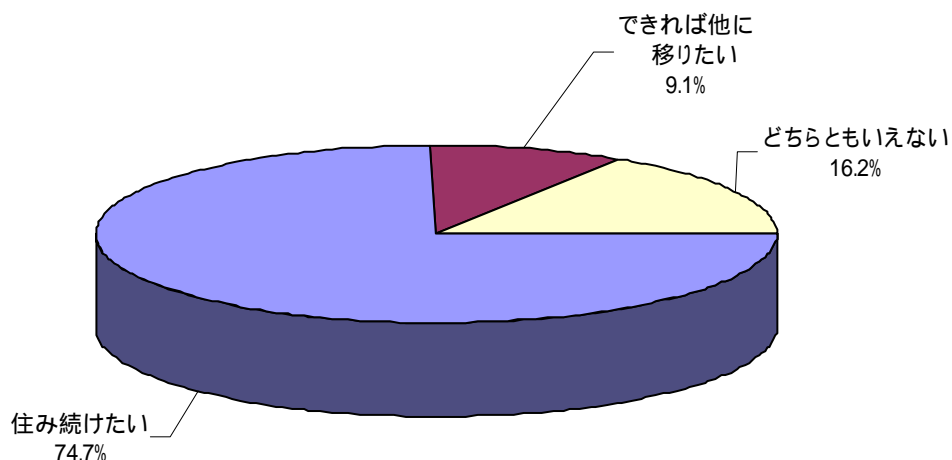
前回 (H7)	
38.3%	} 85.1%
46.8%	
10.8%	} 4.0%
2.9%	
1.1%	

前回回答と今回の地区別回答内訳

回答者(人)

区 分	住み良い	どちらかといえ ば住み良い	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	計
前回(H7)	537	655	152	41	16	1,401
全 体	342	406	124	38	11	921
東	29	42	11	9	1	92
鉄 南	40	54	12	3	1	110
西	107	106	43	7	5	268
川 北	49	50	21	4	1	125
西帯広	43	51	16	7	3	120
南	57	81	18	6		162
農 村	17	22	3	2		44

問6 これからも住みたいか？

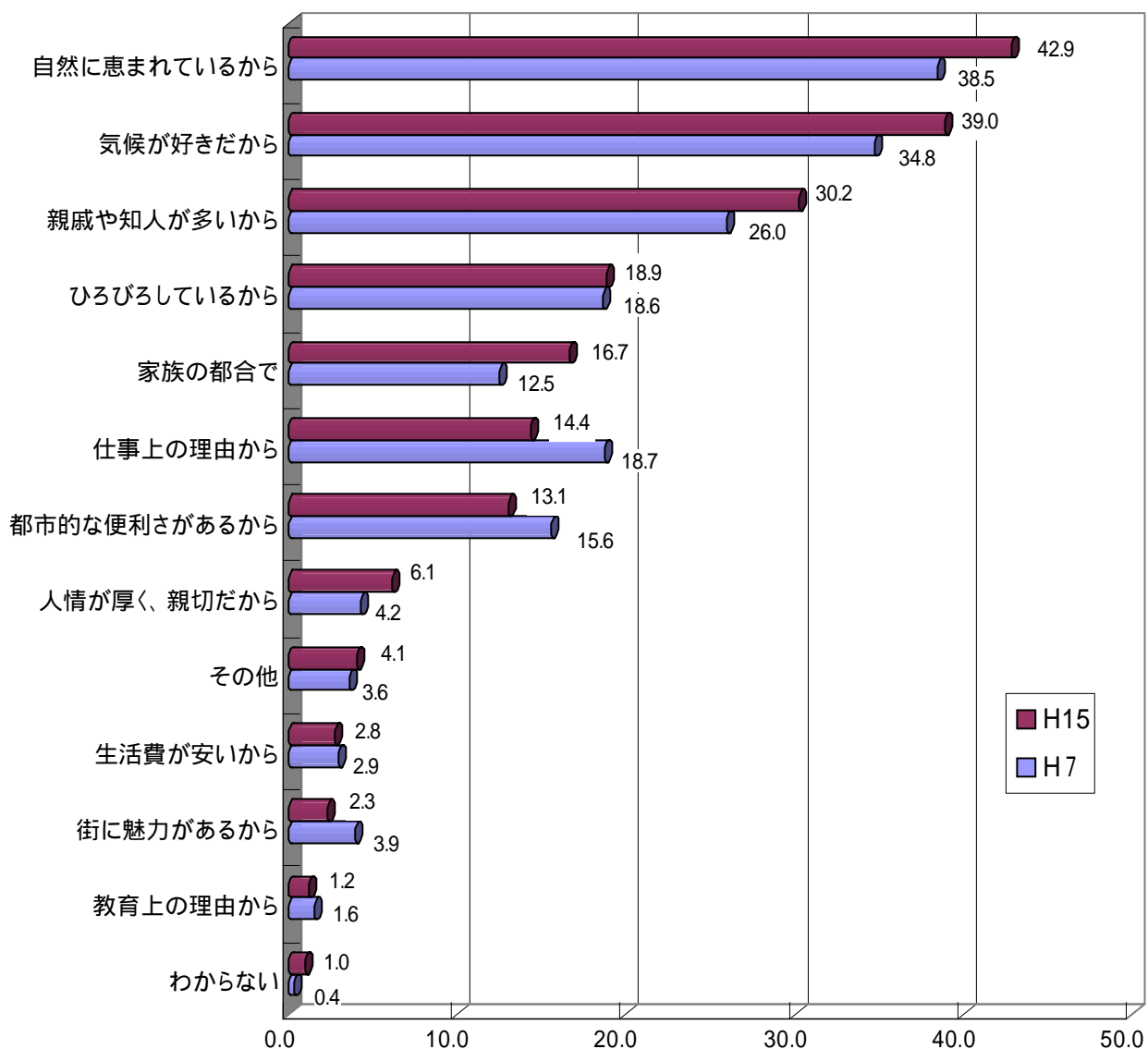


回答者数は921人で、「住みたい」688人(74.7%)、「できれば他に移りたい」84人(9.1%)、「どちらともいえない」149人(16.2%)となっている。
 地区別においては、農村地区で住みたいが83.7%と高くなっている。
 「住みたい」は、前回(H7)77.1%より2.4ポイント少なくなっている。

問7 住み続けたい理由？

問6で「住み続けたい」と答えた方（688人）が、13の選択肢からその理由を2つまで選択して回答。

住み続けたい理由の多い順、前回（H7）との比較は次のとおりである。

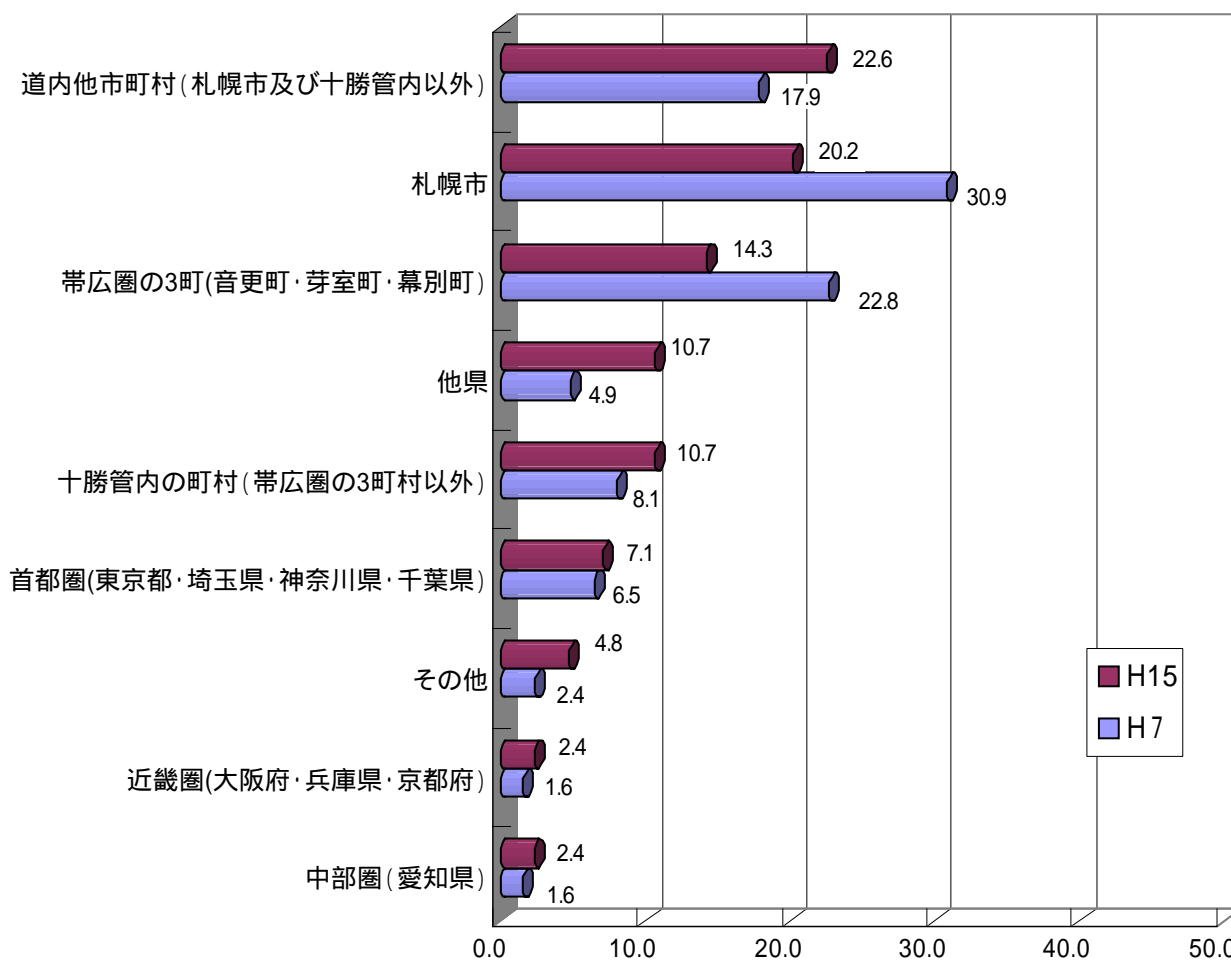


回答者数は688人で、「自然に恵まれているから」295人（42.9%）、「気候が好きだから」268人（39.0%）、「親戚や知人が多いから」208人（30.2%）の順番で、前回（H7）と変わっていない。

前回（H7）と比較して回答の比率はそれぞれ4ポイント以上多くなっている。

問8 どこに移りたいか？

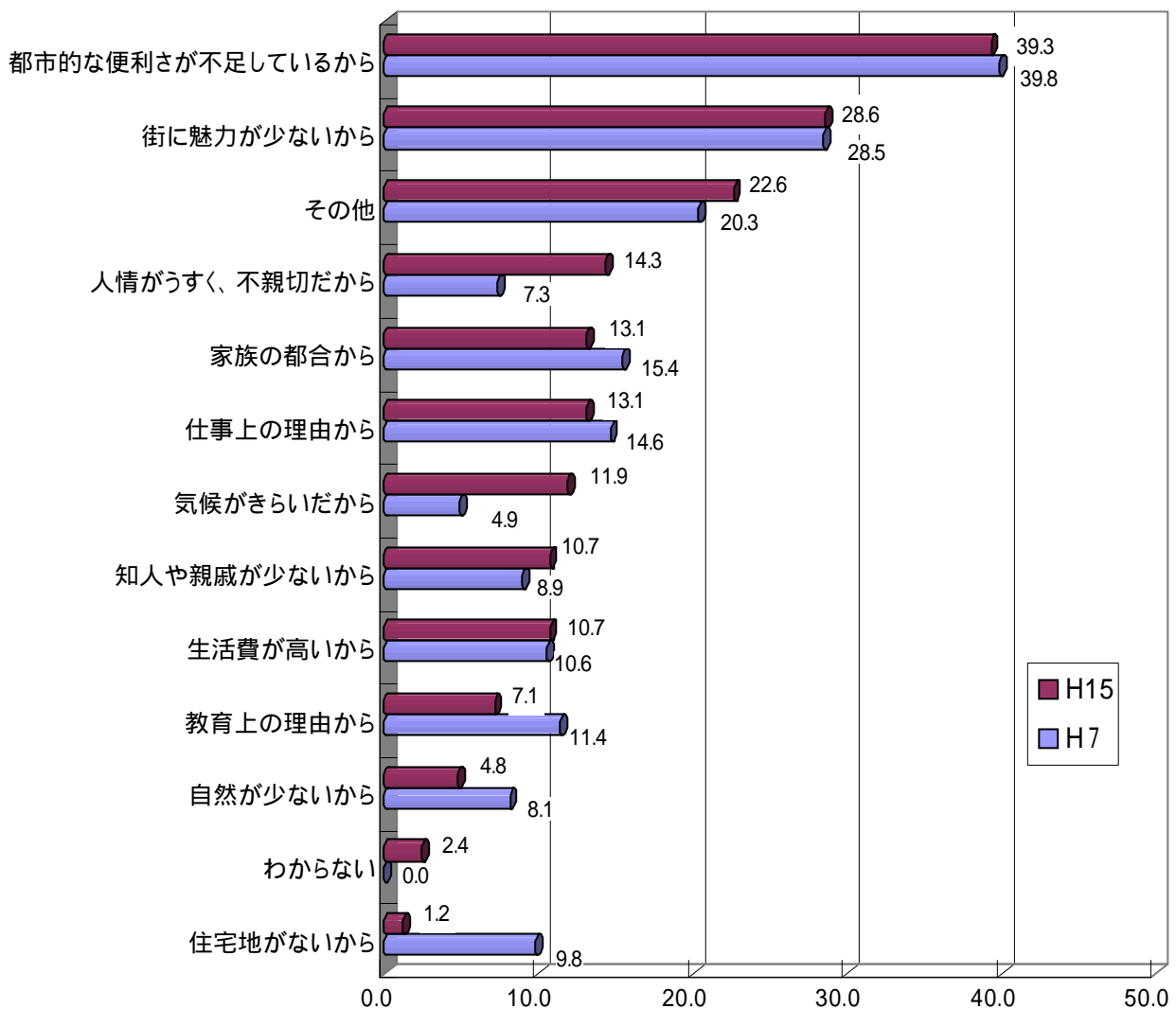
問6で「できれば他の市町村に移りたい」と答えた方（84人）が、9の選択肢からあてはまるものを1つ選択して回答。
移りたい市町村の多い順、前回（H7）との比較は次のとおりである。



回答者数は84人で、「道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）」19人（22.6%）、
「札幌市」17人（20.2%）、「帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町）」12人（14.3%）
の3つが上位となり、前回(H7)と変わっていない。
前回(H7)と比較して「札幌市」「帯広圏」の比率が少なくなっている。

問9 移りたい理由？

問6で「できれば他の市町村に移りたい」と答えた方(84人)が、13の選択肢からその理由を2つまで選択して回答。
移りたいとした理由の多い順、前回(H7)との比較は次のとおりである。



回答者数は84人で、「都市的な便利さが不足しているから」33人(39.3%)、「街に魅力が少ないから」24人(28.6%)、「その他」19人(22.6%)の3つが上位となり、前回(H7)と順位は変わっていない。
前回(H7)と比較してその比率も変わらない。

(定住意識について)

問6 定住意識

回答者数 = 921人

区分	回答数	比率%
1 住み続けたい	688	74.7
2 できれば他の市町村に移りたい	84	9.1
3 どちらともいえない	149	16.2

前回(H7)
77.1%
8.7%
14.2%

問7 住み続けたい理由 (2つまでの複数回答での上位5項目) 回答者数 = 688人

順位	区分	回答数	比率%
1	自然に恵まれているから	295	42.9
2	気候が好きだから	268	39.0
3	親戚や知人が多いから	208	30.2
4	ひろびろとしているから	130	18.9
5	家族の都合で	115	16.7

前回(H7)
38.5%
34.8%
26.0%
18.6%
12.5%

問8 どこに移りたいか? 希望の場所 (上位5項目)

回答者数 = 84人

順位	区分	回答数	比率%
1	道内他市町村(札幌市及び十勝管内以外)	19	22.6
2	札幌市	17	20.2
3	帯広圏の3町(音更町・芽室町・幕別町)	12	14.3
4	十勝管内の町村(帯広圏の3町以外)	9	10.7
4	他県	9	10.7

前回(H7)
17.9%
30.9%
22.8%
8.1%
6.5%

問9 他の市町村に移りたい理由 (2つまでの複数回答での上位5項目) 回答者数 = 84人

順位	区分	回答数	比率%
1	都市的便利さが不足しているから	33	39.3
2	街に魅力が少ないから	24	28.6
3	その他	19	22.6
4	人情がうすく、不親切だから	12	14.3
5	仕事上の理由から	11	13.1
5	家族の都合から	11	13.1

前回(H7)
39.8%
28.5%
20.3%
7.3%
14.6%
15.4%

問10 具体的項目別満足度

まちづくりの具体的な項目に関して、その満足度をまとめる。
「満足している」、「やや満足している」を合わせた満足度の比率が高い項目としては、次のようなものが上位10項目となっている。

問番号	問の内容	(比率) 満足度
7	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	61.1%
34	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	59.7%
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	51.5%
24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	51.5%
31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	49.9%
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	48.6%
1	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	48.5%
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	48.1%
29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	48.0%
42	身近なところの道路が整備されていること	46.3%

満足度の加重平均が大きい(満足度が高い)項目としては、次のようなものが上位10項目となっている。

問番号	問の内容	(加重平均) 満足度
34	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	0.5778
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	0.5296
7	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	0.5063
29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	0.3874
31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	0.3542
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	0.3491
24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	0.3393
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	0.3061
17	快適な環境の住宅地が供給されていること	0.2857
23	リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	0.2522

満足度の比率が高い項目、加重平均の大きい項目は、「7 公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること」、「34 公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること」となっている。

「4 町内会などの地域活動に参加する機会があること」は、不満足率が少ないことから加重平均による評価で上位となっている。

(注) 満足度の加重平均は、「満足している」に+2、「やや満足している」に+1、「どちらともいえない」±0、「やや不満足である」に-1、「不満足である」-2を与えて、平均値を求めた。

「不満足である」、「やや不満足である」を合わせた不満足の高率項目としては、次のようなものが上位10項目となっている。

問番号	問の内容	(比率)
		不満足
20	若者が魅力を感じることでできる働く場があること	68.8%
44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	65.0%
46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	60.0%
28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことでできる場があること	56.3%
3	大学があり高度な教育が受けられること	49.2%
19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	46.8%
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	44.1%
18	市内におけるバス利用の便がよいこと	43.0%
15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	42.2%
8	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	41.4%

満足度の加重平均が小さい(不満足)項目としては、次のようなものが上位10項目となっている。

問番号	問の内容	(加重平均)
		満足度
20	若者が魅力を感じることでできる働く場があること	-1.0052
44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	-0.9023
46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	-0.7638
28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことでできる場があること	-0.7060
3	大学があり高度な教育が受けられること	-0.5652
19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	-0.5541
26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	-0.4846
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	-0.4824
15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	-0.3642
30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	-0.3338

不満足の高率項目、加重平均の小さい項目は、「20 若者が魅力を感じることでできる働く場があること」、「44 中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること」となっている。

「26 新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること」、「30 図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること」は、満足度の比率が低いことから加重平均による評価で上位となっている。

満足度・不満足の高率%と加重平均による評価を比較してみる。

高率%では、満足、不満足のうち一方しか評価することができない。

加重平均では、満足度と不満足を合わせて評価することができる。

よって、本報告では満足度の加重平均を用いて評価することとする。

問10 具体的項目別重要度

まちづくりの具体的な項目に関して、その重要度をまとめる。
「重要である」、「やや重要である」を合わせた重要度の比率が高い項目としては、次のようなものが上位10項目となっている。

問番号	問の内容	(比率) 重要度
38	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	93.6%
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	90.7%
46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	89.5%
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	89.1%
28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること	86.5%
7	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	86.4%
20	若者が魅力を感じることで働く場があること	86.4%
15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	85.8%
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	84.6%
40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	84.3%

重要度の加重平均が大きい(重要度が高い)項目としては、次のようなものが上位10項目となっている。

問番号	問の内容	(加重平均) 重要度
38	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	1.6539
46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	1.6026
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	1.5635
40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	1.4775
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	1.4724
20	若者が魅力を感じることで働く場があること	1.4611
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	1.4606
28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること	1.4523
15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	1.4484
27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	1.3984

重要度の比率が高い項目、加重平均の大きい項目は、「38 病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること」、「16 大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること」、「46 子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと」となっている。

「27 小学校・中学校において充実した教育が受けられること」は、「重要である」が「やや重要である」とする比率より高いことから加重平均で上位となっている。

(注) 重要度の加重平均は、「重要である」に+2、「やや重要である」に+1、「どちらともいえない」±0、「あまり重要ではない」に-1、「重要でない」-2を与えて、平均値を求めた。

「重要でない」、「あまり重要ではない」を合わせた非重要の比率が高い項目としては、次のようなものが上位10項目となっている。

問番号	問の内容	(比率) 非重要
2	外国の人々と交流する機会があること	27.0%
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	14.6%
1	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	11.5%
11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	8.9%
3	大学があり高度な教育が受けられること	8.8%
35	釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	6.9%
21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	6.8%
29	帯広の森で散歩したり、自然に親しんだりする機会があること	6.7%
8	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	6.6%
18	市内におけるバス利用の便がよいこと	6.3%

重要度の加重平均が小さい（非重要）項目としては、次のようなものが上位10項目となっている。

問番号	問の内容	(加重平均) 重要度
2	外国の人々と交流する機会があること	0.0974
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	0.5576
41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	0.6018
35	釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	0.6133
11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	0.6186
12	生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること	0.7679
37	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	0.7686
21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	0.7977
1	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	0.7992
26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	0.8265

非重要の比率が高い項目、加重平均の小さい項目は、「2 外国の人々と交流する機会があること」、「4 町内会などの地域活動に参加する機会があること」となっている。

「41 さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること」は、重要度の比率が低いことから加重平均で上位となっている。

重要度・非重要の比率%と加重平均による評価を比較してみる。

比率%では、重要、非重要の一方しか評価することができない。

加重平均では、重要度と非重要を合わせて評価することができる。

よって、本報告では重要度の加重平均を用いて評価することとする。

まちづくりに関する具体的項目別の満足度・重要度

番号	個別項目の内容	満足度			重要度		
		満足%	不満足%	加重平均	重要%	非重要%	加重平均
1	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	48.5	30.8	0.1671	69.1	11.5	0.7992
2	外国の人々と交流する機会があること	9.4	23.4	-0.2252	34.4	27.0	0.0974
3	大学があり高度な教育が受けられること	15.8	49.2	-0.5652	68.9	8.8	0.9273
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	48.6	8.9	0.5296	55.2	14.6	0.5776
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	14.7	44.1	-0.4824	84.6	3.4	1.4606
6	地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること	37.0	20.4	0.1695	77.9	3.8	1.1510
7	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	61.1	23.8	0.5063	86.4	3.1	1.3026
8	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	33.7	41.4	-0.1542	75.2	6.6	1.0325
9	近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと	17.0	25.8	-0.1316	62.8	5.2	0.8718
10	地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること	22.9	34.8	-0.1798	72.3	4.1	1.0699
11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	25.7	21.1	0.0381	55.3	8.9	0.6186
12	生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること	35.8	20.0	0.1829	61.8	5.1	0.7679
13	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	24.3	28.9	-0.0925	76.0	2.4	1.1940
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	48.1	23.0	0.3061	89.1	0.9	1.4724
15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	19.3	42.2	-0.3642	85.8	1.9	1.4484
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	51.5	24.4	0.3491	90.7	1.2	1.5635
17	快適な環境の住宅地が供給されていること	45.4	21.7	0.2857	80.9	2.6	1.2659
18	市内におけるバス利用の便がよいこと	25.9	43.0	-0.3124	72.9	6.3	1.0296
19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	10.9	46.8	-0.5541	78.1	1.8	1.2785
20	若者が魅力を感じることで働く場があること	3.7	68.8	-1.0052	86.4	2.7	1.4611
21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	30.0	31.8	-0.0828	64.1	6.8	0.7977
22	老後に生きがいを持った生活がおくれること	19.0	36.5	-0.3006	83.2	1.7	1.3798
23	リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	42.0	21.5	0.2522	83.9	1.5	1.3565
24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	51.5	26.1	0.3393	83.6	3.5	1.2632
25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	18.2	23.3	-0.0860	61.1	4.3	0.8275
26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	6.1	40.3	-0.4846	61.2	5.6	0.8265
27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	32.2	25.0	0.0565	81.7	1.2	1.3984
28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること	10.5	56.3	-0.7060	86.5	1.2	1.4523
29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	48.0	17.5	0.3874	65.7	6.7	0.8497
30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	22.0	40.2	-0.3338	69.6	5.1	1.0039
31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	49.9	22.7	0.3542	78.0	2.7	1.1375
32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入る	31.9	26.0	0.0746	67.9	3.6	0.9080
33	安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること	21.4	33.7	-0.2058	76.6	2.6	1.2003
34	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	59.7	16.7	0.5778	81.3	3.5	1.2036
35	釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	13.1	21.1	-0.1184	51.1	6.9	0.6133
36	手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること	28.1	37.6	-0.1753	68.0	5.9	0.8588
37	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	31.5	24.4	0.0664	60.5	4.8	0.7686
38	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	45.1	32.4	0.1372	93.6	0.5	1.6539
39	雨水が適切に排水処理されていること	41.2	23.0	0.2246	79.0	1.4	1.2675
40	地震や水害など、災害への備えが十分に安心できる街であること	20.8	28.2	-0.1384	84.3	0.7	1.4775
41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	17.4	13.5	0.0458	48.7	5.4	0.6018
42	身近なところの道路が整備されていること	46.3	31.9	0.1354	81.6	3.8	1.2510
43	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	20.8	24.0	-0.0789	74.3	2.6	1.1667
44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	8.9	65.0	-0.9023	76.4	5.6	1.1381
45	街の中や郊外などに美しい景観があること	42.8	27.6	0.1665	79.1	3.6	1.1494
46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	11.5	60.0	-0.7638	89.5	1.3	1.6026

(注) 1 満足度の加重平均は、「満足している」に+2、「やや満足している」に+1、「どちらともいえない」±0、「やや不満足である」に-1、「不満足である」-2を与えて、平均値を求めた。
 2 重要度の加重平均は、「重要である」に+2、「やや重要である」に+1、「どちらともいえない」±0、「あまり重要ではない」に-1、「重要でない」-2を与えて、平均値を求めた。

問10 まちづくりに関する具体的な項目についての満足度合い、重要度合い

満足度合い（満足度合いの高い順）

満足度合	質 問 の 内 容	重要度合
1	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	19
2	町内会などの地域活動に参加する機会があること	45
3	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	13
4	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	35
5	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	26
6	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	3
7	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	17
8	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	5
9	快適な環境の住宅地が供給されていること	16
10	リサイクルが行われ、環境を大切にする地域づくりをすすめること	12
11	雨水が適切に排水処理されていること	15
12	生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること	41
13	地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること	23
14	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	38
15	街の中や郊外などに美しい景観があること	24
16	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	1
17	身近なところの道路が整備されていること	18
18	行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入ること	32
19	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	40
20	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	10
21	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	44
22	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	42
23	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	22
24	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	39
25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	36
26	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	21
27	釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	43
28	近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと	33
29	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	4
30	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	28
31	手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること	34
32	地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること	27
33	安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること	20
34	外国の人々と交流する機会があること	46
35	老後に生きがいを持った生活がおくれること	11
36	市内におけるバス利用の便がよいこと	29
37	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	30
38	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	9
39	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	7
40	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	37
41	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	14
42	大学があり高度な教育が受けられること	31
43	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること	8
44	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	2
45	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	25
46	若者が魅力を感じることで働く場があること	6

重要度合い（重要度合いの高い順）

重要度合い	質 問 の 内 容	満足度合い
1	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	16
2	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	44
3	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	6
4	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	29
5	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	8
6	若者が魅力を感じることで働ける場があること	46
7	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	39
8	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること	43
9	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	38
10	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	20
11	老後に生きがいを持った生活がおくれること	35
12	リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	10
13	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	3
14	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	41
15	雨水が適切に排水処理されていること	11
16	快適な環境の住宅地が供給されていること	9
17	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	7
18	身近なところの道路が整備されていること	17
19	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	1
20	安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること	33
21	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	26
22	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	23
23	地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること	13
24	街の中や郊外などに美しい景観があること	15
25	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	45
26	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	5
27	地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること	32
28	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	30
29	市内におけるバス利用の便がよいこと	36
30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	37
31	大学があり高度な教育が受けられること	42
32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入ること	18
33	近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと	28
34	手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること	31
35	帯広の森で散歩したり、自然に親しんだりする機会があること	4
36	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	25
37	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	40
38	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	14
39	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	24
40	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	19
41	生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること	12
42	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	22
43	釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	27
44	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	21
45	町内会などの地域活動に参加する機会があること	2
46	外国の人々と交流する機会があること	34

満足度合い順位変動 (前回調査と比較した順位変動 5以上を——→で表示)

前回 (H7)

順位	番号	質問の内容	前回順位	前回番号
1	34	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	1	34
2	4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	2	4
3	7	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	3	7
4	29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	4	24
5	31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	5	31
6	16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	6	29
7	24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	7	14
8	14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	8	45
9	17	快適な環境の住宅地が供給されていること	9	1
10	23	リサイクルが行われ、環境を大切にする地域づくりをすすめること	10	17
11	39	雨水が適切に排水処理されていること	11	39
12	12	生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること	12	42
13	6	地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること	13	38
14	1	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	14	27
15	45	街の中や郊外などに美しい景観があること	15	12
16	38	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	16	8
17	42	身近なところの道路が整備されていること	17	32
18	32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入ること	18	16
19	37	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	19	6
20	27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	20	11
21	41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	21	37
22	11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	22	35
23	43	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	23	33
24	21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	24	43
25	25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	25	9
26	13	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	26	23
27	35	釧路,北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	27	13
28	9	近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと	28	41
29	40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	29	21
30	8	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	30	25
31	36	手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること	31	18
32	10	地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること	32	36
33	33	安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること	33	30
34	2	外国の人々と交流する機会があること	34	44
35	22	老後に生きがいを持った生活がおくれること	35	22
36	18	市内におけるバス利用の便がよいこと	36	10
37	30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	37	2
38	15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	38	40
39	5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	39	26
40	26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	40	19
41	19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	41	15
42	3	大学があり高度な教育が受けられること	42	5
43	28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること	43	28
44	46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	44	20
45	44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	45	3
46	20	若者が魅力を感じることで働く場があること		

重要度合い順位変動（前回調査と比較した順位変動 5以上を ——>で表示）

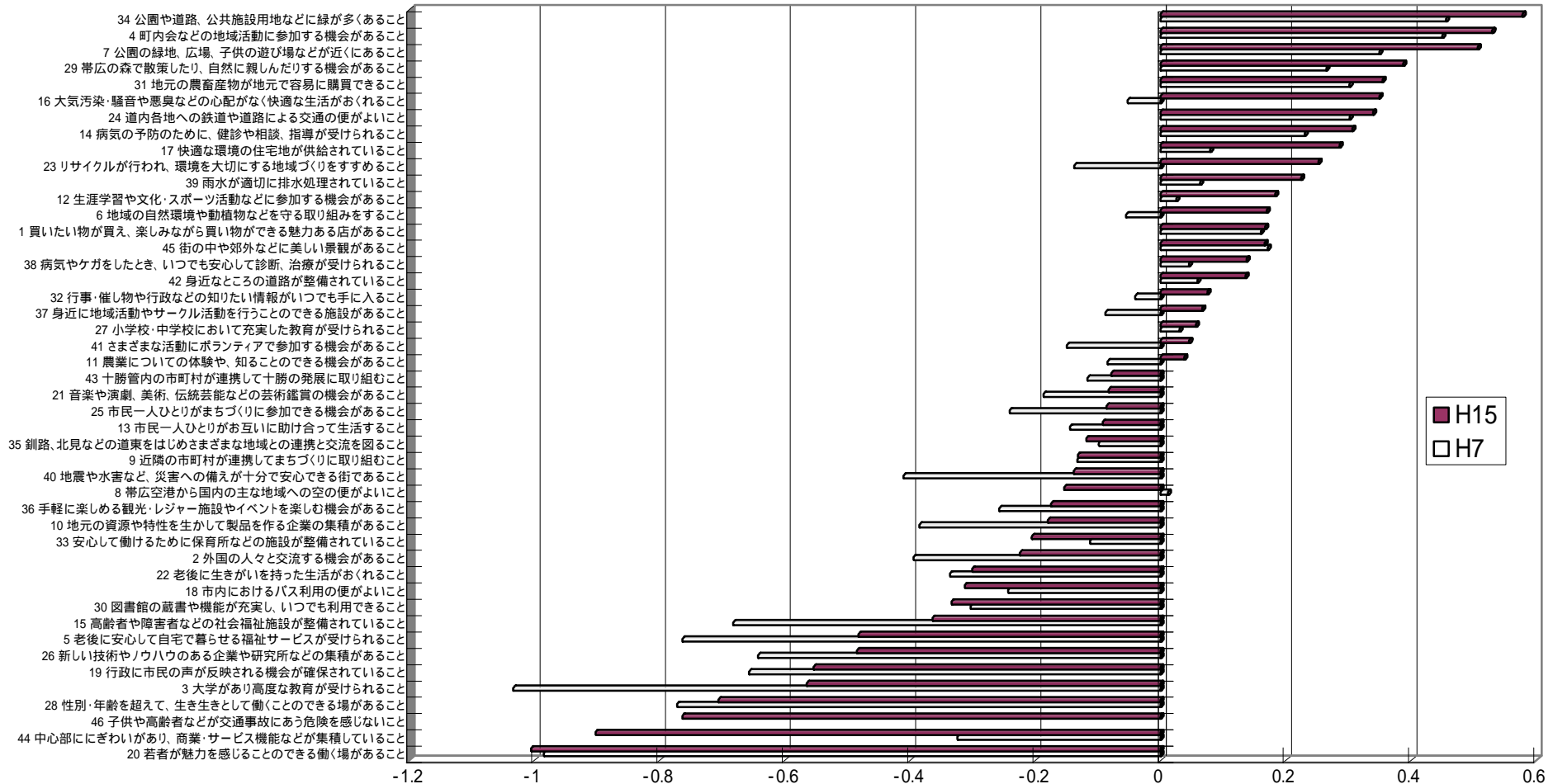
前回（H7）

順位	番号	質問の内容	前回順位	前回番号
1	38	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	1	5
2	46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	2	15
3	16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	3	40
4	40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	4	38
5	14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	5	20
6	20	若者が魅力を感じることでできる働く場があること	6	14
7	5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	7	16
8	28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことでできる場があること	8	22
9	15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	9	27
10	27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	10	19
11	22	老後に生きがいを持った生活がおくれること	11	23
12	23	リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	12	28
13	7	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	13	7
14	19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	14	42
15	39	雨水が適切に排水処理されていること	15	3
16	17	快適な環境の住宅地が供給されていること	16	39
17	24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	17	43
18	42	身近なところの道路が整備されていること	18	17
19	34	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	19	24
20	33	安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること	20	6
21	13	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	21	13
22	43	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	22	34
23	6	地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること	23	10
24	45	街の中や郊外などに美しい景観があること	24	45
25	44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	25	8
26	31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	26	9
27	10	地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること	27	33
28	8	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	28	18
29	18	市内におけるバス利用の便がよいこと	29	1
30	30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	30	31
31	3	大学があり高度な教育が受けられること	31	44
32	32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入ること	32	30
33	9	近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと	33	26
34	36	手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること	34	36
35	29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	35	12
36	25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	36	21
37	26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	37	37
38	1	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	38	32
39	21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	39	29
40	37	身近に地域活動やサークル活動を行うことでできる施設があること	40	25
41	12	生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること	41	41
42	11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	42	35
43	35	釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	43	4
44	41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	44	11
45	4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	45	2
46	2	外国の人々と交流する機会があること		

問10 満足度(前回との比較)

満足度の加重平均を大きい順に並び替え、前回(H7)との比較を行う。

(注)満足度の加重平均は、「満足している」に+2、「やや満足している」に+1、「どちらともいえない」±0、「やや不満足である」に-1、「不満足である」に-2を与えて、平均値を求めた。



前回と同様に、加重平均による満足度がもっとも高かったのは、「34 公園や道路の緑」で、もっとも低かったのは、「20 若者の働く場」となっている。

満足度の加重平均が - (不満足) から + (満足) へ評価が大きく変わった項目は、「16 大気汚染」、「23 リサイクル」、「6 地域の自然環境」、「41 ボランティア」、「37 地域・サークル活動」、「11 農業体験」、「32 情報入手」の7項目となっている。+ (満足) から - (不満足) となった項目は、「8 帯広空港の空の便」1項目のみとなっている。

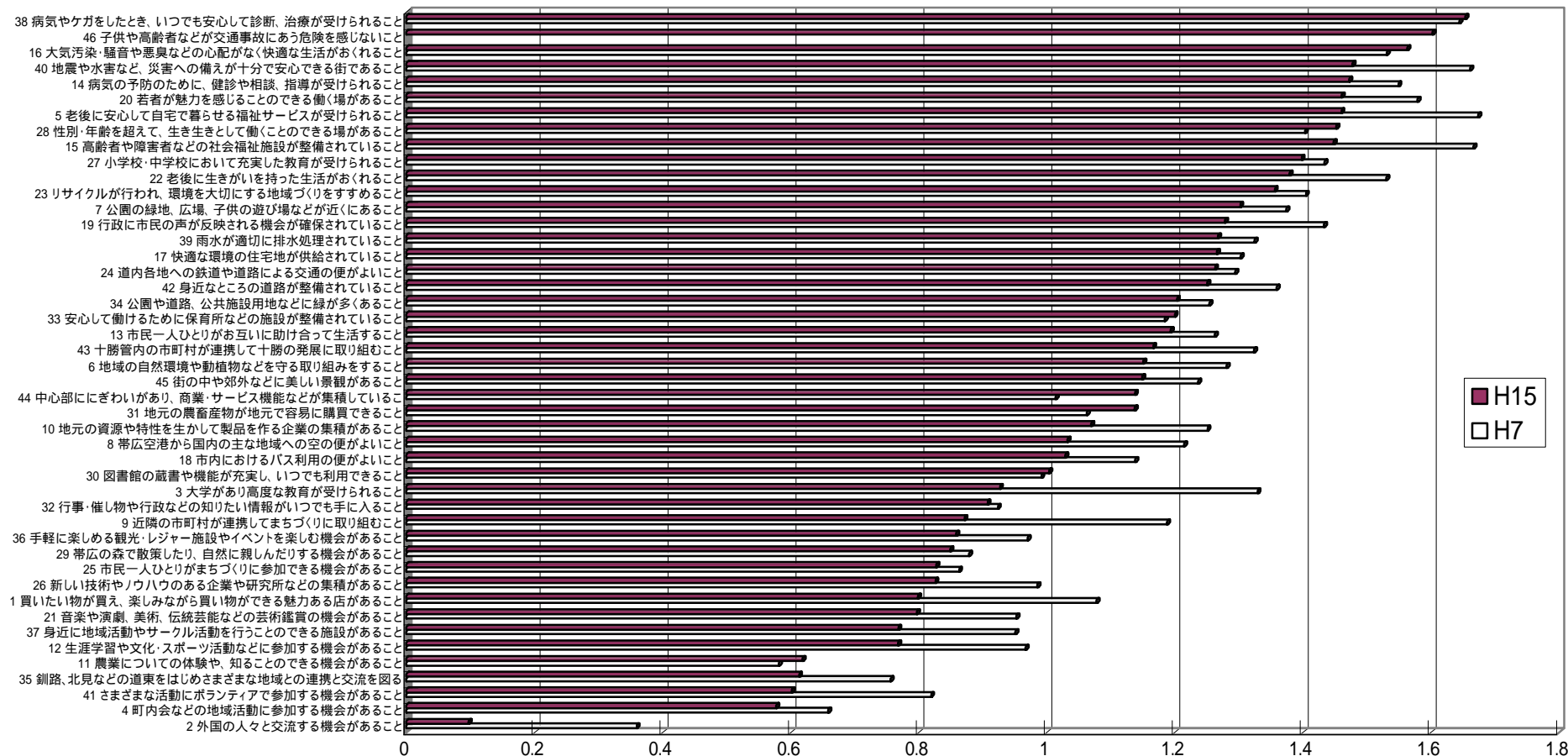
加重平均による (満足度) の評価がもっとも上がった項目は、「3 大学」で「16 大気汚染」、「23 リサイクル」、「15 社会福祉施設」、「5 福祉サービス」の順となっている。

(満足度) の評価がもっとも下がった項目は、「44 中心部のにぎわい」で「8 帯広空港の空の便」、「33 保育所」、「18 バス利用」、「30 図書館」の順となっている。

問10 重要度(前回との比較)

重要度の加重平均を大きい順に並び替え、前回(H7)との比較を行う。

(注)重要度の加重平均は、「重要である」に+2、「やや重要である」に+1、「どちらともいえない」±0、「あまり重要ではない」に-1、「重要でない」に-2を与えて、平均値を求めた。



今回、加重平均による重要度がもっとも高かったのは、「38 病気がケガ」で、もっとも低かったのは、前回と同様に、「2 外国の人々と交流」となっている。

前回と同様に、重要度の加重平均は、すべての項目で+ (重要)の評価となっている。

加重平均による(重要度)の評価がもっとも上がった項目は、「44 中心部ににぎわい」で「31 地元の農畜産物」、「28 働く場」、「11 農業体験」、「16 大気汚染」、「33 保育所」、「30 図書館」の順で、(重要度)の評価が上がったのは、7項目となっている。

(重要度)の評価がもっとも下がった項目は、「3 大学」で「9 近隣の市町村連携」、「1 買い物」、「2 外国の人々と交流」、「15 社会福祉施設」の順となっている。

問10 満足度の加重平均(前回との比較)

番号	問の内容	H7	H15
34	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	0.4555	0.5778
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	0.4495	0.5296
7	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	0.3491	0.5063
29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	0.2647	0.3874
31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	0.3017	0.3542
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	-0.0527	0.3491
24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	0.3018	0.3393
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	0.2301	0.3061
17	快適な環境の住宅地が供給されていること	0.0792	0.2857
23	リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	-0.1379	0.2522
39	雨水が適切に排水処理されていること	0.0635	0.2246
12	生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること	0.0250	0.1829
6	地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること	-0.0547	0.1695
1	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	0.1604	0.1671
45	街の中や郊外などに美しい景観があること	0.1714	0.1665
38	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	0.0456	0.1372
42	身近なところの道路が整備されていること	0.0589	0.1354
32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入る事	-0.0411	0.0746
37	身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	-0.0884	0.0664
27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	0.0298	0.0565
41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	-0.1494	0.0458
11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	-0.0844	0.0381
43	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	-0.1164	-0.0789
21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	-0.1870	-0.0828
25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	-0.2409	-0.0860
13	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	-0.1444	-0.0925
35	釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	-0.0986	-0.1184
9	近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと	-0.1329	-0.1316
40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	-0.4105	-0.1384
8	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	0.0116	-0.1542
36	手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること	-0.2578	-0.1753
10	地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること	-0.3853	-0.1798
33	安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること	-0.1128	-0.2058
2	外国の人々と交流する機会があること	-0.3945	-0.2252
22	老後に生きがいを持った生活がおくれること	-0.3361	-0.3006
18	市内におけるバス利用の便がよいこと	-0.2435	-0.3124
30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	-0.3037	-0.3338
15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	-0.6827	-0.3642
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	-0.7632	-0.4824
26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	-0.6427	-0.4846
19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	-0.6573	-0.5541
3	大学があり高度な教育が受けられること	-1.0340	-0.5652
28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること	-0.7716	-0.7060
46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと		-0.7638
44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	-0.3248	-0.9023
20	若者が魅力を感じることで働く場があること	-0.9845	-1.0052

問10 重要度の加重平均(前回との比較)

番号	問の内容	H7	H15
38	病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	1.6449	1.6539
46	子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと		1.6026
16	大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること	1.5315	1.5635
40	地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	1.6617	1.4775
14	病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること	1.5496	1.4724
20	若者が魅力を感じることでできる働く場があること	1.5791	1.4611
5	老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること	1.6742	1.4606
28	性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことでできる場があること	1.4035	1.4523
15	高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること	1.6669	1.4484
27	小学校・中学校において充実した教育が受けられること	1.4341	1.3984
22	老後に生きがいを持った生活がおくれること	1.5308	1.3798
23	リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること	1.4050	1.3565
7	公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること	1.3744	1.3026
19	行政に市民の声が反映される機会が確保されていること	1.4332	1.2785
39	雨水が適切に排水処理されていること	1.3246	1.2675
17	快適な環境の住宅地が供給されていること	1.3030	1.2659
24	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	1.2950	1.2632
42	身近なところの道路が整備されていること	1.3596	1.2510
34	公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	1.2546	1.2036
33	安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること	1.1849	1.2003
13	市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること	1.2628	1.1940
43	十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	1.3238	1.1667
6	地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること	1.2812	1.1510
45	街の中や郊外などに美しい景観があること	1.2370	1.1494
44	中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	1.0144	1.1381
31	地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	1.0630	1.1375
10	地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること	1.2514	1.0699
8	帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと	1.2150	1.0325
18	市内におけるバス利用の便がよいこと	1.1386	1.0296
30	図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	0.9920	1.0039
3	大学があり高度な教育が受けられること	1.3296	0.9273
32	行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入ること	0.9239	0.9080
9	近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと	1.1878	0.8718
36	手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること	0.9706	0.8588
29	帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	0.8793	0.8497
25	市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること	0.8635	0.8275
26	新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	0.9856	0.8265
1	買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること	1.0779	0.7992
21	音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	0.9531	0.7977
37	身近に地域活動やサークル活動を行うことでできる施設があること	0.9510	0.7686
12	生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること	0.9672	0.7679
11	農業についての体験や、知ることのできる機会があること	0.5817	0.6186
35	釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	0.7566	0.6133
41	さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	0.8198	0.6018
4	町内会などの地域活動に参加する機会があること	0.6589	0.5776
2	外国の人々と交流する機会があること	0.3596	0.0974

問10 満足度・重要度順位の組み合わせによる評価

問10の各問について、満足度・重要度の加重平均順位により次のように区分する。

- 上：満足度・重要度の高い区分、1位～15位
- 中： " " 中程度区分、16位～31位
- 下： " " 低い区分、32位～46位

組み合わせは、満足度・重要度ともに上の【上-上】からともに下の【下-下】までの9区分となる。満足度の区分（上・中・下）を縦に、重要度の区分を横に整理すると次の表の通りとなる。

（問の番号）満足度 / 重要度順位

	重要度(上)1～15位	重要度(中)16～31位	重要度(下)32～46位
満足度 (上) 1 15位	上 - 上	上 - 中	上 - 下
	(7) 3/13 公園・広場	(6) 13/23 地域の自然	(1) 14/38 買い物・魅力店
	(14) 8/5 病気予防	(17) 9/16 住宅地供給	(4) 2/45 町内会活動
	(16) 6/3 大気汚染	(24) 7/17 道内各地へ	(12) 12/41 生涯学習・スポーツ
	(23) 10/12 リサイクル	(31) 5/26 地元農産物	(29) 4/35 帯広の森
(39) 11/15 雨排水	(34) 1/19 公園..緑		
(45) 15/24 美しい景観			
満足度 (中) 16 31位	中 - 上	中 - 中	中 - 下
	(27) 20/10 小・中学校	(8) 30/28 帯広空港より	(9) 28/33 近隣市町村連携
	(38) 16/1 病気・ケガ	(13) 26/21 市民助け合い	(11) 22/42 生涯学習・スポーツ
	(40) 29/4 防災	(42) 17/18 身近な道路	(21) 24/39 音楽・芸術
		(43) 23/22 十勝市町村連携	(25) 25/36 市民・まちづくり
		(32) 18/32 地域情報	
		(35) 27/43 釧路などとの交流	
		(36) 31/34 楽しみ・レジャー	
		(37) 19/40 地域活動	
		(41) 21/44 ボランティア	
満足度 (下) 32 46位	下 - 上	下 - 中	下 - 下
	(5) 39/7 老後・福祉サービス	(3) 42/31 大学	(2) 34/46 外国人との交流
	(15) 38/9 社会福祉施設	(10) 32/27 地元の資源	(26) 40/37 新技術・研究所集積
	(19) 41/14 市民参加	(18) 36/29 市内バス利便	
	(20) 46/6 若者..働く場	(30) 37/30 図書館	
(22) 35/11 老後にいきがい	(33) 33/20 保育所		
(28) 43/8 働く場	(44) 45/25 中心部にぎわい		
(46) 44/2 交通安全			

表中、前回（H7）との比較で、満足度および重要度の区分が同じとなった問については、網掛けで表示。

前回（平成7年）の結果も同様に上位15位、下位15位に区分し整理する

上：満足度・重要度の高い区分、1位～15位
 中： " " 中程度区分、16位～30位
 下： " " 低い区分、31位～45位

組み合わせは、満足度・重要度ともに上の【上-上】からともに下の【下-下】までの9区分となる。
 満足度の区分（上・中・下）を縦に、重要度の区分を横に整理すると次の表の通りとなる。

（問の番号）満足度 / 重要度順位

	重要度(上)1～15位	重要度(中)16～30位	重要度(下)31～45位
満足度 (上) 1 ～ 15 位	上 - 上	上 - 中	上 - 下
	(7) 3/13 公園・広場	(1) 9/29 買い物・魅力店	(4) 2/43 町内会活動
	(14) 7/6 病気予防	(17) 10/18 住宅地供給	(12) 15/35 生涯学習・スポーツ
	(27) 14/9 小・中学校	(24) 4/19 道内各地へ	(29) 6/39 帯広の森
	(38) 13/4 病気・ケガ	(31) 5/30 地元農産物	
(42) 12/14 身近な道路	(34) 1/22 公園..緑		
		(45) 8/24 美しい景観	
		(39) 11/16 雨排水	
満足度 (中) 16 ～ 30 位	中 - 上	中 - 中	中 - 下
	(16) 18/7 大気汚染	(8) 16/25 帯広空港より	(11) 20/44 生涯学習・スポーツ
	(23) 26/11 リサイクル	(13) 27/21 市民助け合い	(21) 29/36 音楽・芸術
		(6) 19/20 地域の自然	(25) 30/40 市民・まちづくり
		(9) 25/26 近隣市町村連携	(32) 17/38 地域情報
	(33) 23/27 保育所	(35) 22/42 釧路などとの交流	
	(43) 24/17 十勝市町村連携	(37) 21/37 地域活動	
		(41) 28/41 ボランティア	
満足度 (下) 31 ～ 45 位	下 - 上	下 - 中	下 - 下
	(5) 42/1 老後・福祉サービス	(10) 36/23 地元の資源	(2) 37/45 外国人との交流
	(15) 41/2 社会福祉施設	(18) 31/28 市内バス利便	(26) 39/33 新技術・研究所集積
	(19) 40/10 市民参加		(36) 32/34 楽しみ・レジャー
	(20) 44/5 若者..働く場		(30) 33/32 図書館
(22) 35/8 老後にいきがい		(44) 34/31 中心部にぎわい	
(28) 43/12 働く場			
(3) 45/15 大学			
(40) 38/3 防災			

表中、今回調査（H15）においても満足度および重要度の区分が同じであった問については、網掛けで表示。

【上 - 上】“満足度が高く、重要度も高い”

設問の事項に対して、現在満足しており、今後とも重要とする評価である。

(上昇, 下降, 横ばい)
満足度 重要度

今回調査では、

- (7) 公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること
- (14) 病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること
- (16) 大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること
- (23) リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること
- (39) 雨水が適切に排水処理されていること

であった。このうち(7)、(14)は、前回と区分の移動はない。

(16)、(23)は、満足度が上がり、(39)は、重要度が上がっている。

【上 - 中】“満足度が高く、重要度は中程度”

設問の事項に対して、現在満足しており、今後の重要度は中程度とする評価である。

今回調査では、

満足度 重要度

- (6) 地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること
- (17) 快適な環境の住宅地が供給されていること
- (24) 道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと
- (31) 地元の農畜産物が地元で容易に購入できること
- (34) 公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること
- (45) 街の中や郊外などに美しい景観があること

であった。このうち(17)、(24)、(31)、(34)、(45)は、前回と区分の移動はない。
(6)は、満足度が上がっている。

【上 - 下】“満足度が高く、重要度は低い”

設問の事項に対して、現在満足しており、今後の重要度は低いとする評価である。

今回調査では、

満足度 重要度

- (1) 買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること
- (4) 町内会などの地域活動に参加する機会があること
- (12) 生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること
- (29) 帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること

であった。このうち(4)、(12)、(29)は、前回と区分の移動はない。

(1)は、重要度が下がっている。

【中 - 上】“満足度が中程度で、重要度が高い”

設問の事項に対して、現在の満足度は中程度であり、今後の重要度は高いとする評価である。

今回調査では、

満足度 重要度

- (27) 小学校・中学校において充実した教育が受けられること
- (38) 病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること
- (40) 地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること

であった。このうち(27)、(38)は、満足度が下がり、(40)は、満足度が上がっている。

【中 - 中】“満足度が中程度で、重要度も中程度”

設問の事項に対して、現在の満足度は中程度であり、今後の重要度も中程度とする評価である。

今回調査では、

満足度 重要度

(8) 帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと

(13) 市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること

(42) 身近なところの道路が整備されていること

(43) 十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと

であった。このうち(8)、(13)、(43)は、前回と区分の移動はない。

(42)は、満足度・重要度ともに下がっている。

【中 - 下】“満足度が中程度で、重要度は低い”

設問の事項に対して、現在の満足度は中程度であり、今後の重要度は低いとする評価である。

今回調査では、

満足度 重要度

(9) 近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと

(11) 農業についての体験や、知ることのできる機会があること

(21) 音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること

(25) 市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること

(32) 行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入ること

(35) 釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること

(36) 手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること

(37) 身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること

(41) さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること

であった。このうち(11)、(21)、(25)、(32)、(35)、(37)、(41)は、前回と区分の移動はない。

(9)は、重要度が下がっている。(36)は、満足度が上がっている。

【下 - 上】“満足度が低く、重要度が高い”

設問の事項に対して、現在の満足度が低く、今後の重要度は高いとする評価である。

今回調査では、

満足度 重要度

(5) 老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること

(15) 高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること

(19) 行政に市民の声が反映される機会が確保されていること

(20) 若者が魅力を感じることで働く場があること

(22) 老後に生きがいを持った生活がおくれること

(28) 性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること

(46) 子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと

前回調査なし

であった。このうち(46)は、今回新たに追加した設問である。

残り6つの設問は、すべて前回と区分の移動はない。

【下 - 中】“満足度が低く、重要度が中程度”

設問の事項に対して、現在の満足度が低く、今後の重要度は中程度とする評価である。

今回調査では、

満足度 重要度

- (3) 大学があり高度な教育が受けられること
- (10) 地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること
- (18) 市内におけるバス利用の便がよいこと
- (30) 図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること
- (33) 安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること
- (44) 中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること

であった。このうち(10)、(18)は、前回と区分の移動はない。

(3)大学は、重要度が下がり、(30)図書館、(44)中心部は、重要度が上がっている。

(33)保育所は、満足度が下がっている。

【下 - 下】“満足度が低く、重要度も低い”

設問の事項に対して、現在の満足度が低く、今後の重要度も低いとする評価である。

今回調査では、

満足度 重要度

- (2) 外国の人々と交流する機会があること
- (26) 新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること

であった。この2つの設問は、前回と区分の移動はない。

組み合わせによる評価(まとめ)

満足度・重要度順位の組み合わせによる評価で、前回との比較で区分の移動が無く、評価が現状維持となっていた設問数は、比較した45の設問の3分の2で30の設問となっている。

前回との比較で、満足度が上がったのは、

- (16) 大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること 【上 - 上】
- (23) リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること 【上 - 上】
- (6) 地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること 【上 - 中】
- (40) 地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること 【中 - 上】
- (36) 手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること 【中 - 下】

の5つの設問となっている。

前回との比較で、満足度が同じ区分で重要度のみ下がったのは、

- (1) 買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること 【上 - 下】
- (9) 近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと 【中 - 下】
- (3) 大学があり高度な教育が受けられること 【下 - 中】

の3つの設問となっている。

前回との比較で、満足度のみ下がっていたのは、

(27) 小学校・中学校において充実した教育が受けられること 【中 - 上】

(38) 病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること 【中 - 上】

(33) 安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること 【下 - 中】

の3つの設問となっている。

前回との比較で、重要度のみ上がっていたのは、

(39) 雨水が適切に排水処理されていること 【上 - 上】

(30) 図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること 【下 - 中】

(44) 中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること 【下 - 中】

の3つの設問となっている。

このうち(39)雨排水の満足度は高いことから、残り2つの対策が重要との評価となっている。

前回との比較で、満足度・重要度とも移動していたのは、満足度・重要度ともに下がっていた、

(42) 身近なところの道路が整備されていること 【中 - 中】

のみとなっている。

全体として、次のとおりの評価となっている。

「公園」、「環境」の満足度・重要度は高くなっている。

「国際交流」、「新技術・研究所」の満足度・重要度は低く前回評価と変わっていない。

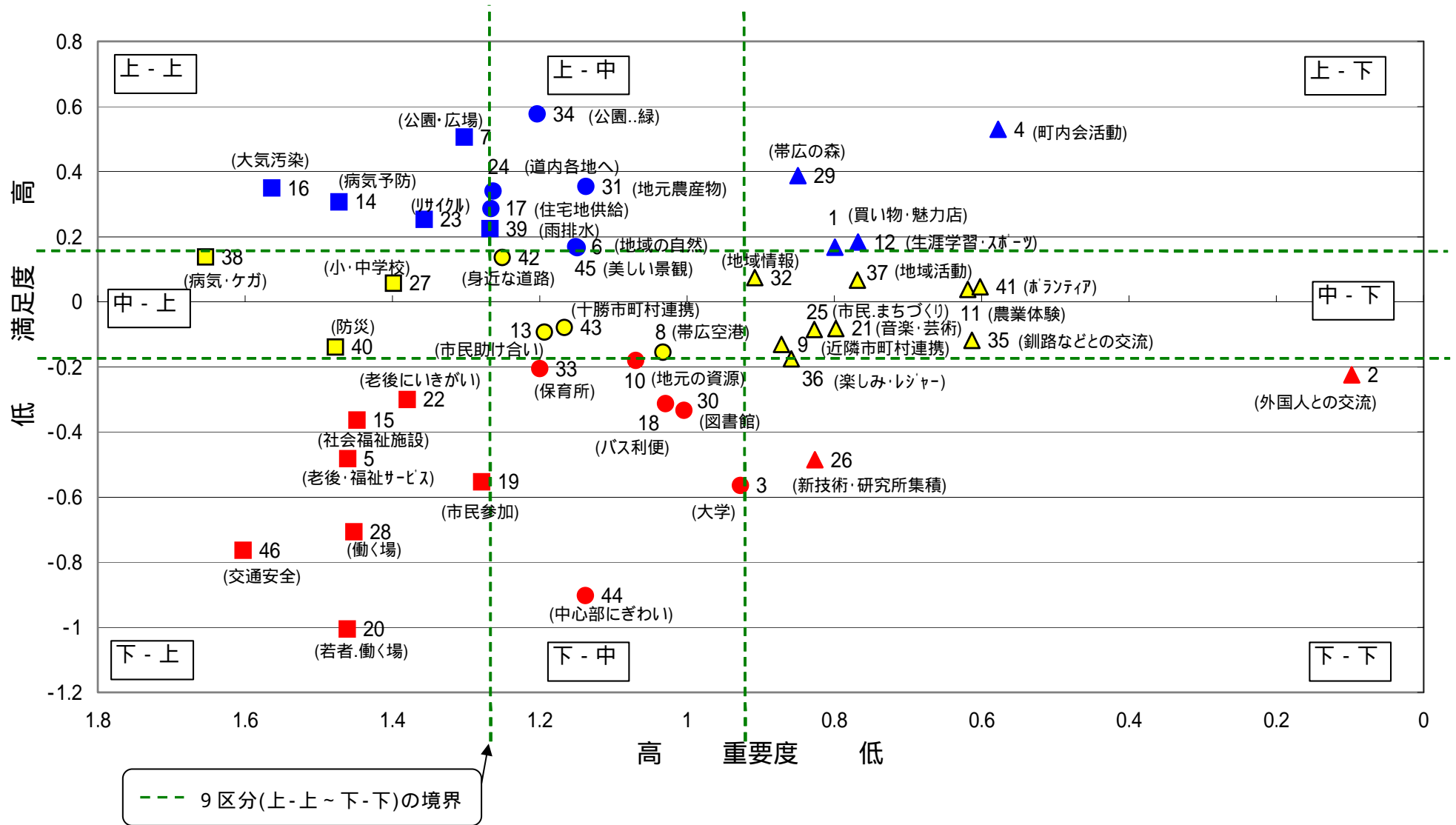
「近隣市町村連携」、「大学」の重要度は下がっている。

「防災」の満足度は、上がっている。

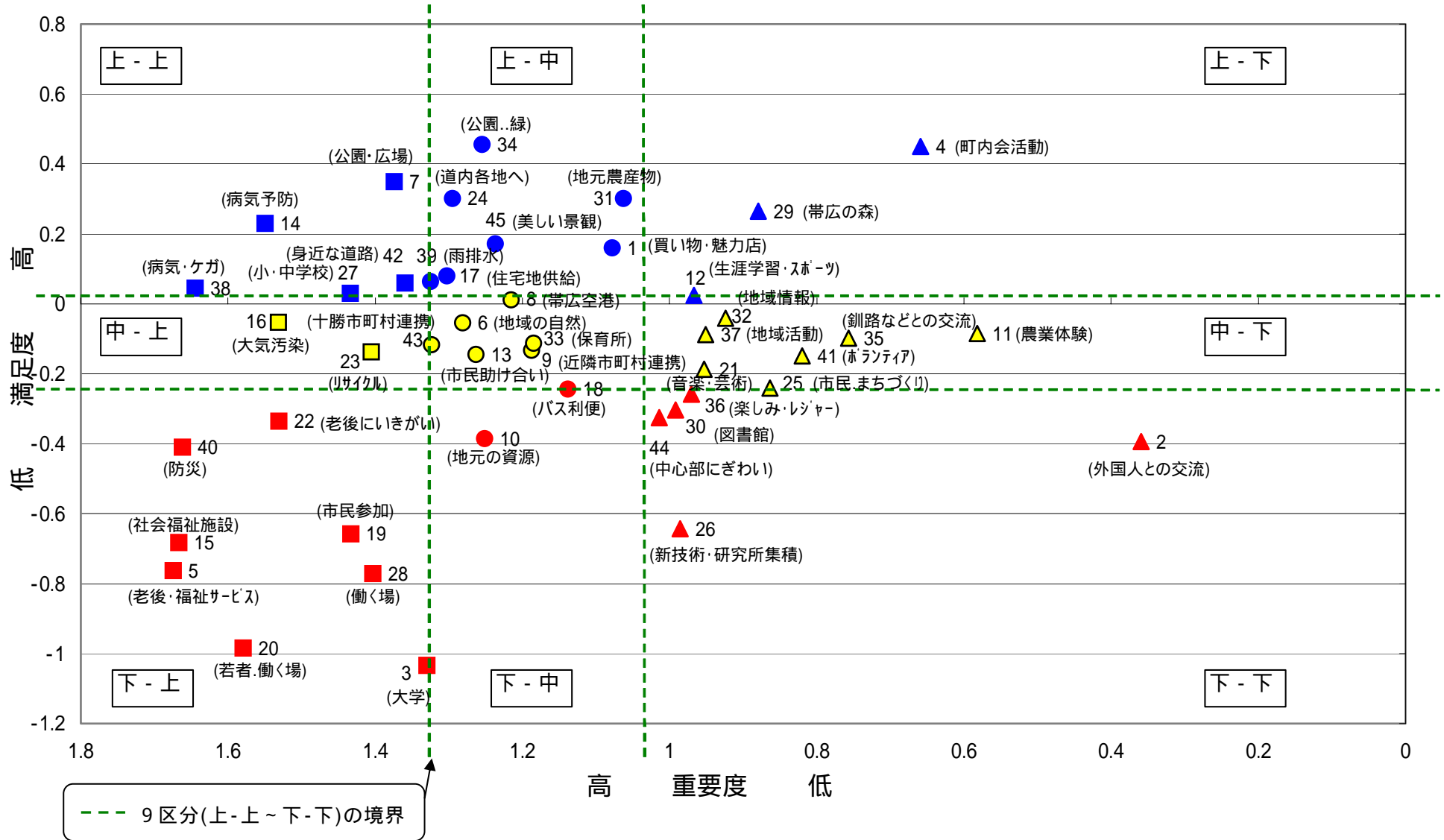
「保育所」の満足度は、下がっている。

「図書館」、「中心部ににぎわい」の重要度は、上がっている。

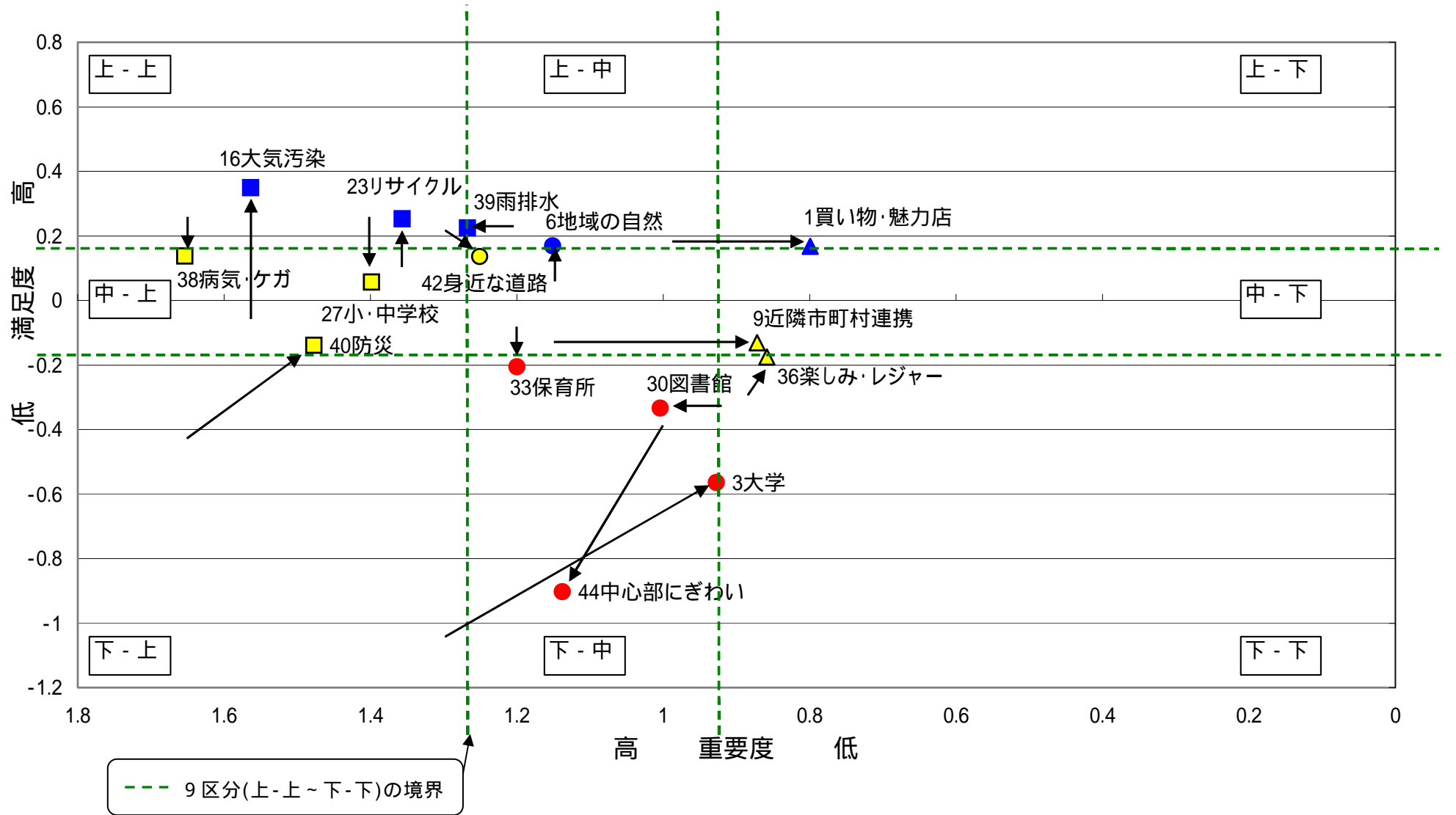
問10 満足度vs重要度(散布図)



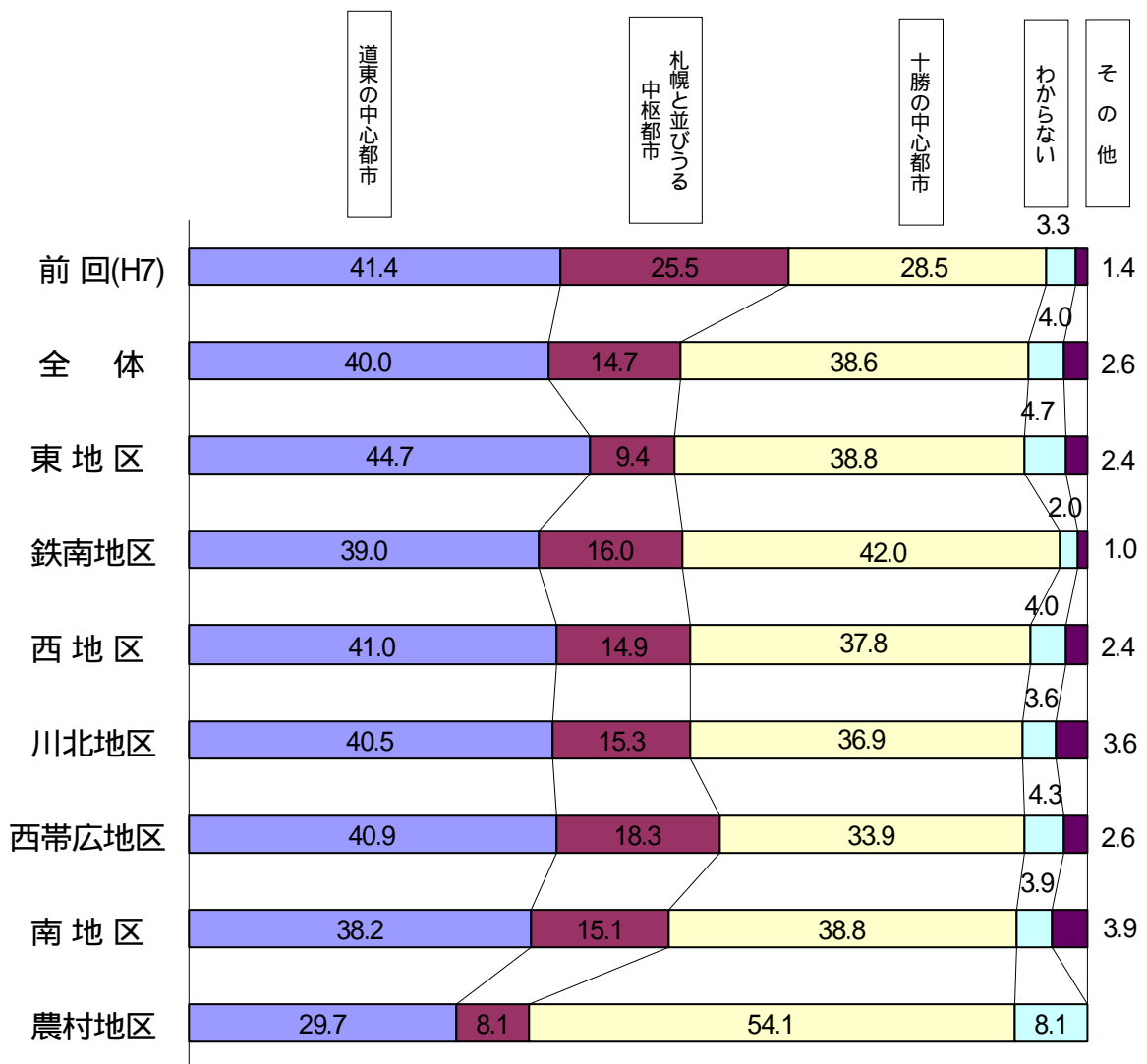
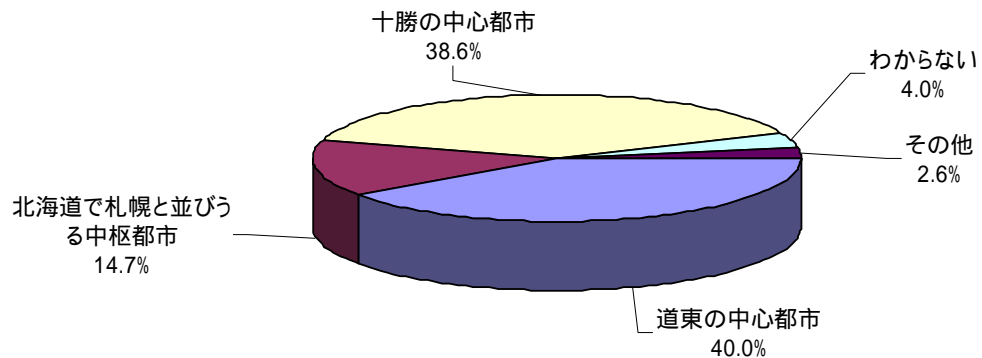
問10 満足度vs重要度(H7散布図)



問10 満足度vs重要度区分の移動した15項目(散布図)



問11 帯広市の果たすべき役割



回答者数は849人で、「道東の中心都市」340人(40.0%)、「十勝の中心都市」328人(38.6%)、「札幌と並ぶる中枢都市」125人(14.7%)となっている。
 地区別においては、農村地区で「十勝の中心都市」が54.1%と高くなっている。
 「札幌と並ぶる中枢都市」は、前回(H7)25.5%より10.8ポイント少なくなっている。
 「十勝の中心都市」は、前回(H7)28.5%より10.1ポイント多くなっている。

問 1 1 帯広市の果たすべき役割

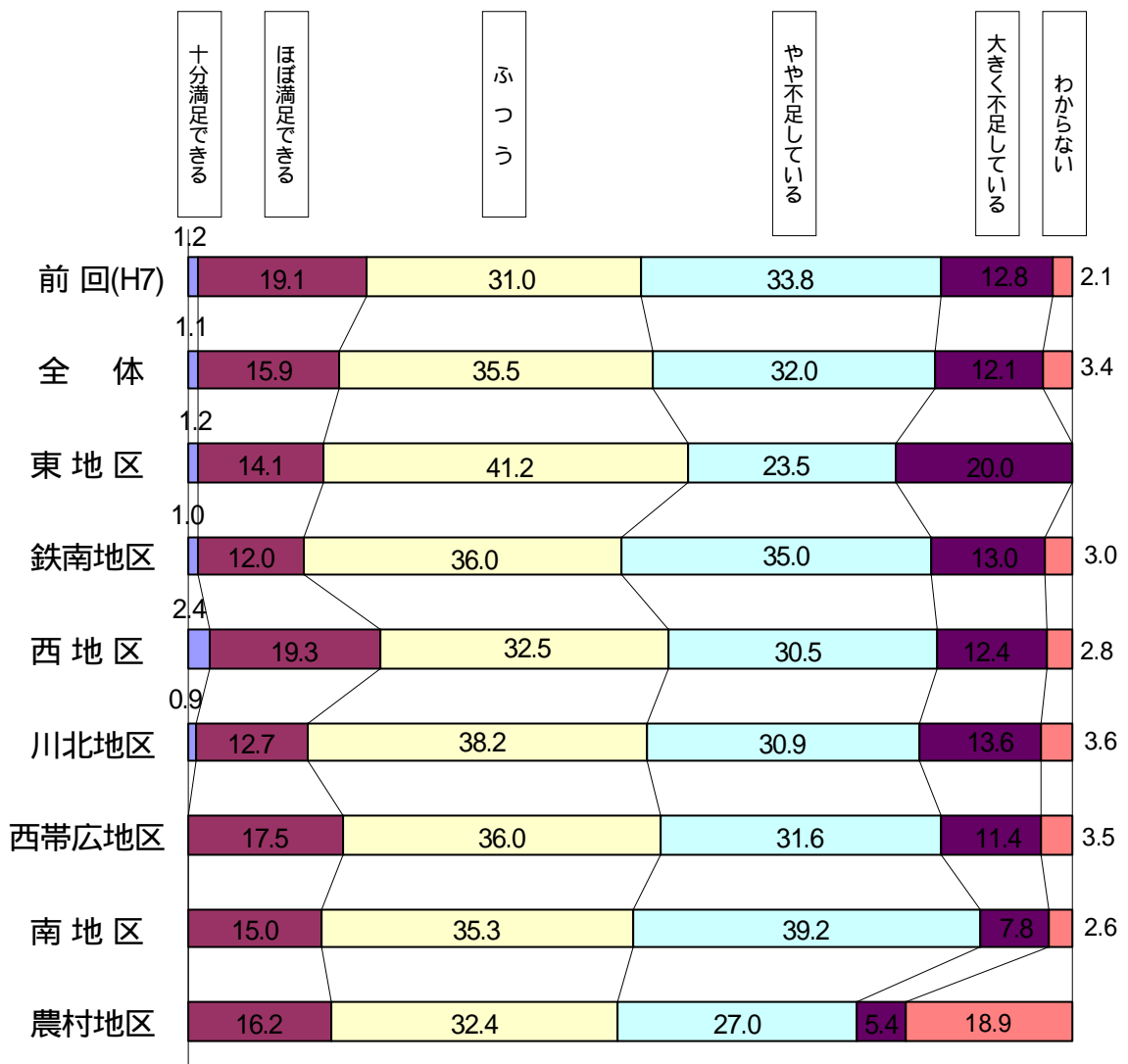
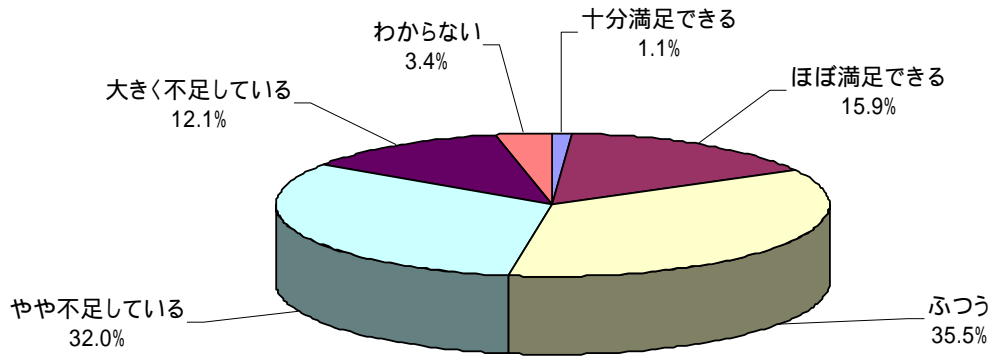
回答者数 = 849人

順位	項 目	回答数	比率%	前回 (H7)
1	道東の中心都市	340	40.0	41.4%
2	十勝の中心都市	328	38.6	28.5%
3	北海道で札幌と並びうる中枢都市	125	14.7	25.5%
4	わからない	34	4.0	3.3%
5	その他	22	2.6	1.4%

前回回答と今回の地区別回答内訳

区 分	回答者 (人)					
	道東の中心都市	十勝の中心都市	札幌と並びうる中枢都市	わからない	その他	計
前回(H7)	533	328	367	42	18	1,288
全 体	340	125	328	34	22	849
東	38	8	33	4	2	85
鉄 南	39	16	42	2	1	100
西	102	37	94	10	6	249
川 北	45	17	41	4	4	111
西帯広	47	21	39	5	3	115
南	58	23	59	6	6	152
農 村	11	3	20	3		37

問12 都市機能の整備・集積状況



回答者数は848人で、「ふつう」301人(35.5%)、「やや不足している」271人(32.0%)、「ほぼ満足できる」135人(15.9%)となっている。
 地区別においては、農村地区で「わからない」が18.9%と高くなっている。
 「ふつう」は、前回(H7)31.0%より4.5ポイント多くなっている。
 「ほぼ満足できる」は、前回(H7)19.1%より3.2ポイント少なくなっている。

問 1 2 現在の都市機能の整備・集積状況について 回答者数 = 8 4 8 人

順位	項 目	回答数	比率%
1	ふつう	3 0 1	3 5 . 5
2	やや不足している	2 7 1	3 2 . 0
3	ほぼ満足している	1 3 5	1 5 . 9
4	大きく不足している	1 0 3	1 2 . 1
5	わからない	2 9	3 . 4
6	十分満足できる	9	1 . 1

前回 (H7)
31.0%
33.8%
19.1%
12.8%
2.1%
1.2%

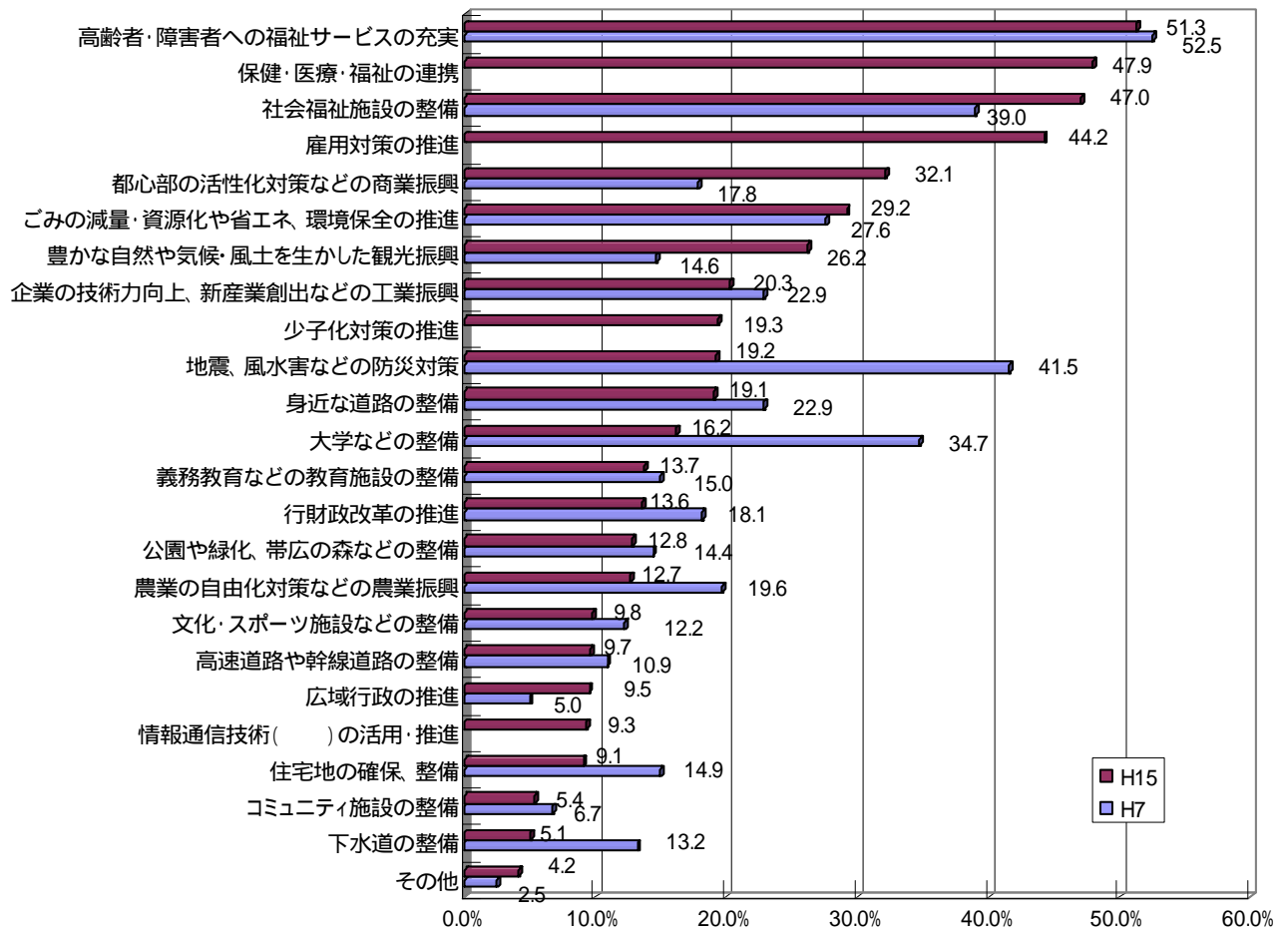
前回回答と今回の地区別回答内訳

区 分	回答者 (人)						
	十分満足で きる	ほぼ満足で きる	ふつう	やや不足し ている	その他	わからない	計
前回(H7)	16	262	426	465	176	29	1,374
全 体	9	135	301	271	103	29	848
東	1	12	35	20	17		85
鉄 南	1	12	36	35	13	3	100
西	6	48	81	76	31	7	249
川 北	1	14	42	34	15	4	110
西帯広		20	41	36	13	4	114
南		23	54	60	12	4	153
農 村		6	12	10	2	7	37

問13 今後、取り組むべき重要項目

今後、取り組むべき重要項目について、24の選択肢から重要と考えるものを5つまで選択して回答。

取り組むべきとの回答が多い順、前回（H7）との比較は次のとおりである。



回答者数は891人で、「高齢者・障害者への福祉サービスの充実」は(51.3%)を占め、前回(H7)52.5%より1.2ポイント少ないが高い比率を占めている。

「都心部の活性化対策などの商業振興」は14.3ポイント、「豊かな自然や気候・風土を生かした観光振興」は11.6ポイント、「社会福祉施設の整備」は8.0ポイント多くなっている。

「地震、風水害などの防災対策」は22.3ポイント、「大学などの整備」は18.5ポイント、「下水道の整備」は8.1ポイント少なくなっている。

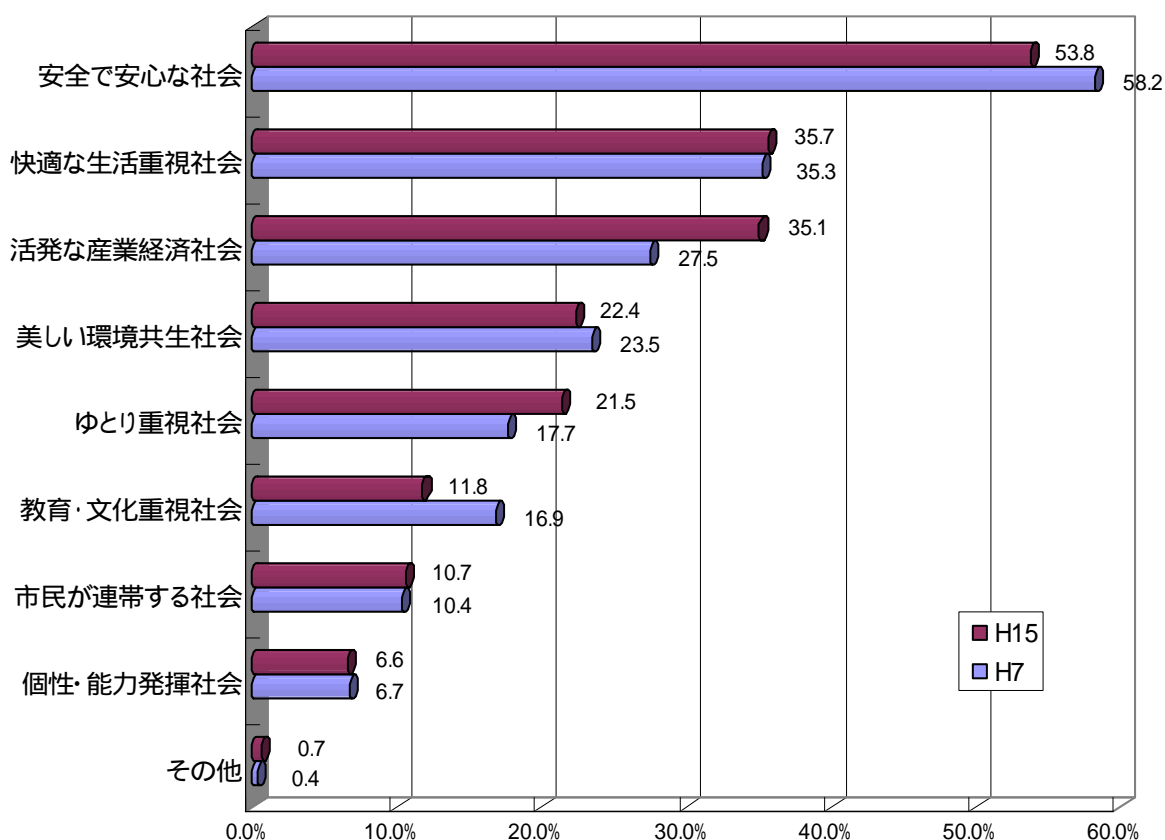
問13 今後、取り組むべきと考える項目（5つまでの複数回答） 回答者数 = 891人

順位	項目	回答数	比率	前回（H7）
1	高齢者・障害者への福祉サービスの充実	457	51.3%	52.5%
2	保健・医療・福祉の連携	427	47.9%	-
3	社会福祉施設の整備	419	47.0%	39.0%
4	雇用対策の推進	394	44.2%	-
5	都心部の活性化対策などの商業振興	286	32.1%	17.8%
6	ごみの減量・資源化や省エネ、環境保全の推進	260	29.2%	27.6%
7	豊かな自然や気候・風土を生かした観光振興	233	26.2%	14.6%
8	企業の技術力向上、新産業創出などの工業振興	181	20.3%	22.9%
9	少子化対策の推進	172	19.3%	-
10	地震、風水害などの防災対策	171	19.2%	41.5%
11	身近な道路の整備	170	19.1%	22.9%
12	大学などの整備	144	16.2%	34.7%
13	義務教育などの教育施設の整備	122	13.7%	15.0%
14	行財政改革の推進	121	13.6%	18.1%
15	公園や緑化、帯広の森などの整備	114	12.8%	14.4%
16	農業の自由化対策などの農業振興	113	12.7%	19.6%
17	文化・スポーツ施設などの整備	87	9.8%	12.2%
18	高速道路や幹線道路の整備	86	9.7%	10.9%
19	広域行政の推進	85	9.5%	5.0%
20	情報通信技術（ ）の活用・推進	83	9.3%	-
21	住宅地の確保、整備	81	9.1%	14.9%
22	コミュニティ施設の整備	48	5.4%	6.7%
23	下水道の整備	45	5.1%	13.2%
24	その他	37	4.2%	2.5%

「高齢者・障害者への福祉サービスの充実」は51.3%を占めている。前回（H7）52.5%より1.2ポイント少ないが高い比率を占めている。「地震、風水害などの防災対策」は前回(H7)41.5%を占めていたが、今回19.2%となり22.3ポイント少なくなっている。

問14 今後、どのような地域や社会に

今後、どのような地域や社会であってほしいかについて、9の選択肢から最も近いと考えるものを2つまで選択して回答。
回答が多い順、前回（H7）との比較は次のとおりである。



回答者数は890人で、今後あってほしい地域や社会の順は、前回（H7）と全く同じとなっている。

「安全で安心な社会」は（53.8%）を占め、前回（H7）58.2%より4.4ポイント少ないが高い比率を占めている。

「活発な産業経済社会」は7.6ポイント、「ゆとり重視社会」は3.8ポイント多くなっている。

「教育・文化重視社会」は5.1ポイント少なくなっている。

問 1 4 今後、帯広市がどのような地域や社会であることを望むか。 (2 つまでの複数回答)

回答者数 = 8 9 0 人

順位	項 目	回答数	比率	前回 (H7)
1	災害に強く、医療・福祉が充実した安全で安心して生活できる社会 [安全で安心な社会]	479	53.8%	58.2%
2	利便性が高く、快適な日常生活が出来る生活環境の整備された社会 [快適な生活重視社会]	318	35.7%	35.3%
3	産業活動が活発に展開され、地域経済に活力がみなぎっている社会 [活発な産業経済社会]	312	35.1%	27.5%
4	自然環境が保全され、身近な場所にも緑があふれるうらおいのある社会 [美しい環境共生社会]	199	22.4%	23.5%
5	気持ちのうえでも時間的にもゆとりのある生活をおくれる社会 [ゆとり重視社会]	191	21.5%	17.7%
6	大学や文化施設などが充実し、水準の高い教育・文化活動が行われる社会 [教育・文化重視社会]	105	11.8%	16.9%
7	市民の連帯感が高く、助け合い、コミュニケーションがはかられている社会 [市民が連帯する社会]	95	10.7%	10.4%
8	市民一人ひとりの個性や能力が発揮でき、生かされる社会 [個性・能力発揮社会]	59	6.6%	6.7%
9	その他	6	0.7%	0.4%

- 自由意見・提言概要

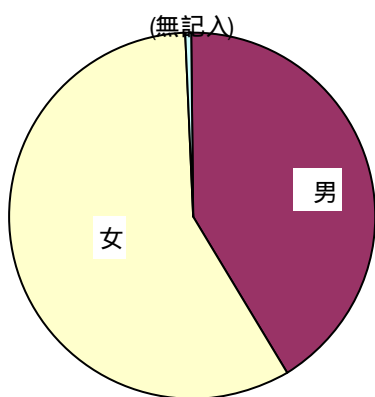
【自由意見・提言概要】

まちづくりへの自由なご意見・ご提言

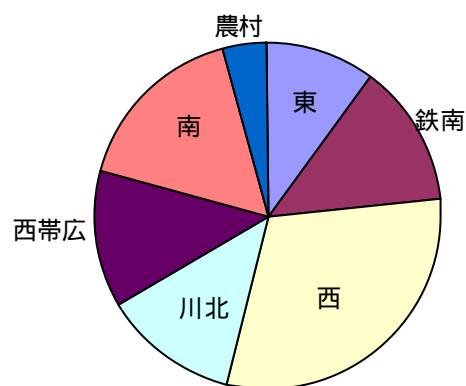
1 意見・提言の回答状況

市民意向調査回答総数	927 (人)	(男 396(人)、女 524(人)、無記入 7(人))
意見・提言数	453 (人)	(男 187(人)、女 264(人)、無記入 2(人))
意見・提言数 / 総数(%)	48.9 (%)	(男 47.2(%))、女 50.4(%))、無記入 28.6(%))

意見・提言の男女別割合



意見・提言数(地区別)



	地 区							総 計
	東	鉄南	西	川北	西帯広	南	農村	
市民意向調査回答総数	92	111	272	126	120	162	44	927
意見・提言数	47	60	136	58	57	76	19	453
意見・提言 / 総数 (%)	51.1%	54.1%	50.0%	46.0%	47.5%	46.9%	43.2%	48.9%

2 意見・提言の区分と評価

回答をいただいた「ご意見・ご提言」は、その内容から(a 市街中心部活性化)～(z その他)まで24の区分に分類し、意見・提言の内容ごとに整理しました。

整理後の意見・提言の総数は、1,020件となっています。緑化環境、保健・医療・福祉、市街中心部活性化などについての意見・提言が多くなっていました。

また、緑や自然が豊かであることなどのほか、この市民意向調査を良いことと評価する意見・提言がありました。

意見・提言の内容(地区別)集計表

意見・提言内容	地 区							総 計
	東	鉄南	西	川北	西帯広	南	農村	
a 市街中心部活性化	9	10	26	10	11	10		76
b 生涯学習	5	7	13	4	8	7	3	47
c 市民協働・地域活動	2	8	10	1	4	2	1	28
d 市長の姿勢	3	3	2	4		3	1	16
e 行政職員の姿勢	5	6	9	10		8	1	39
f 緑化環境	11	13	29	10	24	16	5	108
g 除雪対策	6	6	18	7	4	7	2	50
h 道路整備	1	9	20	9	6	9	3	57
i 施設整備	4	9	10	6	5	6	3	43
j 人口・住宅	5	2	7	1	2	5		22
k 保健・医療・福祉	6	15	26	13	11	17	8	96
l 農業振興		1	2	1	3	3	1	11
m 観光振興・レジャー施設	6	6	6	3	5	2	2	30
n 交通問題・交通網・機関	5	6	19	5	7	13	1	56
o 大学高等教育		3	7	2		3		15
p 商業振興・産業振興	5	5	18	8	6	5	1	48
q 行財政政策・税・料金	3	10	12	6	5	11	1	48
r 教育問題	1	3	10	5	4	5	1	29
s 安全・安心・防犯・防災	5	3	11	3	6	8	1	37
t 雇用対策・賃金	4	1	16	4	3	3	1	32
u 市議会	2	1	3	2		3		11
v 十勝市町村連携・合併	2	1	4	2	2	1	2	14
w IT情報整備・情報公開			3		1	3	1	8
x 音楽芸術・映画	1	2	1		1	3		8
y 市民意向調査	4	2	5	2	2	4	1	20
z その他	8	12	19	9	10	9	4	71
計	103	144	306	127	130	166	44	1,020

a 市街中心部活性化について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

イトーヨーカドー跡地利用に関すること、
デパートが少ないこと、
人が集まる複合施設が必要なこと、
ホテル・駐車場が多いこと、
ローン会社・パチンコ店が目立つこと、
駅前が暗いこと
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

(性別、年代)

- ・街の中心部が空き、ドーナツ現象が起きているが、行政の働きかけもして、賑わいのある、人の集まる、街づくりをして欲しい。旧ヨーカドーの建物を早く、何かの型で、穴埋めをして、街の中心部に人が集まるようにして欲しい。道内で只一つ残された（札幌以外）藤丸デパートが消えてなくならないよう市民で利用していこう。
(男、60代)
- ・一番大切な駅前中心街が空洞化してしまい中心街に魅力を感じなくなっています。若い人が楽しめる所があるかもしれませんが、30代～でも楽しめる場所がもっと増えると嬉しいです。
(女、30代)
- ・まちの中心部に市民の魅力の集合体を造ることが大事だと思います。帯広市の顔を造ることです。(ショッピング、食べもの、催し物、見るもの、休む場所)複合施設を考えるべきです。
(男、60代)
- ・中心街には駐車料金かけていく魅力がない。
(女、30代)
- ・駅前が本当に寂しすぎる。夜は暗すぎる、もっと明るい街作り、楽しい街作り、考えて欲しい。ホテルが多い。
(女、40代)
- ・市の中心部活性化のため、ヨーカドー跡を早急に決めてほしい。
(男、50代)
- ・西2条通りに藤丸一つしかなく、ヨーカドーなくなってから、本当にさみしい帯広になってしまいました。
(女、70以上)
- ・帯広駅前通り（西二条）を駅から歩くと、右手に貸金融業者の看板ばかりが目について、都市景観上からもみたくない。あんな看板を出させない方がよい。せっかくの街並みが汚い。
(男、50代)
- ・駅の南口北口が暗すぎます。ろうそく型のデザインも陰気です。対向者の顔もよく見えません。あちこちで、ずいぶん不評を聞きます。
(女、60代)
- ・駅前周辺を以前のようにもっと活気の溢れる魅力ある通りにして欲しい。
(男、20代)
- ・昔の街は印象的でした！駅は立派になったが街の空洞化、人はさっぱり集まらない、寂しい街並み！建物は立派だが中身の問題です。
(男、60代)
- ・街の中心に人を住まわせ、歩いて楽しめる活気のある都市を形成すべきで、それが弱者に対しても最大の恩恵となる。土地があるからといって宅地を郊外へ広げ続けるべきではない、もっと都心を開発しコンパクトで利便性の高い都市をつくるべきだ。
(男、40代)

b 生涯学習について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

図書館の整備に関すること、
帯広の森の施設の位置・使用料など、
児童会館や児童のための施設に関すること、
動物園の整備に関すること、
市民講座・エンジョイスクール、講演や学習会、
プロ野球、Jリーグの開催、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- ・無料の市民講座類を増やしてほしい。 (性別、年代)
(女、30代)
- ・若者たちのアイデアを生かして、帯広から有名になれるアーティスト達を発掘
するような、企画をしてほしい。 (女、20代)
- ・市のエンジョイスクールにしても、若年向けだと感じます。受講料も高額に思
えます。 (女、60代)
- ・障害をもっている子供を持つ親のための、講演や学習会を多くしてほしい。 (女、30代)
- ・施設(プールや体育館など)の使用料が安くないだろうか? (男、20代)
- ・子供が幼稚園の時、図書館へよく行きました。狭くて、暗くて、本も少なく、
早く新しい図書館を希望します。 (女、40代)
- ・学校が週5日制になり、私達親は、土日も仕事をしているので、困っています。
子供が土日も安心して遊べる児童館などが近所があれば良いと思います。 (女、30代)
- ・児童会館のもっくん広場など充実して楽しませてもらっていますが、食堂・建
物が老朽化して、暗い印象があります。 (女、30代)
- ・ウィンタースポーツだけではなく、帯広の森には、野球場・サッカー場などが
あるので、もっとプロ野球やJリーグなど、年間に何試合か開催できるように、
もっと誘致してほしい。 (男、30代)
- ・気軽にスポーツを楽しめる施設を増やしてほしい。家から遠すぎて、行けない。 (男、30代)
- ・旧ヨーカドーのところに大きい図書館を作ってほしい。本屋さんに人がいない
というのを私は見たことがありません。中には本以外にカルチャースクール、
フィットネスクラブなどあればいいと思う。(土日もやる)バスの便でもあの場所
は最高で、会社帰りのOLやお年寄りでも大丈夫だと思います。 (女、40代)
- ・スポーツ施設が帯広の森に偏り利便性も悪く利用しづらい。旧イトーヨーカ堂
の建物を健康づくりの施設にして、だれもが手軽に利用できるようにしたら、
中心街の活性化にもなると思います。 (男、70以上)
- ・文化施設が帯広駅南に集まっているのは良いと思いますが、広さが足りない。
文化ホールなどの前があまりにも狭い!!
帯広の森の運動施設には、とても満足しています。しかし、その場所に行く
までが大変すぎます。バスとか、その他、安い値段で行けるようになればよい
と思います。 (女、30代)
- ・動物園があまりにもひどい。 (男、40代)

c 市民協働・地域活動について

今後の展開としていただいた行政への具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

町内会活動に関すること、行政への市民参加、市民参加意識の低下対策、
などが主な意見・提言となっている。

また、市民・自らへ向けての意見・提言としては、

地域へ参加しよう、市民一人ひとりが気をつける、思いやりの心、マナーを大切に、
市民の自覚、自治意識、市民のコミュニケーション、パートナーシップ
などが主な意見・提言となっている。

【行政への主な意見提言の抜粋】

(性別、年代)

- ・町内会、子供会や老人会等を生かしお互いに連絡を取り合い助け合える型つくりをしてはどうでしょう。そして学校やコミュニティセンターを利用して気軽に話し合える様に市も協力してはどうですか？ (女、60代)
- ・一般市民参加の上、帯広市の改革に進んでほしい。 (男、40代)
- ・若い妻帯者ほど、町内自治意識、参加意識がだんだん低下している。行政としてその対策は、……。 (男、60代)
- ・市内、地域、町内会などで各人のボランティア活動の協力者、地域の良いところを発見・発掘する人たちに対する評価制度を設定してできるだけ有名なボランティア活動者たちを拾い上げて、評価をする社会が必要と思われる。市が先駆けて進めることだ。 (男、60代)
- ・いろいろな規制が多すぎる。市民・市民組織、市ができることは、国や道はまかせること。そのための努力をしてもらいたい。 (女、50代)

【市民・自らへ向けての主な意見提言の抜粋】

(性別、年代)

- ・私は、帯広が大好きなので、このまま一生を帯広で送ります。そのため、少しでも帯広に住み良い、安定した都市であってほしいものです。
私も自分のことから地域へと参加しようと考えてます。 (女、60代)
- ・住民の助け合い協力が早くできるように考えて行けたらと思う。 (女、50代)
- ・まちづくりってなんだろうと思います。もしかしたら、思いやりの心こそが、その根底にあつてうごめくもの、言い換えれば、わだかまりではなく、そうだねって言って、解り合つてゆく”やさしさ”が、まちづくりには必要なのではなかるうか？！ (男、70以上)
- ・市民の皆さんは、もっと誇りを持って、マナーを大切に暮らすとともつと住みやすくなるでしょう。 (女、70以上)
- ・町内会の運営に、近所づきあいがきちんとできること。住みよい帯広になるよう市民全員が自覚を持って生活すること。 (男、40代)
- ・地域住民が主体となった、街づくり団体が中心となり、行政を動かすような動きが活発になればと思います。特に若い世代(10代)や小・中学生の参加によるパートナーシップが必要ではないでしょうか？ (男、20代)
- ・市民一人一人が住みよい街となるように、協力できたらよいと思います。 (女、30代)

d 市長の姿勢について

市長の姿勢についての具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

リーダーシップの発揮、
顔がもっと身近に、
足で歩いて現状を見て廻ること、
一部の政党に支配されてはいけない、
市民のために取り組むこと、
問題先送り、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- ・帯広の将来あるべき展望、リーダーシップの発揮、・・・・・・・・
少なくともこれらについての市長のハッキリした姿勢が市民に伝わってきていない。見えないように思う。
帯広のまちづくり推進に当たって、先ず市長自らの認識をしっかりと持ってほしい。
(性別、年代)
(男、70 以上)
- ・市長さんの盆踊りも知り合いには、笑っていますが、恥ずかしがらずに、もっと元気に踊って、みんなを巻き込む様にしていきたい。
(女、60 代)
- ・市長、市議の顔がもっと身近に、市民の方を向いていたら良いと思います。
(女、50 代)
- ・市長をはじめ関係の方々が、足で歩いて現状を見て廻ることも大事かと思いません。
(男、60 代)
- ・帯広市長へ一言、二期目の活動が見受けられません！公約実行をお願いいたします。
(女、60 代)
- ・少しでも帯広の景気がよくなるように市長にもっと頑張ってもらいたい。
(女、30 代)
- ・市長さんは、言ったことは実行してないので、実行するようにお願いします。
(女、50 代)
- ・市長さんは一部の政党に支配されてはいけない。市長さんのお人柄頭脳明晰は信頼に値します。
(女、70 以上)
- ・公選制の首長さんは交代があるが、重要な事業の案件が継承性がなくなことは問題でなかろうか。現在も、帯広市立病院が不安定な状況にあるのは、(是非問題は別として)選挙制(一政党政治)はいかがなものか？
帯広の歴史のなかで、義務教育の学校給食無料化を選挙公約に掲げ、僅少差で当選後、公約を反故にした首長さんが、子供たちからも語り草とされた方もいた。法規違反ではなくとも、地方行政では、その倫理性が問われることを忘れず、帯広市民のために取り組まれることを願っています。
(男、60 代)
- ・市長をはじめとして問題先送りをしており、積極的に課題を解決しようと努力している姿を見られない。
(男、60 代)

e 行政職員の姿勢について

行政職員の姿勢についての具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

市民の声を反映させて、
若い人の意見も聞いてほしい、
官僚的な人がいる、
不親切な方が多い、
接客態度を改善、
一人一人の意見を聞く機会を、
身近なところから見つめ直してほしい、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|---|---------|
| | (性別、年代) |
| ・若い人の意見も、もっとたくさん聞いて欲しいです。 | (女、20代) |
| ・市役所の場合によってとても言い方が良い人と悪い人がいる。市役所の中自体、教育して行かないで、街を良くしようとするのは変。 | (女、20代) |
| ・市役所の職員も、不親切な方が多いし、話し方もぶっきらぼう。まずは、そういった面から改善するべきではないでしょうか？ | (女、20代) |
| ・世の中を知らなすぎる職員が年齢が高いほど多いと思います。
市役所も一つのサービス業と認識してほしい。
市役所の職員は常に仕事が遅い。
正職員よりパートの方が仕事をまじめにやっている気がする。 | (男、20代) |
| ・まずは、人に対する対応を習った方が良いと思う。市民がいるから役所が成り立っているのではないのでしょうか。 | (女、30代) |
| ・場当たりのカッコだけの行政は、市民から見放されると思う。子供達のための行政を・・・ | (男、40代) |
| ・まず、市役所に職員がぐちゃぐちゃ多すぎる。お客様（来庁者）より多い。多すぎるのに夜遅く迄電気をつけ残業するほど仕事はあるのですか？ | (女、40代) |
| ・市役所や警察などの対応がとても悪い。電話での対応も悪く粗雑さが感じられる。もっと市民に身近で熱心さが伝わってきてもいいんじゃないだろうか！本当に困っての相談なのに、何のためのものなのか！市役所の対応は本当に目にあまる。差別すら感じる。もっと、どうにかありませんか！市民の味方であってほしいと思います。 | (女、30代) |
| ・市職員の方々にまだ官僚的な人がいます。若い方ほどいいです。年配者頑張ってください！ | (男、60代) |
| ・札幌を意識する都市をイメージするならば、もっと都市計画を担当する人が勉強することが必要だ。 | (男、40代) |
| ・市役所職員の接客態度を改善してほしい。 | (女、20代) |
| ・市民一人一人の意見をもっと聞く機会を持ってほしい。上の人たちの声だけで、又、デスクの上だけで計画を実行してほしくない。 | (女、40代) |
| ・身近なところから見つめ直してほしいと思います。 | (女、50代) |

f 緑化環境について

緑化環境についての意見・提言は、「緑化、ごみ、環境」に再分類する。

(1) 緑化

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

緑の美しい街に、
公園施設の整備・管理について、
街路樹の整備・樹種について、
公園整備に市民の声を、
帯広の森について、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- ・机上プランではなく、帯広が豊かな緑のある街にしたい。
心穏やかな人生を緑の美しい街である帯広で過ごしたい。 (性別、年代)
(女、70 以上)
- ・道路の街路樹があって緑豊かなのは良いが、標識・信号等が見えないのは危険である。背の低い木・花などに替えるのがよいのではと思っています。 (女、50 代)
- ・帯広の森をあそこまで広げる必要性はあるのでしょうか？たとえ、植樹をしたとして、その時にしか足が向かないというのも変だと思うのですが、もっと身近に感じ普段から足が向くものをと考えてほしい (男、60 代)
- ・公園の汚いトイレ。小さい子が危なくないような遊具。 (女、30 代)
- ・公園をつくるにあたっては、町内会などに声をかけ、どこらへんにあったら利用しやすいかななどを聞いてから作ってほしい。 (女、40 代)
- ・帯広の森あたり、松、白樺ばかりでなく、少し桜の木を植えたらどうですか。 (女、70 以上)
- ・近くの公園には”日陰”になるものがない。夏の暑い日は”木”とか屋根が欲しい。 (女、30 代)
- ・まち中心街の活気作りと札幌の大通公園のような市民がゆっくりと憩える公園を帯広の街の中にあれば楽しいと思います。 (男、40 代)
- ・子供がサッカー少年団で練習場所としてグリーンパークを使用させてほしいです。 (女、30 代)
- ・管理が大変かと思いますが、街路樹よりもチューリップなどの背丈の低い花の方がきれいだし、安全だと思います。 (男、20 代)
- ・公園など沢山いらず、一つ充実しているものが欲しいです。 (女、30 代)

- ・住みやすい面は、緑多く自然が豊かなこと、好きな街のひとつです。 (女、70 以上)
- ・本州よりこちらに住みつき、はや三年がたちます。緑のあふれた公共施設と都市の調和ができている帯広に、今も感激しております。 (男、20 代)
- ・世界を廻ってみても、帯広の街は負けません。日高山脈に抱かれた、自然の恵みがたっぷり、本当に素晴らしい街と思います。 (女、70 以上)

(2) ごみ

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

ごみ分別の徹底を、
ごみの減量を、
ごみステーションの設置を、
資源の日を2日に、
ごみの有料化を、
月曜日（祭日）の収集を、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|--|----------|
| | (性別、年代) |
| ・ごみ収集にかかわり、仕分けの徹底、各家庭への浸透 | (女、50代) |
| ・ゴミの分別がとてもキタナイ……。カラスがふえてる気がします……。 | (女、20代) |
| ・ゴミ箱の設置（収集日に関係なく出して、カラス等が散らかして、非常に迷惑している。） | (女、50代) |
| ・くりりんセンターは、日曜日でも午前中でも仕事してください。 | (女、60代) |
| ・産廃処理施設などは行政・自治体の連携と厳しい管理規制の下に行うなど、行政しかなしえない役割を積極的に考え、イニシアチブをとる必要が地方経済にとってもっとも重要と考える。 | (男、40代) |
| ・資源の日、週一回を週2など増やして欲しい。祝日などに当たるとすごい量になり置くところがない。 | (女、20代) |
| ・ごみを有料化させた方がいい。しかし、ごみ袋を購入するのではなく、今ある買い物袋、透明袋を利用し、それに分別を印刷されたシールを張るようにする。 | (女、40代) |
| ・月曜日に祭日が多いため、燃やさないゴミが山積みになっている光景が気になります。祭日の日にも交代で考えてほしいと思います。 | (女、50代) |
| ・ごみの有料化と買い物袋の廃止、過剰包装の排除（業者に申し入れ） | (男、60代) |
| ・ごみの分別は徹底されているのだろうか。収集法を変えても市民に普及しなければ意味ないかと。調査・報告・市民への呼び掛けが必要なのでは。 | (男、20代) |
| ・ゴミステーションを設置してほしい。 | (女、30代) |
| ・ごみの分別が始まり集積場所にはスーパーの袋に入れられて雑然と積まれています。私も利用しています。きっと集めに来る方は大変な作業と思います。それで、見やすいように資源のシールを張るのはどうでしょうか。 | (女、70以上) |
| ・ごみの区分が細か過ぎて、家じゅうごみ箱だらけで、もう少し大まかにしてほしい。 | (女、30代) |
| ・ごみ 可燃の日が2日ありますが、ごみの分別が細かくなって、週に1日ではたまりません。不燃の日が2日欲しいです。 | (女、40代) |
| ・資源ごみの分別をもっと細かくしてもよいと思う。資源以外の「燃やせないゴミ・燃やせるごみ」の袋は個人が意識してごみを減らすよう、有料化してもしょうがないと思う。 | (女、30代) |
| ・ごみ分別の意識がまだまだ低い様な気がします。 | (男、30代) |

(3) 環境

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

自然を大切に、自然環境を守って、
地球環境を考えて、
騒音・振動・悪臭で迷惑、
ダイオキシンなどが心配、
ごみのポイ捨て・マナーの悪さ、
犬の糞・放し飼い、
動物・ペットを大切に、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | (性別、年代) |
|--|----------|
| ・ゴミ(ポイ捨て)や、犬のフンが最近とても目立ちますので、毎月、清掃日があればと思います。私は近くは時々拾ってます。 | (女、50代) |
| ・自然を大切にした環境の中で、市民が健全な生活を営むことができる都市にしてほしいです。 | (女、40代) |
| ・これからの地球環境、帯広市の生活環境を考え、緑化運動を、小中学校で、各町内会の中で、推進して行くよう、年間計画の中で、充実していくよう希望いたします。 | (男、70以上) |
| ・たばこのポイ捨ては絶対にやめてほしいです。また路上駐車とジュースの投げ捨ては、やはり帯広市にとって街を汚す人間にはある程度罰金制度にして少し懲らしめてください。 | (女、50代) |
| ・ただ緑が多いからと言って環境が良いとは言えないと思います。例えば、ごみ処理場の側に牧場があり、その牛乳が私達の口に入る場合、ダイオキシンなどが心配です。 | (女、30代) |
| ・上下水道や、道路整備は、冬になる前に工事終了になるように、計画は早めにしてほしい。凍れた土は、音がうるさいし、振動が大きいから。 | (女、40代) |
| ・川などがコンクリートで固められて、自然の川が安全という言葉で消されています。実用的で心が感じられる自然はなくなり、木は切り倒され、宅地がアメーバのように広がっています。もう少し、計画的に、20年30年たっても、又、子供たちが戻ってこれるような街づくりを願います。 | (女、50代) |
| ・帯広市では、どこへ行ってペットを走らせて遊ばしいのでしょうか？ | (男、30代) |
| ・犬は、放し飼いにしないでほしい。安心して外を歩けない。 | (女、20代) |
| ・西帯広に住んでいますが、夏、豚臭くて、窓を開けられないので、何とかしてほしい。 | (女、50代) |
| ・自然を大切に、帯広らしい街づくりをしてほしい。 | (女、30代) |
| ・ペット飼育へのマナー、糞害などを記した印刷物を毎月町内会に廻してほしい。 | (女、50代) |
| ・帯広や十勝の自然環境をしっかりと守っていかなければいけないと思う。 | (女、40代) |

g 除雪対策

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

除雪を迅速に、
もう少し広めに、
優先順位の見直し、
業者にまかせきり、
歩道の除雪、
雪山を取り除くように、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

(性別、年代)

- ・市の除雪車は大雪になると一回だけ来てくれます。除雪車が残した残雪は家の前に大きな雪の山です。それを取り除くのに腰を曲げスコップを手にする老人達です。何のために毎年市税を払っているのかと腹が立ちます。病院通いをする老人達。もう少し除雪に対する考えを市の方で考えてください。(女、60代)
- ・冬に雪道、除雪を早くきれいに広くしてほしい。(女、40代)
- ・冬の除雪、もっと平等にしてほしいです。(男、50代)
- ・住宅地の道路は、排雪がないんだから、もうすこし広目にしたらいいと思う！降雪の後でも車がすれ違えるように！(女、40代)
- ・除雪作業が遅い。雑である。優先順位の見直しなど(男、20代)
- ・除雪についても近隣町村との差があまりにもありすぎる業者にまかせきりで、全然見に来ないしガードレール等壊してもいまだそのまま放置している。(女、70以上)
- ・道も雪に埋めると歩行者が車道を歩いて危険です。交差点も大変見通しが悪く、雪山を取り除くように、除雪をお願いします。すばやく、適切な除雪を実行してもらいたいです。(女、20代)
- ・帯広は雪はそんなに降らないけれども、年に4～5回は大雪が降るのだから幹線道路は明け方に1回除雪するなどして、通勤通学に支障をきたさないようにしてほしい。(女、20代)
- ・普段は国・市道の車道において最初に早く開けますが、高齢者、子供(弱者)が通る歩道は遅く、ときには、何日も開かない場所も少なくはないようです。(実態) 交差点の横断付近、入口出口の除雪の徹底をお願いいたします。(男、60代)
- ・雪を捨てられる下水道があればと思ったりします。(女、70以上)
- ・帯広は他の都市に比べ除雪体制は、まあまあだと思います。(女、40代)
- ・帯広に住んで一番つらいことは冬道でした。平成14年頃から大変よく除雪していただき助かっています。車に乗るものとしてうれしく思っています。除雪には費用もかかるでしょうがよろしくお願いします。(女、70以上)

h 道路整備について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

通学路に歩道を、
何を基準に工事が行なわれるのか、
高速道路の整備を、高速道路・高規格道路の整備は必要ない、
身近な道路の整備を、仲通り整備を、
自転車で移動できる道路整備を、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|--|----------|
| | (性別、年代) |
| ・子供たちが安心して通学出来るように、特に通学路の歩道をつくってほしい。 | (男、30代) |
| ・無駄な道路整備はいらなと思う。 | (女、50代) |
| ・道路工事も毎年よく見るが同じ場所を掘り返している。でも反面、ガタガタ道路でも何年も手が加わらない道路もある。何を基準に工事が行われているのか？ | (女、50代) |
| ・高速道路が早くつながればよいです。 | (女、30代) |
| ・身近な道路の整備を行って欲しいです。 | (男、20代) |
| ・地域によって道路等手入れされている所、いない所がはっきりしているのが多い。 | (男、50代) |
| ・大空町の今まであった道路がなくなってしまって大変不便です。 | (女、50代) |
| ・芽室-川西間の高速道路の先の整備は、236号、空港道路の2本もあるので必要ないと思う。まだまだ身近に整備する様々な事柄があるのでは・・・ | (男、70以上) |
| ・中通り側のアスファルトもきれいにしてほしいです。 | (女、50代) |
| ・幹線道路の車道のわだち(競馬場通り)など、云わずとわかんと思います。 | (男、70以上) |
| ・道路の整備にむらがある。特に38号線を中心に北の部分が遅れている。 | (男、60代) |
| ・車の通りがすごく多くなりました。車の数など調べていただき、早く道路幅が広くなればいいねと、家族など、話しています。 | (女、50代) |
| ・小さな道路だと歩道がないところがあり、体の不自由なお年寄りや幼い子供を持つ親が歩くには不安。 | (女、30代) |
| ・高速道路はいりません。静内-中札内線も必要ありません。 | (男、20代) |
| ・早く西16条41丁目の道路作ってほしい。 | (女、70以上) |
| ・道路が未整備で幹線との差がありすぎる。 | (男、50代) |
| ・平坦な地形の多い土地柄、自転車で安心して移動できる道路づくりが望まれる。 | (男、50代) |
| ・道路はすごく整備されてきて便利になりました。 | (女、20代) |
| ・道路などについては、非常に満足しています。 | (女、50代) |

i 施設整備について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

公共施設は少ない、
現在の施設を活用、
文化施設が物足りない、
地域住民のためを考えた施設整備を、
公共施設に木材を、
ユニバーサルデザインを
重要度の高い施設から、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|---|--------------------|
| ・公共施設的なものは充分であるので、その政策は少ない。 | (性別、年代)
(男、60代) |
| ・無理な建物は、作らない。現在の施設を活用し、今後100年以上にたえる建物にリフォームして行く事。 | (男、50代) |
| ・文化的な施設にいつも、物足りなさを感じています。 | (女、30代) |
| ・対外的に「観た目の良い公共建造施設」ではなく、地域住民のためを第一に考えた有効利用のできる施設（公共）を造って頂きたい。 | (男、40代) |
| ・新たなハコものの建設は極力抑えるべき。 | (男、60代) |
| ・高齢者への対応というか施設など充分にしてほしい。 | (女、20代) |
| ・文化施設などが大幅に立ち遅れていると思います。もっと気持ちにゆとりの持てる施設を作ってください。 | (女、40代) |
| ・農村における下水道の推進を希望いたします。 | (男、70以上) |
| ・役所主導なのか、施設の利用の際不便があるのに改善されない。(身障者施設ではなく、普通の人の利用の際)ユニバーサルデザインを考えるべき。 | (男、40代) |
| ・国・道・市の財政困難な折、皆が本当に必要に感ずる重要度の高い施設などから造ってほしいものと思う。(屋内スピードスケート場など本当に必要なかどうか?) | (女、60代) |
| ・木材の豊かな地域なので、公共の施設はふんだんに木材を取り入れて、活用していけると、落ち着いた都市型環境になっていくのではないのでしょうか。 | (女、50代) |
| ・緑のあふれた公共施設と都市の調和ができている帯広に、今も感激しております。 | (男、20代) |

j 人口・住宅について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

早く住宅地を作って、街の中心に、
人口の流出を防ぐため、
市営住宅にもっと単身者用を、駐車スペースを、
車椅子対応の住宅を、
人口増加対策を、
安くて住みやすいアパート・マンションを
高齢者・障害者向き住宅を、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|---|--------------------|
| ・早く住宅地を作って、近郊他町村に流出しないように考えるべきだ。 | (性別、年代)
(男、60代) |
| ・住宅地が街の中心に近い場所にあればと思います。 | (女、40代) |
| ・犯罪をなくし、将来をになう子供達が大都市に流出してしまうことのない街づくりが大切だと思います。 | (女、40代) |
| ・少子化が進み、将来の労働人口が減少するにあたり、これからの行政及び街づくり等は、帯広市の人口を何人で考えるかによって、都市づくりが決まる様な気がする。 | (男、50代) |
| ・人口の他町に流出を防ぐため住宅用地の確保が大切。 | (男、60代) |
| ・市営住宅、特に単身者用をもっと増やして欲しい。 | (女、30代) |
| ・市営住宅など、もっと人々に差別なしで、提供して欲しい。 | (男、30代) |
| ・私は障害者ですが、年齢も55歳で、市の住宅に住まわせていただいておりますが、駐車スペース各戸一台で他の車は民間の駐車場も近くにはなく困っています。 | (男、50代) |
| ・市営住宅に住んでいますが、駐車場をもう少し広くしてもらいたいです。今の時代、どこの家庭でも車の2台3台は普通になってきていますし、帯広は車なしではとても不便だと思います。ぜひ、駐車場の整備等をして下さい。 | (女、30代) |
| ・なるべく、安くて、すみやすい、アパート・マンションが、たくさんほしいですね。 | (女、40代) |
| ・バリアフリーは勿論車椅子対応の住宅がもっと多く用意できたらと望みます。 | (女、50代) |
| ・人口増加対策が必要(住宅地の確保は稲田川西地区以外に必要)あくまでも自然環境が保全されたうえで整備してほしいと思います。 | (男、20代) |
| ・もっと地区を広げ人口を多くして助け合えばもっと生活がしやすくなるから、良いまちづくりもできるように思います。 | (女、60代) |
| ・高齢者・障害者向き住宅を増やしてください。一人でも多く入れる住宅を建てて下さい。 | (男、40代) |
| ・自然や住宅環境、道路などについては、非常に満足しています。 | (女、50代) |

k 保健・医療・福祉について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

乳幼児医療費を無料に、国保を安く、
夜間病院への不満、夜間の救急体制、夜間休日診療に小児科を、
医療福祉の充実、福祉施設の充実、老人ホームの増設、
保育所の保育時間延長、土日も保育を、入所の優先順位、
介護保険の充実、保険料の支払い大変、
母子家庭の生活援助を、
生活保護の不平等、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|--|--------------------|
| ・夜間病院の医師への不満。 | (性別、年代)
(男、20代) |
| ・土、日、祝日の保育所(学童を含む)の開所を希望します。保育時間のもっと延長もあると、いいなと感じます。 | (女、30代) |
| ・乳幼児医療費を無料に | (男、50代) |
| ・国保がもう少し安くなって欲しい。社保じゃない家庭は大変すぎる。 | (女、20代) |
| ・夜間休日診療に小児科が入ってなく、内科に行かされる。 | (女、30代) |
| ・夜間急病センターのドクターの対応が患者サイドに立ってくれた対応でないのも残念です。 | (女、30代) |
| ・60歳を過ぎて一番心配なのはやはり医療福祉の問題です。 | (女、60代) |
| ・私たちが老後、安心して暮らせるよう、福祉の充実、市としての老人ホームの充実を切に願います。 | (女、50代) |
| ・幼児の医療費を小学生になるまで無料にするべきです。 | (女、20代) |
| ・老人施設、障害者(精神も含む)の施設がまだまだ足りない。保育所が足りないのも少子化の原因の一つと思います。 | (女、50代) |
| ・母子家庭に対する生活援助は将来を担う小さな次代の市民を健全に育てていくための基盤だと、私は考えています。 | (女、40代) |
| ・幼い子を持つ親として、保育所に入れる際の優先順位に少し疑問を持ちました。 | (女、20代) |
| ・私は66歳です。年金月35,000円しかもらっていないので、パートで生活をしています。介護保険料を支払うのは大変なことです。 | (女、60代) |
| ・超高齢化社会に備え介護保険の内容充実を図るべきだと考えます。 | (男、40代) |
| ・生活保護の不平等、働けるのにぶらぶらして、パチンコ、酒を飲み歩いてながら受けている人が多い。本当に困っている人が受けられない非常に不満に思う。 | (女、40代) |
| ・夜間の救急体制がよくない。 | (男、50代) |

1 農業振興について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

都市と農村との交流を、
農業安定と助成を、
農作物は高い、
十勝産の農作物を地元、
農業を中心とした産業活動を、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|---|----------|
| | (性別、年代) |
| ・都市と農村との交流をもっと多く、農業振興は、帯広経済を活性化させる。 | (男、60代) |
| ・農業安定と助成 | (男、50代) |
| ・十勝の農業をより多くし食生活に野菜を多く取り入れたらと思います。 | (女、50代) |
| ・農作物も帯広は高いです。街はよいのですが、お店にしても、農家にしても、
漁業にしても努力が足りないように思います。自然に恵まれ過ぎているところ
もあるのかな・・・あ。 | (女、70以上) |
| ・農畜産物の豊かさを生かして、特徴ある農畜産物の加工を十勝全体で考える。 | (女、70以上) |
| ・交通網が整備されつつある（高速道路、高規格道路など）広尾港の整備と各航
路の誘致と、これをもとに農畜産物の搬送（北見、網走、旭川方面）を実現し、
釧路、苫小牧に負けない十勝にしていくことが将来の必須の要件である。 | (男、60代) |
| ・地域の特性を生かした一次産業の自由化への推進 | (女、50代) |
| ・十勝産の農作物をもっとたくさん地元のスーパーに流通させてほしい。 | (女、50代) |
| ・基幹産業が農業・漁業ですから、そこを中心に街づくりを考えてはいかがでし
ょうか。例えばスローフードを軸に教育も観光も世界に発信できるくらい
に・・・。 | (男、60代) |
| ・農業を中心として産業活動が活発に行われる様な施策を、十勝の中心都市とし
て発信し進めていくよう強力に進めるべきです。 | (男、60代) |

m 観光振興・レジャー施設について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

観光ルートのアピール、
観光スポット、魅力的な場所・名所を、
休日の家族で楽しめる場所を、スパ温泉、レジャー施設を、
全国に誇れる行事を、
楽しいお祭りを、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | (性別、年代) |
|--|---------|
| ・観光ルートのアピール不足（見るものがない。） | (男、60代) |
| ・もう少し、家族で楽しめる場所、観光が出来るところがあればと思います。 | (女、20代) |
| ・友達が遊びに来て、観光スポットがとっても少ないので困っちゃいます。 | (女、20代) |
| ・休日に家族で楽しめる場所を作ってほしいです。地方からも来てもらえるようなものがあるといいですね。 | (女、30代) |
| ・平原まつりから、けんか神輿がなくなった事は、帯広市民として大変残念に思います。全道、全国に誇れる行事の一つだったのに寂しく思います。是非再開を望みます。 | (男、30代) |
| ・温泉も出る所なので、スパ温泉とか、お祭りのにぎわいを活発にして、みんなが笑顔になっていければ、仕事も楽しくでき、疲れたら癒せる所をつくれれば、また頑張れます！！ | (女、60代) |
| ・良く聞かれることなのですが、帯広で遊べるところ、観光できるところ（近場、駅前になにもない）が本当に少ないと思います。 | (女、40代) |
| ・「帯広は半日滞在すればあきる。」といわれるほど、市街も未発達だし、観光名所（近くの）も少ない。休日に家族で遊べるところがない。 | (女、20代) |
| ・遊園地のようなレジャー施設を作ってほしい。 | (女、20代) |
| ・駅北中心街の活性化、帯広市に目玉となる観光するものがない。観光客が素通り、経済活性化など他都市を少し研究してはいかが？ | (女、60代) |
| ・親族・友人が来帯しても手軽につれて行ってあげる場所は帯広にはありません。とても残念です。 | (女、30代) |
| ・楽しいお祭りをもっとしてほしい。 | (女、30代) |
| ・他の都市から来た人が帯広を訪れた時に期待するものが、帯広市部に「これ」といってないのが残念。他町村（例えば、中札内の風景とか、日高山脈が間近に見え、広がる牧草地、ジャガイモ畑、坂本直行記念館であるとか）に行かないとない。グリーンパークでは全然、役不足である。 | (女、30代) |
| ・花火大会、平原まつりは、よいと思います。 | (女、40代) |

n 交通問題・交通網・バス・駐車場について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

運転マナーが悪い、交通事故防止、
中央分離帯の樹木で見通し悪い、街路樹で標識・信号見えなく危険、
信号を増やして、
公共交通機関の利便性を、
バスが不便、コミバスを廃止しないで、
路上駐車をなくして、公共駐車場を、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|--|--------------------|
| ・帯広の人間は運転マナーが悪すぎるので・・・冬は特にこわい！！ | (性別、年代)
(男、30代) |
| ・中央分離帯に植えている樹木は交差点近くでは背が高く見通しが悪く交通事故の「元」になる。 | (男、60代) |
| ・交通の便がとても悪いと思います。バスなどの交通がもっと発達すれば高齢者の方なども助かると思います。 | (女、20代) |
| ・コミバスを廃止しないで欲しかった。(市で助成してほしかった) | (男、30代) |
| ・公共交通機関の少なさに大変不便を感じています。また、自動車の運転マナーも悪く、歩いて通勤していて、何度も怖い目に遭っています。 | (男、20代) |
| ・道路の街路樹があって緑豊かなのは良いが、標識・信号等が見えないのは危険である。 | (女、50代) |
| ・高齢者や交通事故、省エネの視点からバスなどの公共交通機関の利便性を改善してほしい。 | (男、20代) |
| ・郊外のバスの利便性があまり良くないので、もっと中心地への交通手段を多くしてほしい。 | (女、20代) |
| ・信号機の設置、西20条南5丁目帯広信用金庫春駒店の西の交差点、交通量も多くみづらく危険です。是非、信号機をお願いいたします。 | (女、60代) |
| ・路のわきに植えてある街路樹が、夏になると葉が増えて信号がとても見えにくくて、とても危険だと思います。 | (男、20代) |
| ・歓楽街などの路上駐車をなくし、人通りのよいきれいな街になってほしい。 | (男、20代) |
| ・自動車優先社会ではなく、歩行者や自転車の安全を最優先にした社会にしてほしいです。 | (男、20代) |
| ・公共駐車場が少ない。 | (男、50代) |
| ・路上駐車が日常的に行われている。 | (男、40代) |
| ・帯広の車は、スピードを出し過ぎるので信号を増やしてスピードダウンするようにしてほしい。 | (男、40代) |

○ 大学高等教育について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

大学の整備・設置を、
大学・専門学校の充実、
音楽を学べる大学、教育を学べる大学、
大学の面倒が見られるのか、
大学の誘致を、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | (性別、年代) |
|--|----------|
| ・教育、大学がととのっていないと、商業、新産業が活性化していかないと思います。 | (女、50代) |
| ・音楽を学べる大学や、教育を学べる大学がないので、子供を育てても、市外に通わせることになるので、経済的にも大変です。将来に向けて検討してほしい。 | (女、30代) |
| ・大学・専門学校の充実、我が家の息子も昨年より進学のため、札幌で生活しております。地元で教育施設が少なく、親の負担も大きい。 | (女、40代) |
| ・現存の大学の整備といっても、専門がAをBにすることは不可であり、新規大学設置を願う。 | (男、60代) |
| ・大谷を音更に出したのが、まず若い人が来なくなったこと、まず大学か専門学校。 | (女、50代) |
| ・既存の高校・短大が他町に移ってしまったのに、新しい大学の面倒が見られるのでしょうか？もっともっと大きなビジョンを持って私たちに説得してください。他町がうらやましがらうような街づくりを進めてほしいです。 | (女、40代) |
| ・大学も畜産大学・大谷短大だけじゃなく外にいかなくても良くなると、経済面でも違うと思います。 | (女、40代) |
| ・大学や文化施設などが大幅に立ち遅れていると思います。 | (女、40代) |
| ・帯広にみんなが行きたくなるような専門学校や大学があまりにも少なすぎます。 | (女、20代) |
| ・まずは少子化の波を止めるには、教育関係つまり大学・専門学校の設立に力を入れて下さい。 | (女、70以上) |
| ・大学誘致運動は道東でも30年ほど前から各市が競って行われてきた。北海学園のもう一つの学校は、北見市に、東京農業大学の北海道進出は網走市に決定した。この二校はいずれも十勝・帯広進出を強く希望していたと聞いている。日赤看護大学は、北見と釧路が競い北見に開校した。 | (男、60代) |
| ・大学の誘致等で若者の力が吸収できる産業構造を目指すべきである。 | (男、60代) |

p 商業振興・産業振興について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

商業・新産業の活性化、生産基地の活性化、
 帯広の顔、独自のブランドを、帯広といえばこれというものを、
 地元企業の保護、産業活動を活発に、
 閉店時間が早い、幅広いジャンルの店舗を、会社起こす際もっと楽に許可等を、
 などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|---|----------|
| | (性別、年代) |
| ・車ですぐの場所に緑や豊かな産業がたくさんあるのに、帯広の中だけをみると、そう感じられない気がします。 | (女、20代) |
| ・帯広市の顔を造ることです。(ショッピング、食べもの、催し物、見るもの、休む場所)複合施設を考えるべきです。 | (男、60代) |
| ・生産基地の活性化、名古屋のように純利益が20億企業の拡大に力する。 | (男、50代) |
| ・市民生活の基盤となる産業・企業の創出・誘致が重要課題 | (男、40代) |
| ・もっと道外にPRして、帯広独自のブランド品を出すべきである。(産業育成)ずばぬけた加工食品。 | (男、40代) |
| ・帯広市は地元企業を保護するという事はないのでは？地元で出来るものは、地元でもっと零細企業の活用する。 | (男、40代) |
| ・商店も理念をもって、独自性を持ち個性豊かな、お客様が足を運ぶような商品を置くとか、お店の造りも温かみのある、味のあるお店にする | (女、70以上) |
| ・新しく会社を起こす際に、もっと楽に許可等が許されるようにすることが必要と考えます。特に個人タクシー、電設会社等々・・・！ | (女、40代) |
| ・帯広といえば、三方六(菓子)?これだという代表的なものを、見つけることはどうでしょうか。 | (女、40代) |
| ・飲食店の閉店時間が早い。買い物(服・家電)は、欲しいブランド店がないため札幌で買ってくる。 | (男、20代) |
| ・広小路などのアーケードにもっと色々な服や雑貨など幅広いジャンルの店舗を入れてほしいし、もう少し雰囲気明るくなればいいと思う。 | (男、20代) |
| ・大型店の郊外分散で老人の買い物が不自由になり、人情味のある個人店舗のつながりがあれば(昔型の連ばいのように)名物となり、旅行者も十勝の農産物・魚をお土産として利用しやすい。 | (女、70以上) |
| ・農業を中心に。新産業の創出。 | (男、60代) |
| ・産業活動が活発に展開され地域経済に活力がみなぎっている社会であってほしい。 | (女、70以上) |
| ・帯広市の中は、自由に帯広市の街の中の物をいろいろと見て歩いたり好きなように買い物もできやすく、楽しんだりできやすく、そういう広い十勝の街になるといいなあと思います。 | (男、30代) |
| ・大型店が一杯あってよいと思う。 | (男、30代) |

q 行財政政策・税・料金について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

税金の無駄遣いをやめて、予算の無駄遣いを見直して、目に見える使い方を、税金が高い、所得の少ない人はなんとかしてほしい、水道代が高い、行政改革、合理化を、行政のスリム化、市職員の削減、給料・退職金の見直し、職員を減らす、経費削減（公用車の廃止）を、などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | (性別、年代) |
|---|----------|
| ・税金の無駄使い、例えば大通り等の道路整備、何度も何度も少しずつ補修しても意味がない。どうせやるなら一気にやるべきだと思う。 | (男、20代) |
| ・税金は身近で目に見える使い方をして下さい。 | (女、60代) |
| ・財政難の折、もっと庁舎内で全員が危機感を持って税金の無駄使いのないように徹底して欲しい。 | (女、50代) |
| ・所得の少ない人に負担がかかる税金は、本当になんとかしてほしいと思います。 | (女、40代) |
| ・水道代が高い、家賃も全体的に高め。働けない上にこれでは困る。 | (女、20代) |
| ・行政改革、市役所改革、無駄のところにも多くの税金を使わない。市立病院、ばんえい競馬は、廃止した方がよいと思います。 | (女、70以上) |
| ・役所仕事で無駄が多すぎます。まだまだ合理化できます。 | (男、70以上) |
| ・札幌から引っ越してきたが、水道料金のあまりの高さに驚いた。こんなに高いなら、毎月の支払いにしてほしい。 | (女、30代) |
| ・税金の無駄遣いしていると思われる工事等が多いと思われる。 | (男、50代) |
| ・上下水道代の値段が数年毎に上がり、高いです。 | (女、30代) |
| ・無駄な公共工事の見直しと凍結、これからはすでにソフトの時代だ！ | (男、40代) |
| ・多すぎる市役所職員をまず減らすべき！ | (女、40代) |
| ・市職員の削減、給料、退職金の見直しを。民間を見てほしい。 | (女、20代) |
| ・帯広は、外より税金が高くて暮らすのに大変です。 | (女、60代) |
| ・子供（赤ちゃんか、幼い子）を育てる家庭に、税金を安くするとか、逆に、支援（お金とか、保育施設など）をして下さるように希望します。 | (男、30代) |
| ・行政のスリム化は時代の流れだと思います。「民間でできることは民間で！！」 | (女、50代) |
| ・街づくりといって何かを作るのは財政的にも大変なことだと思います。今あるものを大切に使い、本当に必要なものを新たに作ってほしいと思います。 | (女、50代) |
| ・帯広に住み始めて五年目ですが、水道代の高さはかなり家計を圧迫しています。市民に痛みを求めすぎずに、行政や財政深く考えて実行してほしい。 | (女、40代) |
| ・市役所へ行くことがあるが、駐車場にいつも多くの車が止まっている。課の車は廃止して、プール制にして車の無駄をなくし経費削減に努めてほしい。 | (男、40代) |

r 教育問題について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

学校教育・社会教育・道德教育を、
教育予算の充実を、義務教育に予算を
青少年に生きた教育を、自衛隊の課外授業を、
地域を考える時間を、
実習体験、独自の教本を、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|--|----------|
| | (性別、年代) |
| ・より良い地域社会にする為に原点に戻った、学校教育、社会教育を考えてほしいと思います。 | (女、50代) |
| ・若者達の行動が目に見える。道德教育を徹底すべきと考える。そのための教育施設が必要である。 | (男、60代) |
| ・教育予算が少なすぎると思う。今時40人学級で教員配置も少ないし、公園の遊具もお粗末だが、学校の設備も見せかけで子供の成長発達に本当にふさわしいかどうか考えられているとはまったく思えない。 | (女、30代) |
| ・学力水準が低いという話をよく聞く。良い良い帯広十勝を創りたいのであれば教育に力を入れるべき。人を思いやる心、尊重する心、学ぶ意欲など。先にも書いたが市独自の教育があってもよいと思う。 | (男、20代) |
| ・義務教育には、財政難はわかるが投資をしなければならぬ。 | (男、60代) |
| ・青少年に生きた教育を午前中勉強をして、午後は実習、すぐに役立つ教育が望ましいと思います。 | (女、70以上) |
| ・中高生の総合的・教育的指導のため自衛隊の課外授業を実施してみても？少年犯罪を防止のため。 | (女、30代) |
| ・子供の教育について、よりよい教育をすることのできる街づくりを希望します。 | (男、30代) |
| ・街路樹よりもチューリップなどの背丈の低い花の方がきれいだし、安全だと思います。町内会などで手分けしたり、小学校の授業などで、植えたり、管理してもらったりすれば、地域のことを考える時間にもなりよいのではないかと思います。 | (男、20代) |
| ・自然に恵まれた故郷は、子供たちに学習の場があります。小中学校の学習において(実習体験)学校からも森や川の恵み、動・植物の営み、環境の大切さを教える、独自の教本を教育委員会で作ってはどうかと思います。 | (男、70以上) |
| ・社会道德、環境道德を幼児のうちから教え込む取り組みをしてほしい。 | (女、50代) |
| ・最近身勝手な大人が多すぎるように思うので、責任感のある態度をとれるような社会教育が必要だと思います。 | (女、60代) |
| ・広い大地でのびのびと育った子供が次代を担っていける街になるよう願っています。 | (男、50代) |

s 安全・安心・防犯・防災について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

安全で安心な社会、安心とゆとりある社会、
犯罪のない社会、非行のない街、
安心して道を歩けるように、土日パトロールを、
地震・防災対策を、
災害に強い、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

(性別、年代)

- ・安全な生活が今一番深刻でないかと思えます。都市の安全、生命の安全保持を今最も考える時、街の中の危険を見逃さないでほしい。小さな違反が大きな犯罪を生みます。真剣に取り組んで欲しい。(男、60代)
- ・犯罪をなくし、将来をになう子供達が大都市に流出してしまうことのない街づくりが大切だと思います。(女、40代)
- ・非行のない街、青少年が伸び伸びと毎日を送れる街。(女、60代)
- ・「老若男女関係なく安全に安心して暮らせる」に尽きる！！(男、20代)
- ・日常生活が安心してゆとりのある生活ができること。こんな街にしたい。(女、60代)
- ・安心して暮らしていける環境及び子供や老人(弱者)が安全に生活できる社会を望みます。(女、30代)
- ・夜も、女性や塾帰りの子供が安心して道を歩けるようにしてほしい。(男、30代)
- ・土日にはパトロールをしてほしい。今の若い人はちょっと怖い。警察の人をチヨクチヨク見るだけで安心できる。(女、40代)
- ・住宅地でも仲通りに入ったら、とても街灯が少ないため、暗くてとても通り魔に襲われそうで怖いです。(不明、不明)
- ・大きさは災害の時、自衛隊と市とがスムーズに連絡を取り合い出動できるのか、疑問です。(女、50代)
- ・50年に一度といわれる地震のことや何が起こるか分からない世相となってまいりました。そんなことである程度防災等に力を入れなければならないと思えます。(男、70以上)
- ・帯広は大災害が発生しにくい地形であるのであまり考える必要がない。(男、50代)
- ・防災対策、特に地震(女、50代)
- ・自然環境が保全され、身近な場所にも緑があふれる潤いのある社会、災害に強く、医療福祉が充実した安全で安心して生活できる社会が、一番基本的にこうあってほしいと思うところです。(女、40代)
- ・私的には、今の帯広にほぼ安心して暮らしています。(女、30代)

t 雇用対策・賃金について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

雇用の場を、安心して働けるところ、
失業者のない、失業したら働くところない、
もっと働く場を、高齢者の働く場を、
就職先が少ない、
賃金が低い、パート時給あげて、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- ・若い人達の住み良いくらし安い仕事のある街に (性別、年代)
- ・大勢の人たちが働ける工場や大きな企業があるとうれしい。 (女、70以上)
- ・1.失業者ない仕事場 2.失業者に雇用奨励金 3.中小企業失業ない職場 (女、30代)
- ・失業したら、次に働くところがない。 (男、50代)
- ・地元企業を多く増やし、雇用の場を広げてほしい。 (男、50代)
- ・高齢化社会です、元気で何か仕事をしたいと思いますので、年をとっても働ける場所を作ってほしいです。 (男、50代)
- ・ハローワークへ行くと失業者であふれています。仕事がないことには、終身雇用は望めないと思う。若い人にも年寄りにも働ける場所を与えてほしい。 (女、60代)
- ・地域経済に活力が出るようになると良いと考えます。就職活動の時にも仕事を選べるような。 (女、60代)
- ・生活費も(特に冬は)かかりますが、それだけの収入を得られる就職先がとても少なく感じます。 (女、40代)
- ・もっと働く場を作ってほしいと思います。(主に中高年30代~50代) (女、20代)
- ・高齢者の働く場所を多くして欲しい (女、30代)
- ・個人経営者が幅を利かせ、賃金の低さは信じられないもの。 (女、60代)
- ・雇用対策の推進を充実してください。 (女、30代)
- ・年齢を重ねていくに従い働く場所が狭くなり、選択する理由すらも失われつつあるこの頃、また、不況の波を受けさらに深刻な事態になっていくと考えられます。 (男、60代)
- ・働ける場所を作って下さい、若い人に1時間でも働ける場所を・・・ (女、50代)
- ・パートで成り立っている世の中なのに、もっとパート時給あげてほしい。 (女、70以上)
- ・市民一人一人に、もっと仕事があってこそ心にゆとりが出てくるように思います。そのためにも働く場所がもっとあるといいですね!!そうすれば、子供も、たくさん産んでくれるのではないですか。 (女、30代)
- (女、40代)

u 市議会について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

市議会論議の質的向上、議会運営の改善、
議員定数の削減、
議会の案件を市民に明らかに、
市議の視点が違いすぎる、
市議会は議員のためにあるのではない、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- ・市議会論議の質的向上。市議会運営の改善（ムリ・ムダの排除）
(性別、年代)
(男、50代)
- ・人間作りが最大の課題だと思う。机上論だけなら誰でも出来る。議員をもう少し積極的に動かしてほしい。無能で何もしない議員が多すぎる。
(女、50代)
- ・帯広市も財政が大変厳しくなっていると聞いております。
先日の市議会選挙でもほとんどの人が福祉を言っておられましたが、財源をどうするかはあまり...。
(女、70以上)
- ・市議の顔がもっと身近に、市民の方を向いていたら良いと思います。
(女、50代)
- ・財政硬直化には、人件費の削減を強力に推し進めるべき。市議会議員定数の削減。
(男、60代)
- ・市議会議員の定数を現在の3分の2まで削減してそれらの余剰金を福祉等に回すよう希望する。
(男、70以上)
- ・市議会で行っている案件を常に市民に明らかに
(男、60代)
- ・一言、市議の方は、先生でなくお互いに 市議というべき。先生とは私たちに何か教えてくれる人です。専門の知識があつて、何か私たちに教えてくれますか、えらぶって先生先生と言い合うから、税金ドロボーと呼ばれます。
(女、50代)
- ・市議会の方々が勝手な意見を言うのではなく、インターネットでアンケートを集約したり、野心のある、議員ではなく、若い世代別のモニター or 1年2年交代で...。よりミクロな市政要望を！！視点が違いすぎる(市議の人たち...)
(女、30代)
- ・選挙の勝利と同時に我々の北の地域の約束を忘れてる。
(男、60代)
- ・市議会は議員のためにあるのではない。市長をはじめ市役所職員、議員、市の行政等運用（運営）にかかわる関係者など、市のため市民のため一致協力して事に当たってもらいたい。選挙のときだけいいこといってもダメ。
(女、50代)

ⅴ 十勝市町村連携・市町村合併について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

十勝の中心都市として、
十勝の中核都市として、
近隣町村との連携、
管内町村との連携を、
市町村合併リーダーシップとして、
合併問題を積極的に、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- ・帯広市は、十勝の中心都市として今後10年で果たすべき役割の責任は大きい。
(性別、年代)
(男、30代)
- ・音更、幕別、芽室、更別、中札内など近隣の町や村との連携？つながりをもっと大事にすることで、帯広も活発になるんじゃないかなと思います。
(女、20代)
- ・特に、産廃処理施設などは行政・自治体の連携と厳しい管理規制の下に行うなど、行政しかなしえない役割を積極的に考え、イニシアチブをとる必要が地方経済にとってもっとも重要と考える。
(男、40代)
- ・十勝だけの産物・産業、十勝が市場独占できる特許などの開発には、国はやらない。帯広や十勝がやり、輝かなくては、依田勉三の考えの心を生かせない。
(男、70以上)
- ・十勝の中心都市として十勝の発展にも配慮した市政を望む。
(男、40代)
- ・帯広だけでなく十勝全体を活発にしたいと思う。
(男、20代)
- ・これからの十勝の高齢化・少子化・他を考えると「十勝全体が一つの地域」としてのとらえ方が必要。
(男、40代)
- ・農畜産物の豊かさを生かして、特徴ある農畜産物の加工を十勝全体で考える。
(女、70以上)
- ・十勝の中核都市としての自覚と行動で市の発展は勿論、十勝全体の発展を考えた市政を行うべきである。
(男、60代)
- ・管内町村との連携を深め、十勝の中心都市としての役割を担い発展すること。
(男、70以上)
- ・市町村合併に関心があります。十勝の中心都市の帯広市がリーダーシップをとり早期の方針を示すべきと思っています。
現在、近隣町村の出方をうかがいながらと思われませんが、長期の展望に立ち、英断を期待します。
(男、50代)
- ・十勝20町村の連携。
(男、60代)
- ・ここ数年人口は減少していき苦小牧に抜かれそうな現状、釧路市では周辺町村との合併問題を積極的に進めており、帯広市も現状にとらわれず、将来を考えた合併を積極的に進めるべきだ。
(男、70以上)
- ・自然に恵まれたこの広い十勝平野、帯広がリーダーシップを発揮し、全十勝に発進することが大切な施策かと願うことである。
(男、60代)

W I T 情報整備・情報公開について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

I T 等情報整備、情報の公開を、
広報などにも詳しく、わかりやすく、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- ・ I T 等情報整備は、最先端でありながら環境・福祉に厚い行政を希望したい。
(性別、年代)
(男、30代)
- ・ 情報の公開を
(男、70以上)
- ・ I T I T と騒いでいないで生活道路等の整備！
(男、50代)
- ・ 帯広の広報などにも、詳しく「帯広の森」の散歩、パークなどの内容紹介、町にはごみのないよう、介護施設の（内容を）紹介と、もっと街のことを詳しく教えてほしいと思います。
(女、60代)
- ・ 暮らしのガイドや広報もわかりやすく説明してほしい。
(男、60代)
- ・ 情報の開示、コミュニケーションが下手で、市民に伝わっていないのか、実際にやっていないのかはわからない
(男、60代)
- ・ 地域のイベント・スポーツなどがわからない！！
(男、30代)

X 音楽芸術・映画について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

市民ギャラリーを、イベント・コンサートを、
大きな映画館、シネマコンプレックスを、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- ・ 市民ギャラリーを作るべきだ。市の文化レベルは低いのではないかと。
(性別、年代)
(男、60代)
- ・ 自分は映画が好きなので、大きな映画館があってもよいのではないかと思う。
(男、20代)
- ・ 一番不満なのがコンサートなどのイベントがぜんぜんなく、札幌まで観にいっている。
(男、20代)
- ・ シネマコンプレックスなどの施設の自由競争化を進めるべき。
(男、40代)
- ・ 文化ホールでの催し物が、たくさんあったら皆さんも活用できると思います。
(女、60代)
- ・ 帯広で大きなライブなりイベントを常に開いて集客する。
(男、40代)

- ・ ストリートミュージシャン達が最近頑張っているので応援しても良いのではないのでしょうか。
(女、20代)

y 市民意向調査について

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。

市民の声を反映して、実行・改善を
アンケートを取っても、
統計を取るだけで終わらず、
設問が理解できない、記載例がわからない、回答欄を考えて、
などが主な意見・提言となっている。

【主な意見提言の抜粋】

- | | |
|--|----------|
| | (性別、年代) |
| ・このアンケートやまちの声を伺うことも一つの方法だと思うが、本当に市民の声を一つでも反映させてもらいたい。(希望) | (女、30代) |
| ・問10がわからない 中身が良く理解できない。記載例じたいわからない。 | (女、50代) |
| ・地域住民の快適性をアンケートを採ったところで、市職員が中心となっているのでは、なにも前進しないであろうことは明確と思える。 | (男、40代) |
| ・少なくとも設問に回答した項目について、実行並びに改善されればと希望いたします。 | (男、60代) |
| ・このようなアンケートを取っても、現実に市長が見るわけでもないのでしたら意味がないし、街づくりにもならない。 | (女、40代) |
| ・文章の理解に苦しみ、回答に矛盾があると思う。 | (男、70以上) |
| ・今回のようなアンケートは統計を取るだけで終わらず、必ず実行に移していただきたいです。 | (女、20代) |
| ・市民の意見を聞き過ぎると何もできなくなるのでは、ほどほどに。 | (男、20代) |
| ・アンケートを作るのであったら、もっと内容を(回答欄)を考えて!! | (男、40代) |
| ・このアンケートから企画をされている皆さんの発想が小さいように感じます。 | (男、40代) |
| ・市民意向調査に参加させて頂き有難度うございます。 | (女、50代) |
| ・沢山のアンケートが集まって、それが元で、市が変わると嬉しいです。集計される市の担当の方、お疲れ様です。 | (女、30代) |
| ・この様なアンケート調査を多いに行い、市民の声を市政、もしくは住み良い街づくりに反映してほしいものです。 | (男、40代) |
| ・今回のように、こういう様に書ける機会があり、うれしく思い、ペンを執りました。 | (女、50代) |
| ・ご意見を提供させていただける機会を与えてくださりありがとうございました。 | (女、50代) |

z その他について

今後のまちづくりのイメージとしていただいた意見・提言は、次のとおりとなっている。

都市と地方のバランス、
都会と田舎の両面があるから、
もっと活気のある、
大きなビジョンで、
今どうするかでなく、
若者中心の社会へ、
今あるものを見直して、
などが主な意見・提言となっている。

【今後のまちづくりイメージの主な意見提言の抜粋】

- | | |
|---|--------------------|
| ・あくまでも都市と地方とのバランスの上に十勝、帯広の良さがあると思う。 | (性別、年代)
(男、30代) |
| ・都会と田舎の両面があるから居心地いいと思っているのかもしれませんが。 | (女、30代) |
| ・現在が一番行政もやりにくい時と存じます。一步一步よろしく願い申し上げます。 | (女、70以上) |
| ・街づくりも、もっともっと活気のある帯広市にして欲しいです。 | (女、60代) |
| ・北海道の自然、広さと地価の安さなどに特性を活かしたものを積極的に創出していかなければならない。 | (男、40代) |
| ・私の住む町は、高齢化が進んでいます。しかしながら、20年以上街の整備は進んでおらず、地域の変わり行く特性に行政サービスが適応していません。 | (女、50代) |
| ・農村地区と市街地のバランスの良いあり方を考えて欲しい。 | (男、40代) |
| ・私利私欲ではなく、大きなビジョンの中で街づくりをしているようには、帯広の町は見えません。 | (女、40代) |
| ・今、現在どうするかでなく、十年後にどうなった方がよいのかを考えそれに向かって今から少しずつ帯広という街を、つくってほしいです。 | (男、40代) |
| ・人あつてのまちづくり人々が心豊かに楽しく暮らせるということを前提にしてほしい。 | (女、60代) |
| ・年寄りを中心の社会から若者中心の社会へ変えるべき。 | (男、50代) |
| ・北海道一極集中の社会を変革し、北海道を分権体制の方向へと移行し、その地域の特性が発揮できる分権の中核都市へ向かうことが、市民に生きる希望を与えるように思う。 | (男、60代) |
| ・今あるものを見直しその中でよいものを再認識し、それを伸ばしていくことに重点を置くべきでは。(新しいことを取り入れることも大事であるが、今ある長所を伸ばすことを！！) | (男、40代) |

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言は、次のとおりとなっている。
市以外の人材登用を、全庁舎禁煙として、投票所を土足に、帯広の森を買う、競馬場の移転、土地利用、上水道の安全を確保、下水道の援助、などが主な意見・提言となっている。

【今後の具体的施策としての主な意見提言の抜粋】

- | | |
|--|----------|
| | (性別、年代) |
| ・外の人間(市以外)を多いに人材登用したほうがよい。内にばかりいると外が見えない。 | (女、50代) |
| ・煙草は、全庁舎禁煙として、市民一人一人の健康と職員も同じです、みんな自分のためなのですから。 | (男、70以上) |
| ・東部地域の活性化を図ること。住民の高齢化が進んでいるので活気がない。 | (男、60代) |
| ・帯広の森の一部が芽室町にあることは、芽室に税金等を払っているのではないか？帯広に買うことできないか？ | (男、50代) |
| ・上水道の安全を確保、市民サービスの推進、 | (男、70以上) |
| ・下水道の援助を・・・資金がなくて、工事のできない家庭に長期貸し付けを！ | (女、70以上) |
| ・投票所での土足については如何かと思えます。他の市町内で土足のところが見受けられます(TV放映)年を老いてくると、なかなか大変なのです。 | (女、60代) |
| ・元工業高校跡地のような遊休土地の有効利用あるいは売却措置等についてその計画が市民には見えない10年近くも空き地になっているのはおかしい？ | (男、70以上) |
| ・市の発展の妨げになる競馬場の移転 | (女、40代) |
| ・プルタブ入れを設置し、貼紙をすれば、みんな協力してくれるのでは？そういうところから街のみんなの意識や街みんなで何かをやったという達成感が、生まれてくるのでは？ | (女、20代) |

今後の展開としていただいた具体的な意見・提言のうち、苦情としてのイメージの強いものは、次のとおりとなっている。

閉鎖的な土地柄、帯広の人間大嫌い、長く住むには不安、住み続けるメリットない、住み替えの説明がない、落雪防止を、店に駐車スペースがない、などが主な意見・提言となっている。

【苦情としてのイメージの強い主な意見提言の抜粋】

- | | |
|---|----------|
| | (性別、年代) |
| ・道路に面した斜度のある屋根に取り付けられた落雪防止・・・最近では落雪防止を取り外している。降雪時、道路上に落ちる。除雪車が通っても生活道路が狭くて困る・・・罰則はないのか？ | (男、60代) |
| ・生まれてから約50年住んだこの帯広を将来捨てようと考えています。 | (女、40代) |
| ・柏林台に住んでいる老人です、住み替えの説明が全然ありません。 | (女、70以上) |
| ・道路の駐車など近所の店に駐車スペースが確保されていないため、近所の人々が迷惑する。 | (女、20代) |
| ・何を考えても、帯広に住み続けるメリットは全くない。 | (女、30代) |
| ・帯広の人間が大嫌いなので、帯広の街づくりに関しては興味が全くありません。 | (男、40代) |
| ・道内他市町村から来た人達からは帯広の悪口しか聞くことが出来ず、少しずつその意味が分かってきて、長く住むには不安があります。 | (女、30代) |
| ・よその町からの人が気楽に入ってこれるように。閉鎖的な土地柄を感じる。 | (男、40代) |

【プラスイメージの主な意見提言の抜粋】

- | | |
|--|----------------------|
| ・私は現在、幸せに満足な日々を送っていますので、感謝で一杯です。 | (性別、年代)
(女、70 以上) |
| ・これからも明るい住みよい街にしてほしいと願っております。 | (女、70 以上) |
| ・私は、帯広という都市が大好きです。 | (男、20 代) |
| ・毎日ご苦労さまです。帯広のためにガンバッテ下さい。 | (女、60 代) |
| ・帯広の街は特色のないところでは。これといって、観光も無理、でも、帯広の街が大好きです。 | (女、60 代) |
| ・帯広は風土もよく住みやすい街。もっとアピールし、自然あふれる街づくりを。 | (女、30 代) |
| ・帯広は住みやすくよい街だと思いますよ。 | (女、40 代) |
| ・私たちの住んでいる地域としては今のところ満足しております | (男、70 以上) |
| ・私も、札幌、旭川、釧路、北見と廻ってきました。帯広が一番生活できると思います。 | (女、60 代) |
| ・東京から来て30年になります。少しずつ住みやすくなっていると思います。 | (女、60 代) |
| ・帯広は住みやすい都市であり、この様な街を育成していただいた関係者に感謝いたします。 | (男、50 代) |
| ・大変住みやすい街と思います。 | (女、20 代) |
| ・全国放送で十勝の帯広が出てまして、十勝は土地が安くて、住みよい街として放送していました、大変うれしかったです。 | (男、60 代) |
| ・誇りに思うのは、なんといっても食べ物がおいしいこと | (女、30 代) |

まちづくりにあなたのご意見を

平成15年市民意向調査票

地区

この調査は、次のような点を守り行っております。

無記名であり、あなたのお名前等が外部に出ることはありません。

回答の内容は統計数値としてまとめる以外には使用しません。

個人の回答内容の秘密は絶対に守られ、あなたにご迷惑のかかることはありません。

回答は、該当項目の番号を1つ又は複数選んで で囲み、左端の 欄にその番号を記入してください。

【あなたご自身に関すること】

問1 あなたの性別は？

男 女

問2 あなたの年齢は？（5月15日現在の年齢で選んでください）

20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

会社員 商・工・サービス業等の自営業 農・林・漁業 公務員 自由業
主婦 学生 無職 その他（ ）

問4 あなたが帯広市に住むようになってから、何年になりますか？（生まれてからずっと住んでいる方は「20年以上」ではなく、「生まれてからずっと」を で囲んでください。）

1年未満 1年～5年未満 5年～10年未満 10年～20年未満
20年以上 生まれてからずっと

【帯広市の住みごこちについて】

問5 あなたは、帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか。あてはまる番号を で囲んでください。

住み良い どちらかといえば住み良い どちらともいえない
どちらかといえば住みにくい 住みにくい

問6 あなたは、これからも帯広市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号を で囲んでください。

住み続けたい できれば他の市町村に移りたい どちらともいえない

「問7」へ

「問8、問9」へ

「問10」へ

問7 問6で「住み続けたい」と答えた方は、その理由を次の中から2つまで選び、 で囲んでください。

ひろびろとしているから 自然に恵まれているから 気候が好きだから 家族の都合で
人情が厚く、親切だから 親戚や知人が多いから 教育上の理由から
街に魅力があるから 仕事上の理由から 都市的な便利さがあるから
生活費が安いから わからない その他

問8 問6で「できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。

どこに移りたいとお考えですか。あてはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外） 札幌市
道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外） 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県）
中部圏（愛知県） 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） 他県（ ） その他（ ）

問9 問6で「できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方は、その理由を2つまで選び、 で囲んでください。

仕事上の理由から 家族の都合から 都市的な便利さが不足しているから
住宅地がないから 教育上の理由から 生活費が高いから 街に魅力が少ないから
自然が少ないから 気候がきらいだから 知人や親戚が少ないから
人情がうすく、不親切だから わからない その他（ ）

【まちづくりに関する具体的なことについて】

問10 次のことがらについて、あなたは現在、どの程度、満足されていますか。

また、今後、どの程度、重要になるとお考えですか。

<回答のしかた>

各項目について、「現在、あなたが満足している度合い」を「満足度」の欄1～5の中から選び、で囲んでください。
また、同じ項目について、「あなたが重要と考える度合い」を「重要度」の欄1～5の中から選び、で囲んでください。

<記載例>

・	満足度					重要度									
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
	2	4が.....できること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1			買いたい物が買え、楽しみながら買い物ができる魅力ある店があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2			外国の人々と交流する機会があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3			大学があり高度な教育が受けられること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4			町内会などの地域活動に参加する機会があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5			老後に安心して自宅で暮らせる福祉サービスが受けられること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6			地域の自然環境や動植物などを守る取り組みをすること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7			公園の緑地、広場、子供の遊び場などが近くにあること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8			帯広空港から国内の主な地域への空の便がよいこと			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9			近隣の市町村が連携してまちづくりに取り組むこと			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10			地元の資源や特性を生かして製品を作る企業の集積があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11			農業についての体験や、知ることのできる機会があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12			生涯学習や文化・スポーツ活動などに参加する機会があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13			市民一人ひとりがお互いに助け合って生活すること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14			病気の予防のために、健診や相談、指導が受けられること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15			高齢者や障害者などの社会福祉施設が整備されていること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16			大気汚染・騒音や悪臭などの心配がなく快適な生活がおくれること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17			快適な環境の住宅地が供給されていること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18			市内におけるバス利用の便がよいこと			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19			行政に市民の声が反映される機会が確保されていること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20			若者が魅力を感じることで働く場があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21			音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22			老後に生きがいを持った生活がおくれること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23			リサイクルが行われ、環境を大切にす地域づくりをすすめること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24			道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25			市民一人ひとりがまちづくりに参加できる機会があること			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

*前ページの続きです。
 同じ要領で「現在、満足している度合い」を「満足度」
 「今後、重要になると考える度合い」を「重要度」の
 それぞれ該当する番号を で囲んでください。

満足度					重要度				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
満足	やや	どちら	やや	不満足	重要	やや	どちら	あまり	重要
している	満足	とも	満足	である	である	重要	とも	重要	でない
いる	している	いない	である		ある	である	いない	ではない	

<記載例>

・	2	4が.....できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26			新しい技術やノウハウのある企業や研究所などの集積があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27			小学校・中学校において充実した教育が受けられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28			性別・年齢を超えて、生き生きとして働くことのできる場があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29			帯広の森で散策したり、自然に親しんだりする機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30			図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31			地元の農畜産物が地元で容易に購入できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32			行事・催し物や行政などの知りたい情報がいつでも手に入ること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33			安心して働けるために保育所などの施設が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34			公園や道路、公共施設用地などに緑が多くあること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35			釧路、北見などの道東をはじめさまざまな地域との連携と交流を図ること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36			手軽に楽しめる観光・レジャー施設やイベントを楽しむ機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37			身近に地域活動やサークル活動を行うことのできる施設があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38			病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断、治療が受けられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39			雨水が適切に排水処理されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40			地震や水害など、災害への備えが十分で安心できる街であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
41			さまざまな活動にボランティアで参加する機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
42			身近なところの道路が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
43			十勝管内の市町村が連携して十勝の発展に取り組むこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
44			中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが集積していること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
45			街の中や郊外などに美しい景観があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
46			子供や高齢者などが交通事故にあう危険を感じないこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問11 あなたは、これからの帯広市がどのような役割を果たしていくべきであるとお考えですか。あてはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

- 道東の中心都市 北海道で札幌と並びうる中枢都市 十勝の中心都市
 わからない その他 ()

問12 あなたは、総合的にみて、現在の帯広市の都市機能（さまざまな施設、利便機能）の整備・集積の状況をどのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

- 十分満足できる ほぼ満足できる ふう やや不足している 大きく不足している
 わからない

